

博士前期課程
シラバス

(平成29・30・31年度入学者用)

2019

日本大学大学院総合社会情報研究科

日本大学教育憲章

日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。

日本大学マインド

- ・ **日本の特質を理解し伝える力**
日本文化に基づく日本人の気質、感性及び価値観を身につけ、その特質を自ら発信することができる。
- ・ **多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力**
異文化及び異分野の多様な価値を受容し、地域社会、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を認識し、説明することができる。
- ・ **社会に貢献する姿勢**
社会に貢献する姿勢を持ち続けることができる。

「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

< 自ら学ぶ >

- ・ **豊かな知識・教養に基づく高い倫理観**
豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。
- ・ **世界の現状を理解し、説明する力**
世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。

< 自ら考える >

- ・ **論理的・批判的思考力**
得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。
- ・ **問題発見・解決力**
事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。

< 自ら道をひらく >

- ・ **挑戦力**
あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。
- ・ **コミュニケーション力**
他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。
- ・ **リーダーシップ・協働力**
集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。
- ・ **省察力**
謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。

日本大学教育憲章ルーブリック

		初年領域： Basic		中上級領域： Intermediate and Advanced		
		1	2	3	4	
		自主創造	自ら学ぶ	A-1：豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、倫理的な課題を理解し説明することができる。	経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の倫理観をもって、倫理的な課題に向き合うことができる。
A-2：世界の現状を理解し、説明する力	世界諸国の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状を概説できる。			世界諸国の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状および相互関係を、自己の世界観をもって説明できる。	世界諸国の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状および相互関係を、複数の世界観に立って解釈し説明できる。	世界諸国の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状および相互関係を総合的に理解し、国際社会が直面している問題の解決策を提案することができる。
自ら考える	A-3：論理的・批判的思考力		仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報を基に、論理的・批判的に考察することの重要性を説明できる。	仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報を基に、論理的・批判的に考察できる。	仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報を基に、論理的・批判的な考察を通じて、課題に対する見解を示すことができる。	仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報に基づく論理的・批判的な考察を通じて、課題に対し、具体的かつ論理整合的な見解を示すとともに、その限界を認識することができる。
	A-4：問題発見・解決力		事象を注意深く観察して、解決すべき問題を認識できる。	問題の意味を理解し、助言を受けて複数の解決策を提示し説明できる。	問題を分析し、複数の解決策を提示した上で、問題を解決することができる。	創造力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力または他者と協働して問題を解決することができる。
	A-5：挑戦力		新しいことに挑戦する気持ちを持つことができる。	新しい挑戦への計画を立て、準備することができる。	責任と役割を担い、新しいことに挑戦することができる。	責任と役割を担い、あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。
自ら道をひらく	A-6：コミュニケーション力		親しい人々とのコミュニケーションを通じて相互に意思を伝達することができる。	さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて相互に意思を伝達することができる。	さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて相互の意思伝達を自由かつ確実に行い、他者との良好な関係を確立することができる。	さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて他者との信頼関係を確立し、ときに強い影響を与えることができる。
	A-7：リーダーシップ・協働力		集団の活動において、より良い成果を上げるために、お互いを尊重することができる。	集団の活動において、より良い成果を上げるために、指導者のもとで他者と協働し、作業を行うことができる。	集団の活動において、より良い成果を上げるために、指導者として他者と協働し、作業を行うことができる。	集団の活動において、より良い成果を上げるために、他者と協働し、作業を行うとともに、指導者として他者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。
	A-8：省察力		自己の学修経験の振り返りを継続的に行うことができる。	自己の学修に関する経験と考えを振り返り、分析できる。	学修状況を自己分析し、その成果を評価することができる。	学修状況の自己分析に基づく評価を、今後の学修に活かすことができる。

目次

国際情報専攻

必修科目

国際情報論特講	丸森 一寛	1
---------	-------	---

国際（関係）・政治コース

戦略情報論特講	乾 一字	3
戦略情報論特講	木原 淳	5
危機管理論特講	川中 敬一	7
組織倫理論特講	坂井スオミ	9
現代政治学特講	井手 康仁	11
国際法特講	安藤 貴世	13
国際政治論特講	庄司 貴由	15
国際協力論特講	池上 清子	17
国際関係論特講	草野 大希	19
行政論特講	関根二三夫	21
日本政治史論特講	瀧川 修吾	23
アフリカ開発論特講	未 開 講	
グローバルヘルス論特講	蓋 若瑛	25
国際メディア論特講	近藤 大博	27
現代中国政治論特講	山本 忠士	29
日中比較社会論特講	高綱 博文	31
環境生態論特講	村井 英紀	33
市民社会論特講	池上 清子	35

経営・経済コース

経済理論特講	未 開 講	
国際経済政策論特講	前野 高章	37
近代日本社会変動論特講	小峰 和夫	39
グローバル経営戦略論特講	階戸 照雄	41
現代ファイナンス論特講	加藤 孝治	43
アカウンティング論特講	建宮 努	45
フィナンシャル・アカウンティング論特講	丸森 一寛	47
マネジメント・アカウンティング論特講	丸森 一寛	49
マーケティング論特講	嶋 正	51
人材マネジメント論特講	加藤 孝治	53
多国籍企業論特講	諸上 茂登	55
流通ビジネス論特講	小林二三夫	57
ビジネス法特講	中村 良	59
ファミリービジネス論特講	未 開 講	
ファミリーガバナンス論特講	階戸 照雄	61
事業創造論特講	中村裕一郎	63
事業承継論特講	曾根 秀一	65
中小企業論特講	小林 世治	67

専攻共通科目

調査分析特講	田中堅一郎	69
統計基礎Ⅰ	荒関 仁志	71
統計基礎Ⅱ	荒関 仁志	73
ゲーム理論	荒関 仁志	75

文化情報専攻

必修科目

文化情報論特講	保坂 敏子	77
---------	-------	----

文化研究コース

比較文学特講	秋草俊一郎	79
メディア文化論特講	堀江 秀史	81
翻訳論特講	井上 健	83
日本文化論特講 I	近藤 健史	85
日本文化論特講 I	野口 恵子	87
日本文化論特講 I	小田切文洋	89
日本文化論特講 II	長谷川正江	91
日本文化論特講 II	未 開 講	
日本文化論特講 II	山崎眞紀子	93
東アジア文化論特講	清水 享	95
中国語圏文化論特講	呉 川	97
ヨーロッパ言語圏文化論特講	秋草俊一郎	99
英語圏文化論特講	未 開 講	
英語圏文化論特講	秋草俊一郎	101
児童文学特講	猪野 恵也	103

言語教育研究コース

言語教育学特講	大川 英明	105
言語学特講	保坂 道雄	107
異文化間コミュニケーション論特講	西田 司	109
社会言語学特講	島田めぐみ	111
第二言語習得論特講	田嶋 倫雄	113
言語教育工学特講	保坂 敏子	115
言語教育デザイン論特講	豊田 哲也	117
日本語学特講	小野 正樹	119
日本語教育方法論特講	島田めぐみ	121
英語学特講	Clive Stuart Langham	123
英語教育方法論特講	太田 晴美	125

専攻共通科目

調査分析特講	田中堅一郎	127
統計基礎 I	荒関 仁志	129
統計基礎 II	荒関 仁志	131
ゲーム理論	荒関 仁志	133

人間科学専攻

必修科目

人間科学特講	田中堅一郎	135
--------	-------	-----

哲学コース

社会哲学特講	齋藤 宜之	137
哲学史特講	齋藤 宜之	139
宗教哲学特講	石浜 弘道	141
科学哲学特講	大熊 圭子	143
生命倫理学特講	橋本 和法	145
社会思想史特講	岡山 敬二	147

心理学コース

心理学史特講	荒川 歩	149
心理学研究法特講	眞邊 一近	151
認知心理学特講	山本 真菜	153
社会心理学特講	和田 万紀	155
産業・組織心理学特講	田中堅一郎	157
臨床心理学特講	菊島 勝也	159
医療心理学特講	飛田伊都子	161
行動分析学特講	小野 浩一	163
コミュニケーション心理学特講	眞邊 一近	165

教育学コース

生涯学習論特講	古賀 徹	167
学校教育学特講	北野 秋男	169
教育心理学特講	時田 学	171
教育臨床学特講	井上 雅彦	173
生徒指導論特講	柴山 英樹	175
教育評価論特講	藤田 圭一	177

医療・安全学コース

健康科学特講	泉 龍太郎	179
安全学特講	荒関 仁志	181
人間工学特講	泉 龍太郎	183
環境生理学特講	泉 龍太郎	185

スポーツ科学コース

スポーツ運動学特講	小山 裕三	187
スポーツ医学特講	布袋屋 浩	189
スポーツ心理学特講	種ヶ嶋尚志	191
コーチング学特講	鈴木 典	193

専攻共通科目

調査分析特講	田中堅一郎	195
統計基礎Ⅰ	荒関 仁志	197
統計基礎Ⅱ	荒関 仁志	199
ゲーム理論	荒関 仁志	201

国際情報専攻

(シラバス)

シラバス

シラバスには、教材の概要・参考図書・履修上のポイント・レポート課題が掲載されています。履修登録時に参照してください。

レポートの提出期限は、9月・1月（予定）となっています〔詳細は研究科報（ホームページ）にてお知らせします〕。

科目名	国際情報論特講	担当者	マルモリ 丸 森	カズヒロ 一 寛	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-------------	-------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	<p>これから国際情報分野を学び、国際情報の諸領域の研究を行う際に必要なリテラシー、具体的には研究を行う上で欠かせない研究倫理、文献検索の方法等理解するとともに、研究基盤となる知識・教養の涵養を目的とする。各コースの研究領域で研究実施の際に知っていなければならないことについては、特別研究指導教員が説明する。</p> <p>I. 問題発見・解決力：事象を注意深く観察し、解決策を提案することができる。【A-4:3】</p> <p>II. 論理的・批判的思考力：得られる情報を基に、論理的な思考、批判的な思考ができる。【A-3:3】</p> <p>III. 倫理観：豊かな知識を基に、倫理観を高めることができる。【A-1:3】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>国際情報分野で研究および論文を作成するうえで「常識」とされる知識を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際情報を学び、修士論文を作成するまでに必要なリテラシーを理解することができる。具体的には、①研究課題を修士論文として纏める際に必要な条件を理解できる、②自分の研究課題に関する先行研究を文献検索することができる、③研究倫理について、研究を進める上でやってはいけないことを理解でき、修士論文作成に反映できる。 自分の研究領域において研究を進める上で必要な知識を得て、自分の研究課題を具体化することができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>スクーリングで 15 回の講義に出席するほか、1 つのレポート作成にあたり基本教材および参考文献の読み込みに 25 時間以上、Manaba-Folio への提出・再提出のやりとりで 20 時間以上を目安とする。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの推敲過程において、manaba folio の全受講者用の掲示板機能（「スレッド」）に届いた受講者からの質問に対して応答し、その過程を受講生全員に公開する。 オープンエデュケーション教材 (OER) を基本教材の補助として視聴する。 <p>【学修方略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定された基本教材、および参考文献を読みこなし、レポートを作成し manaba folio に提出する。提出されたレポートについて担当者が検討すべき事項を指摘して修正版の提出を求める。これらを繰り返して合格水準に達するレポートを完成させる。この過程において疑問が生じた場合には、Manaba-Folio を通して適宜担当者に質疑をする。 7月中旬に3日間実施されるスクーリング（集中面接授業）に全日程出席することが、単位取得の要件となる。また、レポート課題についてもスクーリング後、指定された期限までに manaba folio に提出する。<u>なお、補講を実施する場合があります。</u> <p>【学修時間】</p> <p>在宅学修では、レポート課題1つにつき、完成までに以下を目安に最低45時間の学修時間を要するものとする；1)教材の学修；20時間、2)レポート執筆；10時間、3)レポート推敲と最終稿の完成(教員の添削指導、ピア・レスポンスを含む)；15時間。</p>		
スケジュール (各90分)	<p>この講義は、大学院の初年度教育に関する内容なので、初年度に履修すること。</p> <p><通信授業 (在宅学習) 2単位：基本教材1></p> <p>1) 基本教材1. のレポート課題1 初稿〆切 2019年6月末日 → 最終稿〆切 2019年9月19日</p> <p>2) 基本教材1. のレポート課題2 初稿〆切 2019年11月末日 → 最終稿〆切 2020年1月14日</p> <p><スクーリング 2単位></p> <p>2019年7月13日～15日 (9月中に補講を実施する場合があります。)</p> <p>1) 研究、及び論文作成に必要なリテラシー</p> <p>①研究・論文作成の概論(加藤孝治) ②研究、及び論文作成に求められるもの(加藤孝治)</p> <p>③論証あるいは検証の方法(泉龍太郎) ④研究倫理1(田中堅一郎) ⑤研究倫理2(田中堅一郎)</p> <p>⑥先行研究のレビューとその利用方法(保坂敏子) ⑦研究及び論文の進め方(泉龍太郎)</p> <p>2) 国際情報専攻分野における様々な課題(担当：各科目担当教員)</p> <p>⑧国際(関係)・政治分野1(川中敬一) ⑨経営・経済分野1(前野高章) ⑩経営・経済分野2(階戸照雄)</p> <p>⑪国際(関係)・政治分野2(村井英紀) ⑫国際(関係)・政治分野3(中村 良)</p> <p>⑬経営・経済分野3(階戸照雄) ⑭経営・経済分野4(丸森一寛) ⑮経営・経済分野5(加藤孝治)</p> <p>1) スクーリング・レポート課題1：スクーリング1週間後(初稿のみ)</p> <p>2) スクーリング・レポート課題2：スクーリング終了の1か月後(初稿のみ)</p>		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	通信授業 (在宅学習)	50%	レポート(論点、結論、ロジック、引用及び参照の明示)：35% 観察記録(取組、期限の順守、指摘事項への対応、説明)：15%
	スクーリング	50%	レポート(論点、結論、ロジック、引用及び参照の明示)：35% 観察記録(取組、期限の順守、指摘事項への対応、説明)：15%
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な学習のため、履修届を提出したら担当教員 (marumori.kazuhiro@nihon-u.ac.jp) に必ずメールにて連絡すること。 学修およびレポート作成についての注意事項については、全て Manaba Folio の「国際情報論特講」の掲示板で告知するので、必ず定期的にチェックすること。 レポートを作成する際には、事実と意見を峻別すること。また、意見のうち他者の意見と自分の意見を峻別し、前者については引用部分と出典を明らかにし、後者についてはその根拠を論理的に説明すること。 		

【レポート課題】

基本教材 1 (通信授業/在宅学習用)	
教材の概要	(1) 著者名： 早稲田大学ビジネススクール著 教材名： 『ビジネスマンの基礎知識としてのMBA入門』（日経BP社、2015） ISBN978-4-8222-4900-7 1,800円+税
	(2) 著者名： 日本経済新聞社 編 教材名： 『仕事に役立つ経営学』（日本経済新聞出版社、2014） ISBN978-4-532-11314-8 860円+税
教材の概要	『ビジネスマンの基礎知識としてのMBA入門』は、ビジネススクールの主要科目のエッセンスを集約したもので、ビジネスの原理原則を体系的に学ぶための入門書である。ビジネスプランを描くための「戦略思考の基礎」と、その実行方法を解説した「マネジメントの基礎」から構成され、考えることと実行することの基本をバランスよく学習できるように工夫されている。 『仕事に役立つ経営学』は、経営学の最前線で活躍する重鎮・気鋭の日本人研究者11名が、今注目を集めるホットなテーマについて執筆したものである。企業の実例が多く織り込まれており、実務に役立つ内容となっている。 いずれも、章毎により詳しく学ぶための本を紹介しており、各人の興味に応じてさらに深く学べるように工夫されている。
参考図書	「基本教材（1）収録の「もっと詳しく学ぶための本」および（2）収録の「ブックガイド」に記載されている本
履修上のポイント	基本教材は、いずれも経営学の基礎知識を持ち合わせていなくとも読み進められる記述となっているが、ベーシックなフレームワークや理論を出発点としながら最新の理論とケースを学べる内容となっている。字面を追うだけでなく、その背景にあるロジックを常に考えながら読み進めてほしい。
レポート課題 1	①経営経済学、②経営戦略、③マーケティングの各分野について、それぞれ指定された内容（履修登録者に別途連絡）のレポートをまとめて下さい。
レポート課題 2	④組織論とリーダーシップ、⑤アカウンティング、⑥ファイナンスの各分野において、それぞれ指定された内容（履修登録者に別途連絡）のレポートをまとめて下さい。

基本教材 2 (スクーリング)	
教材の概要	著者名： スクーリングにおいて提示された推薦図書 教材名：
参考図書	「基本教材（1）収録の「もっと詳しく学ぶための本」および（2）収録の「ブックガイド」に記載されている本
履修上のポイント	スクーリング前半の「大学院における研究及び論文作成に必要な基礎的事項」において、①研究及び論文の最低条件を理解する、②研究倫理を含む研究を進めるための基本的なスキルを身につける、③研究及び論文作成のモチベーションを高める、という3つの目的を達成して修士論文を作成するために必要な研究リテラシーを涵養するとともに、後半の「各専攻分野における様々な問題」において、国際情報専攻分野の研究基盤となる知識・教養の涵養に努めること。
レポート課題 1	スクーリングの概要を要約し、それについての意見をまとめてください。（1,000字から1,500字）
レポート課題 2	各分野の研究手法の講義や基本教材および参考図書、並びにスクーリングでの発表およびディスカッションを踏まえて、 研究計画書 （3,000字から4,000字）をまとめ、指導教員のレビューを受けた上で提出してください。

科目名	戦略情報論特講	担当者	イヌイ 乾 イチウ 一宇	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-----------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、戦略情報の概念、その内容を修得することにより、以下の能力を身につけることを目的とする。</p> <p>日本人は国内での政治や企業での権力闘争では情報能力を遺憾なく発揮するが、国際社会における諸行動では他国に一步先んじられている、と言われる。つまり戦略的思考に長けていないのである。本科目はこの欠点克服の一里塚となるものであり、具体的には、次のことを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戦略情報業務(活動)の過程を基本的に把握する。 2. ケーススタディとして、ソ連の情報機関の特色及び国家への寄与を具体的に考察する。 <p>A-2: 4</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>国際情勢の帰趨と世界と日本のあり方に対する広い視野と鋭敏な感覚を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>次のことを目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報機関の特性及び国家の戦略情報業務(活動)の過程を基本的に理解し、説明する(知識・想起)。 2. ケーススタディとして、ソ連の情報機関の特色及び国家への寄与を具体的に考察し、把握したことを述べる(知識・想起)。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>教材及び配布する講義資料、参考資料(講義資料以外の関連資料)をよく読んで下さい。10 時間</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>教材及び配布する講義資料、参考資料(講義資料以外の関連資料)による。アクティブラーニングはなし。</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>教材及び配布する講義資料、参考資料(講義資料以外の関連資料)をもとにレポート作成に取り組んで下さい。特に乾作成の講義資料「戦略情報論特講」(A4 版 46 頁)は重要です。また、参考資料には修士論文作成のためのものもあり、十分活用して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本教材および参考図書の熟読 2. レポート課題に沿った事例あるいは資料の収集 3. レポートの作成 <p>レポート 1 本につき、レポート解釈に 20 時間、問題解決に 10 時間、レポート作成に 15 時間</p>		
スケジュール	<p>レポート最終稿提出期限は大学院要覧記載(前期 9 月 19 日、後期 1 月 14 日)のとおりです。その 5 日前までは積極的な草稿のやりとりを望みます。</p> <p>できれば前期 7 月末までに、後期 11 月末までに草稿を送って下さい。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	内容は当然ですが、レポートの構成及び論理性を重視します。
	観察記録	30%	積極性及び自分で考えているかを重視します。
履修者への要望	<p>これまで、何かの行動をする際、情報を集め、分析・評価して何かを決心して物事に当たってきたと思いますが、それを体系的に学ぼうとするものです。これまで意識したことのない分野かもしれませんが、基本的なことを理論的に学んで下さい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： ワシントン・ブラット(田畑正美訳) 教材名： 『戦略情報—基礎原理とその応用—』(東洋政治経済研究所、1962年) 1,000円(絶版につきコピーを配布)
	多くの情報(information)が氾濫しているが、それは評価・判定・総合化されて初めて有益な情報(intelligence)となる。この作業の多くは現段階ではコンピュータが介在しにくい分野である。特に国際関係に関する情報は、人間がかかわることから計数処理ができないものが多い。この分野を扱うものが「戦略情報」で、歴史学の手法を採り入れ、主として第二次世界大戦時米国で発達してきたものである。本教材は目的に応じた情報資料の収集、処理方法、将来の予測方法などについて、基礎原理と方法について理論的説明を行っている。
参考図書	A. J. トインビー(松本重治訳)「同時代史の研究—学問的課題として—」『歴史の教訓』(岩波書店、1957年) 200円。(コピー配布予定) E. H. カー(清水幾太郎訳)『歴史とは何か』(岩波新書)(岩波書店、2003年) ISBN9784004120017(4004130018) 820円+税 今井登志喜『歴史学研究法(新装版)』(東京大学出版会、1992年) ISBN9784130230414(4130230417) 1,200円
履修上のポイント	情報化社会にあって、「情報」の意味が多様化しているが、ここで取り扱っている「情報(戦略情報)」は、国際関係を研究する上で、重要かつ不可欠な事項であることを認識して、関心をもって取り組んでもらいたい。 配付する講義資料「戦略情報論特講」により、「戦略情報」について、基礎的知識が得られよう。つまり、情報、戦略の定義に始まり、「戦略情報」研究の有用性、情報活動(分析、総合化などを含む)、情報組織などの概要である。未知のことが多いだろうが、この講義資料から学習を始めて頂きたい。
レポート課題 1	情報活動の過程について述べよ。 留意点 ：基本的に講義資料で十分である。 余裕があれば教材及び参考図書を参考とし、さらに研究、自分なりの理解事項をまとめれば、情報活動の過程をさらに深く認識できよう。
レポート課題 2	情報活動の過程における手法と歴史学の手法との相違について述べよ。 留意点 ：講義資料及び教材で概略の知識を得られるが、それをさらに高めるため、歴史学の手法を参考図書などを参考にしつつ、課題に答えてもらいたい。その際、情報の目的、歴史の目的から思索が始まるだろう。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： ジェフリー・T. リッチェルソン(乾一宇訳) 教材名： 『剣と盾 ソ連の情報戦略』(時事通信社、1990年) ISBN4-7887-8846-2 C0031 2,200円プラス税(絶版につきコピーを配布)
	本教材はソ連の情報機関とその活動を全域にわたって分析された研究書である。興味本位の通俗書ではない。13章からなり、国家保安委員会(KGB)と軍情報部(GRU)を主体に各種情報機構、スパイ活動ばかりでなく偵察衛星、通信情報、公刊資料、偽情報工作、非公然活動などの情報活動の全領域を明解、綿密かつ客観的に、しかも体系的に記述している。先端技術の入手に関する章もあり、情報大国ソ連の体系的な情報活動を知ることができる。ここで述べられている多くは今日のロシア及び現存する共産主義国にそのまま受け継がれている。
参考図書	中西輝政「国家情報論」『諸君』(文藝春秋社、2001年2月号～2007年9月号[10月号以降休載]) (コピー配布予定) ブライアン・フリーマントル(新庄哲男訳)『KGB』(新潮社、1983年) ISBN:9784106002465 (4106002469) 1,165円+税
履修上のポイント	日本は他国からの情報活動に対し脆弱な国といわれている。まず情報活動が何たることを知ることから始めねばならない。それにはロシアという情報に長けた国の研究はうってつけである。しかもこれにより、他国の情報活動の理解にも波及しうる効果がある。 また、国家の総力を挙げての、大規模かつ長期にわたる組織的宣伝活動や情報操作の現実を知れば、国際社会の厳しい一面を理解できよう。たとえば、ゾルゲに代表される政治的に影響力のある重要人物の抱き込み工作の実態を知ることにより、国際政治の分析に深まりが増そう。
レポート課題 1	ソ連の情報機関の特色を述べよ。 留意点 ：個々の情報機関の特色はもちろんであるが、国家としてソ連が情報全般をどのように考えていたかも忘れないように。
レポート課題 2	ソ連の情報機関の国家政策への寄与について述べよ。 留意点 ：一般論とともに、具体例が挙げられればより深い考察となる。

科目名	戦略情報論特論	担当者	キハラ ジュン 木原 淳	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-----------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、インテリジェンスとカスタマーの関係に関する理論を踏まえて、冷戦期から冷戦後の米国の戦略変遷についての知識を修得することにより、以下の能力を身に付けることを目的とする。</p> <p>①世界諸国の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状および相互関係を総合的に理解し、国際社会が直面している問題の解決策を提案することができる。【A-2:4】</p> <p>②仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報に基づく論理的・批判的な考察を通じて、課題に対し、具体的かつ論理整合的な見解を示すとともに、その限界を認識することができる。【A-3:4】</p> <p>③責任と役割を担い、あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。【A-5:4】</p> <p>④さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて他者との信頼関係を確立し、ときに強い影響を与えることができる。【A-6:4】</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリックの該当番号】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>世界の現状を理解し説明するために、戦略とこれを支える国際環境の分析の関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <p>①国際安全保障でインテリジェンスが果たす役割について説明できる。(知識・解釈)</p> <p>②インテリジェンスの作成者とカスタマーが切り分けられていることから生ずるメリット・デメリットと課題の改善策について説明できる。(知識・問題解決)</p> <p>③冷戦期を含む米国の核・軍事戦略の変遷について説明できる。(知識・解釈)</p> <p>④ネットアセスメントがアメリカの国防政策で果たした役割を説明できる。(知識・解釈)</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>1つのレポート作成につき、基本教材及び参考文献等の読み込みに25時間以上、レポートの草案作成に10時間とManaba-Folioへの初稿提出・添削のやり取りに10時間を要するものとします。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館やインターネットで自律的に関連文献を検索して、レポートを作成する。 Manaba-Folioでのレポート草案提出によるインタラクティブな個別指導を受ける。 <p>【学修方略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> レポート課題を念頭に基本教材および参考図書等を熟読する。(自習)【SB0①②③④】 レポート課題に関連する関連文献をリサーチする。(自主研究)【SB0①②③】 レポートの草案を作成する。(レポート作成)【SB0①②③④】 複数回にわたって行われるレポート添削での教員と受講生とのディスカッション (ディベート)【SB0①②③④】 		
スケジュール	<p>前期は「基本教材1」を、後期は前期の学習を踏まえて「基本教材2」を学習します。</p> <p>前期のレポート課題1については6月30日、レポート課題2については8月15日までに初稿を御提出いただき、9月19日を最終稿の提出期限とします。</p> <p>後期のレポート課題1については10月31日、レポート課題2については12月15日までに初稿を御提出いただき、1月14日を最終稿の提出期限とします。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	最終レポートの完成度(構成・論理性・引用文献・独創性)を評価します。
	平常評価	20%	レポートの作成過程における質問、初稿提出後のレポートの改善の状況などいかに在宅学習に取り組んだかを評価します。
履修者への要望	<p>日本ではあまりなじみがないにもかかわらず、国際的には重要な役割を果たしている題材を取り扱います。世界史(特に近現代史)、国際関係論、国際政治、安全保障政策の基本的な知識を習得しているか当該科目を履修中であることが望ましいと考えます。基本教材2の意義を十分に理解するには、基本教材1・2とその参考図書等の幅広い裾野の積み上げが必要になります。しかし、挑戦の末に頂上にたどり着けば、そこからはこれまでとは全く違って見える世界が広がることになるでしょう。履修登録と同時にその旨を担当教員(kihara.jun@nihon-u.ac.jp)までメールにて御連絡をお願い申し上げます。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名： 小谷賢 教材名： 『インテリジェンスー国家・組織は情報をいかに扱うべきか』（ちくま学芸文庫，2012年）ISBN:978-4-480-09418-6 1,200円＋税</p> <p>本教材は、米国の制度等を前提とする類書とは異なり、日本のインテリジェンスの課題に取り組むとの観点から、日本の読者向けに国家インテリジェンスの歴史，組織，プロセス，保全とカウンターインテリジェンス，秘密工作，統制・監視，国際関係等を取り上げた入門書です。</p>
参考図書	<p>北岡元『インテリジェンスの歴史ー水晶玉を覗こうとする者たち』（慶応義塾大学出版会，2008年）ISBN:4-7664-1300-8 2,500円＋税 北岡元『インテリジェンス入門ー利益を実現する知識の創造』（慶応義塾大学出版会，2009年）ISBN:978-4-7664-1682-4 2,400円＋税 マーク・M・ローエンタール『インテリジェンスー機密から政策へ』（慶応義塾大学出版会，2011年）ISBN:978-4-7664-1826-2 4,200円＋税</p>
履修上のポイント	<p>教材，参考図書等を参照して，外交，安全保障や軍事におけるインテリジェンスという概念とそこでインテリジェンスが果たした役割の理解に取り組んでください。その際，インテリジェンスのカスタマーである政策や戦略の策定者との関係に留意して下さい。</p>
レポート課題 1	<p>国際安全保障を確たるものとする上で国家インテリジェンスが果たす役割について論述せよ。（4,000字程度） 留意点： 論述に際しては，インテリジェンスがカスタマーをどう支援するかに着意して下さい。</p>
レポート課題 2	<p>インテリジェンスの作成者とカスタマーが切り分けられていることから生ずるメリット・デメリットと課題の改善策について論述せよ。（4,000字程度） 留意点： 教材や参考図書を踏まえて横断的かつ総合的な観点から課題に臨んでください。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名： アンドリュー・クレピネヴィッチ，バリー・ワッツ 教材名： 『帝国の参謀 アンドリュー・マーシャルと米国の軍事戦略』（日経BP社，2016年）ISBN:978-4-8222-5149-9 2,800円＋税</p> <p>本教材では，冷戦期から冷戦後の四半世紀にかけて，米国の戦略的優位を実現するために，国防総省の幹部が注目すべき課題や活用すべき機会を明らかにしてきたネットアセスメントの知の歴史をたどることができます。</p>
参考図書	<p>岩田修一郎『核戦略と核軍備管理』（日本国際問題研究所，1996年）ISBN:4-8193-0383-X 2,300円＋税（序章（1-14頁）及び第一章（15-44頁）） 浅川広紀『戦後米国の国際関係』（武蔵野大学出版会，2010年）ISBN:978-4-903281-18-6 3,300円＋税 ジョセフ・S・ナイ・ジュニア，デイヴィッド・A・ウェルチ『国際紛争ー理論と歴史 [原書第10版]』（有斐閣，2017年）ISBN:978-4-641-14917-5 3,000円＋税（第5章，第7章4）</p>
履修上のポイント	<p>教材，参考図書等を参照して，冷戦期から冷戦後の米国の戦略の変遷の理解に取り組んでください。その上で，ネットアセスメントが米国を取り巻く環境に関してどのような問題設定を行ったことが爾後の情報活動や戦略の策定等に繋がったのかを考察してください。</p>
レポート課題 1	<p>冷戦期の米国の核・軍事戦略の変遷について論述せよ。（4,000～6,000字程度） 留意点： ここでの冷戦期とはジョージ・H・W・ブッシュ政権までとします。</p>
レポート課題 2	<p>ネットアセスメントがアメリカの国防戦略をどのように向上させたのかを、その問題設定や政策判断に必要な情報をどのように用いたのかという点に触れながら論述せよ。（4,000～6,000字程度） 留意点： 戦略とこれを支える国際情報の分析との関係と重要性に着意して下さい。</p>

科目名	危機管理論特講	担当者	カワナカ 川中 ケイイチ 敬一	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	--------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、自らの関心事象の歴史的淵源と経緯を知ることによって、当該事象の推移の方向性を測る尺度を修得することを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界諸国の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状および相互関係を総合的に理解し、国際社会が直面している問題の解決策を提案することができる。【A-2:4】 2. 仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報に基づく論理的・批判的な考察を通じて、課題に対し具体的かつ論理整合的な見解を示すとともに、その限界を認識することができる。【A-3:4】 3. 学修状況の自己分析に基づく評価を、今後の学修に活かすことができる。【A-8:4】 		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>意志決定者が、適切な情勢判断を実施するために、関心事象の歴史的分析方法を理解し、当該事象の推移の方向性を測る尺度を構築する能力を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 米国および中国における政治・経済・文化の統合的理念を説明することができる。(知識) 2. 上記統合的理念成就プロセスにおける軍事の定位・機能を関連づけられる。(知識) 3. 1. および 2. によって得た尺度に基づき現実の現象の意義を評価できる。(技能) 4. 上記プロセスにより修得した尺度を常時点検し、精度向上に努めることができる。(態度) 		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 指定図書および参考図書の読書と課題答申草案を作成する。 2. manaba folio のコレクション利用によるインタラクティブな個別指導を受ける。 <p>【学修方略 (LS)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レポート作成を通じた米中両国の統合的理念の整理及び現象評価尺度の構築。(SB01. 及び 2.) 2. 自己が構築した尺度の適用による付与された現象の意義評価。(SB03.) 3. 個別指導を通じた自己構築尺度の精度向上努力。(SB04.) <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本教材および参考資料読書：15 時間 (レポート 1 編当たり) 2. 自己強化尺度構築：15 時間 (レポート 1 編当たり) 3. 付与現象の意義評価：10 時間 (レポート 1 編当たり) 4. 尺度再構築・精度向上：5 時間 (レポート 1 編当たり) 		
スケジュール	前期	<p>初稿提出期限： 7 月 1 日 00:00</p> <p>最終稿提出期限： 9 月 19 日 00:00</p>	
	後期	<p>初稿提出期限： 11 月 1 日 00:00</p> <p>最終稿提出期限： 1 月 14 日 00:00</p>	
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	<ol style="list-style-type: none"> ① SB01. 及び 2. を精度に関わらず明確に構築できているか。 ② 結論と結論を導出した過程が明確か。 ③ 引用・参照を適切かつ正確に記述したか。
	観察記録(試験)	20%	<ol style="list-style-type: none"> ① 不明点を早期かつ素直に質問したか。 ② 指導に対する真摯な受容と積極的な再検討をしたか。 ③ 指定図書及び参考図書以外の資料も駆使したか。
履修者への要望	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際政治関連を学ぶ学生とともに、経営・経済を学ぶ学生の履修を歓迎します。経営・経済と国際的枠組みとは無縁ではないことを知って頂きたいと思います。 2. 基本教材と参考図書のみでは、課題に答申しきれないかもしれません。それゆえ、逐次、担当教員に必要な資料を問い合わせることを推奨します。 3. 「講義概要」では記述しきれない細部については、履修後直ちに各学生に示達します。 4. レポートは、読書と並行しながら作成することを推奨します。疑問が湧いた都度、担当教員に連絡してください。 5. 履修登録と同時に、担当教員に履修を連絡してください。kawanaka.keiichi@nihon-u.ac.jp 		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 麻田貞雄 教材名： 『マハン海上権力論集』（講談社、2010年）ISBN:978-4-06-292027-8/920円
	(1)米国の海外進出行動の理論的基盤であり、後年における日本との確執の萌芽を生み出したマハンによる海洋戦略思想と米国の発展方向を包括的に理解する上での必読書である。 (2)米国の建国以来の海外利権と、アジア(特に日本・中国)観を理解する上での必読書である。
参考図書	① 渡辺惣樹『日本開国』（草思社、2016年）/978-4-7942-2204-6/1,890円 ② 森孝一『宗教からよむ「アメリカ」』（講談社、1996年）/978-4-062-58070-0/1,944円 ③ 松岡完等『冷戦史』（同文館出版社）/4-49-546331-4/2,900円 ④ ジョージ・F・ケナン『アメリカ外交50年』（岩波書店、2000年）/4-00-600030-8/1,100円 ⑤ アーネスト・メイ『歴史の教訓』（岩波書店、2004年）/4-00-600120-7/1,300円 ⑥ 未里周平『セオドア・ルーズベルトの生涯と日本』丸善プラネット/2013年/ISBN：9788-4-86345-173-5/1,600円
履修上のポイント	課題答申に関する基本教材及び参考図書を読むに当たり、以下の点に留意してください。 (1) 米国の建国理念が、国家建設過程において、いかに反映されてきたのか。 (2) マニフェスト・デスティニーという概念が、米国の対外史上の各現象において、どのように作用してきたのか。 (3) (1)と(2)の延長で、米国の不変的な対中国観及び対日本観の概要は、どのようなものであるか。 (4) (1)～(3)で得られる米国の不変構造の今日における意義は、どのようなものであるか。
レポート課題 1	「米国の対中姿勢における振幅の原因を米国の伝統的アジア観を基軸として考察せよ」 留意点： アジアける米国の究極的利益は何か、を中心として考察してください。
レポート課題 2	「第2次世界大戦という日米衝突の遠因を米国の歴史的アジア観察を基軸として考察せよ」 留意点： 日米の中国をめぐる利権争奪、という側面から考察してください。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 丸川哲史 教材名： 『中国ナショナリズム』（法律文化社、2015年）ISBN：978-4-589-03692-6/2,400円
	大陸と台湾という2大中華世界におけるナショナリズムを人文的・社会的歴史から解説している。中華世界指導層の理念と思考方式を理解する上での必読書である。
参考図書	① 横山宏章『中国の政治危機と伝統的支配』（研文出版、1996年）/4-87636-141-X/3,650円 ② 横山宏章『米中関係の歴史的展開』（研文出版、1992年）/4-87636-146-0/3,300円 ③ 丸川哲史『魯迅と毛沢東』（以文社、2010年）/978-4-7531-0278-5/2,800円 ④ ハインリッヒ・シュリーマン『シュリーマン旅行記 清国・日本』（講談社、1998年）/4-06-159325-0/800円 ⑤ 村井友秀『戦略論体系⑦毛沢東』（芙蓉書房出版、2004年）/4-8295-0308-4/3,800円 ⑥ 海洋政策研究財団『中国の海洋進出』（成山堂書店、2013年）ISBN：9778-4-425-53151-6/2,400円 ※中古のみ販売。担当教員所蔵貸し出し可。
履修上のポイント	課題答申に関する基本教材及び参考図書を読むに当たり、以下の点に留意してください。 (1) 近代中国各政権の理念における連続(不変)性と不連続(可変)性は何か。 (2) 中華世界指導層の不変的な国内統治観と対外姿勢とは、それぞれどのようなものか。 (3) (1)と(2)の延長にある近代中国革命の本質と、それが現在の国内外政治へ及ぼしている影響。 (4) (1)～(3)で得られる中華世界を基軸とした国際社会構造における日本の定位を考察する。
レポート課題 1	「中国の領土問題に関わる特殊性の形成の淵源を具体的に考察せよ」 留意点： 近代史における“天下”概念と台湾問題に留意して考察してください。
レポート課題 2	「日米による南シナ海問題への関与の意義を中国の立場から考察せよ」 留意点： 領土問題において中国が妥協可能と見なすか否かを基軸に考察してください。

科目名	組織倫理論特講	担当者	サカイ 坂井 スオミ	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	---------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	本科目はグローバルな視点で組織倫理と人権促進、持続可能なビジネスおよび開発との関連性また組織倫理向上のための各ステークホルダーの役割を分析、理解し複数の解決策を提示して説明できることを目的とする。【A-4:2】		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 組織倫理が人権促進、持続可能なビジネスまた開発にもたらす影響を分析する能力を身につけ、組織倫理向上のためのオプションを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 倫理的意思決定、戦略決定の方法論を理解し、それを使って実際のケースを分析する。グローバル化が組織倫理の実施にもたらすチャレンジを理解する。日本政府だけでなく日本企業及び市民が人権の保護促進、持続可能な開発等の SDG の国内外での達成にどのように貢献できるかを組織倫理の視点から分析し、行動案のオプションを探る。</p>		
学修方略 (方法)	<p>(1) 科目は e-learning が主な学習方法である。</p> <p>(2) Web リサーチ及び manaba を通じた教員とのコミュニケーションを使用する。</p> <p>(3) レポートを通じた学修は、課題に沿って作成し、manaba を通じて教員のコメントなどを参考にして修正を重ねて、最終版としてまとめてから manaba に改めて最終版として提出するプロセスを経る。</p> <p>(4) 新しい情報を常に入手することが重要となるので関連する website や新聞記事などの分析は欠かせない。そのため日常からの情報収集にも配慮する。</p> <p>(5) 具体的には教材や参考図書をもとにそれらから吸収したうえで関連した新情報も分析し、レポートの課題に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>(6) レポート作成のための準備学修は教材を読み、Web リサーチをすることが主である。教材を読むのに課題につき 20 時間、Web リサーチは課題につき計 5 時間を目安とする。レポート作成及びマナバコメントに基づく修正に課題につきそれぞれ 20 時間を目安にする。従って課題(レポート一本)につき 45 時間強を目安とする。</p>		
スケジュール	<p>提出期日は manaba-folio ならびに学事歴記載のとおり。教員のコメントに基づいた学修であるため以下のようなスケジュールが目安として考えられる。</p> <p>前期：レポート課題 1 の草稿は 7 月末、課題 2 は 8 月末を目安に提出する。取り上げる課材については草稿をまとめる前にマナバもしくはメールで相談することが望ましい。</p> <p>後期：レポート課題 1 の草稿は 11 月中旬、課題 2 は 12 月中旬を目安に提出する。取り上げる課材については草稿をまとめる前にマナバもしくはメールで相談することが望ましい。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	<p>課題に沿った論理構築がされているか。</p> <p>3000～4000 字という短い字数で自分の意見をまとめているか。</p> <p>十分に教材を読み込んでいるか。</p> <p>参考文献、Web リサーチなどの情報検索が十分であるか。</p> <p>脚注などレポート作成に必要な情報が正確に含まれているか。</p>
	観察記録	20%	Manaba を通じて行われるコメントに関する修正度合。
履修者への要望	理論的であることと自分の意見をまとめることを主眼としているので、どんな小さな点でも構わないので自分の考えや気づきを大切にレポートを書いていただきたい。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： ジョゼフ・R・デジャルダン（文京学院大学グローバル・カリキュラム研究会訳） 教材名： 『ビジネス倫理学入門』（文京学院大学総合研究所、2014年） ISBN: 978-4-905194-72-9 2,700円
	ビジネス倫理を企業の経営者や経営幹部の視点からだけでなく、従業員、顧客そして市民の視点から検討する枠組みを提供する。倫理的組織を創り、推進するため倫理的問題の理解、分析、その意義を理解する感受性を養うことを目的とした書籍である。グローバル化の中、重要性が増している環境責任、多様性と差別、文化の違いを超えた価値観と国際的な権利の考察もする。
参考図書	増田英次 『もうやめよう！その法令遵守』（フォレスト出版、2012年） ISBN: 978-4-89-451467-6 1,512円
履修上のポイント	以下の点に留意してレポートをまとめる：(1) 組織倫理と法律の関係；(2) 組織倫理と平等、公正、ジェンダー、持続可能な開発、人権などの概念の関連性；(3) 倫理的決定の過程；(4) 倫理的決定の推進における企業経営者、従業員、顧客、政府そして市民の役割。
レポート課題 1	近年日本でニュースになった企業もしくは他の組織のスキャンダルを選び、そこにどのような倫理的問題が含まれているかを検討し、その問題を各種ステークホルダーの視点から考察し、倫理学理論及び個人と地域社会の権利と組織経営者、従業員、顧客、政府、市民等の観点から分析する。 留意点： 新聞記事やwebsiteの分析が重要である。
レポート課題 2	持続可能なビジネスの実現と組織倫理との関連を様々なステークホルダーの視点から検討しそれぞれの役割について自分なりの議論を展開する。 留意点： グローバルなビジネス環境の中でのサプライチェーン・マネジメントも考慮する。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： ジョン・ジェラルド・ラギー（東澤 靖 訳） 教材名： 『正しいビジネス』（岩波書店、2014年） ISBN: 978-4-00-025976-7 3,672円
	ビジネスによる人権への有害な影響はビジネス界、各国政府そして市民社会から国際問題としての認識が高まっている。この書籍はグローバル化の中、人権の「保護・尊重・救済の枠組み」とこれをもとにした「ビジネスと人権に関する指導原則」が定められる過程を描いている。
参考図書	海野みづえ、『新興国ビジネスと人権リスク』、現代人文社、2014年、 ISBN: 978-4-87798-587-5, 2,970円
履修上のポイント	以下の点に留意してレポートをまとめる：(1) 持続可能な開発目標（SDG）達成へのビジネス界の役割；(2) 人権の「保護・尊重・救済の枠組み」と「ビジネスと人権に関する指導原則」の実施状況及び課題；(3) 「ビジネスと人権に関する指導原則」の実施にあたり、コンプライアンスを超えた組織倫理の持つ役割。
レポート課題 1	人権の「保護・尊重・救済の枠組み」によると政府は第三者による人権侵害からの保護と侵害があった場合の救済の義務がある。各国政府また国際機関は「保護」の実現のためどのような政策、ガイダンスを出しているか、その実施上、組織倫理はどのような役割を持つかを自分なりに議論する。 留意点： 贈収賄等の汚職と人権の関連も考慮する。
レポート課題 2	日本が国際社会の一員として「保護・尊重・救済の枠組み」を実行するために政府、ビジネス、市民の持つ役割と課題を探る。「ビジネスと人権に関する指導原則」、組織倫理を考慮して自分なりに議論する。 留意点： 持続可能な開発目標（SDG）達成のための日本企業を含めた日本の役割を考慮する。

科目名	現代政治学特講	担当者	イデヤスヒト 井手 康仁	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-----------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>近年、先進諸国において、格差や貧困、テロなど、我々の生活を脅かす諸問題が次々に顕在化している。一方で、こうした問題に対して首尾よく解決策を提示できないかに見える既存の政治に対して、人々が不信感を募らせている。そして、ポピュリズム(大衆迎合主義)的、排外主義的な主張をする政党や候補者が支持を集めるといった現象が各国で見られる。</p> <p>本特講では、まず民主主義とは何かという政治学の基本的なテーマについて理解するとともに、今日の世界が抱える諸問題に対して、民主主義がどのような答えを導くことができるのかについて検討する。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 世界の現状を理解し、説明する力：有益な情報、資料を選別し、自分の言葉で事象を説明できる。論理的・批判的思考力：様々な角度から事象を分析し、独自の視点から解説できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 無数に存在する政治情報、政治評論の中から、真に有益な情報を選別することができるようになること。民主主義を発展させていくためには何が必要であるかを理解すること。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1つのレポート作成にあたり基本教材および参考文献の読み込みに25時間以上、Manaba-Folioへの提出・再提出のやりとりに20時間以上を目安とする。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 manaba folioを使ったインタラクティブな添削指導を実施する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 まず基本教材をマスターした上で、図書館を利用して参考文献を調査し、レポートを作成する。</p>		
スケジュール	<p>前期：基本教材1のレポート課題1の最終稿は7月中旬までに提出。レポート課題2の最終稿は9月中旬までに提出。</p> <p>後期：基本教材2のレポート課題1の最終稿は11月中旬までに提出。レポート課題2の最終稿は1月中旬までに提出。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	教材内容を十分に理解し、かつ自分の意見や主張を反映させたレポートになっているか。
	平常評価	30%	意見交換などのプロセスを含めて、その取り組みの姿勢などを平常評価として勘案する。
履修者への要望	<p>各教材、参考図書の意味内容の把握だけに終わることなく、こんにちの政治状況全般に関心を持ち、問題点を把握し、改善策を考えるなど、自らの意見が持てるように努力をすること。そのためにも、日頃から各種のニュースに関心をもって欲しい。他方で、ニュースで上げられた出来事だけが、全てではないということにも注意して欲しい。例えば、最近の日本では、高齢ドライバーの事故のニュースが連日のように報道されていて、ともすれば若者に比べて高齢者は非常に事故を起こしやすいので免許を取り上げなければといった議論に行き着きやすいが、実際には、10代、20代のドライバーによる事故発生率の方がはるかに高いのが現実である。マスコミが選んで報道した出来事がニュースとなり、報道されなかったことに関しては、我々が知らないだけである。報道のみに依拠して議論することは危険であり、何事においても議論をする際には、自分の力で正しい資料を入手した上で議論をはじめると心に掛けて欲しい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 森政稔 教材名： 『迷走する民主主義』（筑摩書房，2016年）ISBN:978-4-480-06881-1 1,000円+税
	主に最近の日本政治を題材として、民主主義の意義と限界を思想的に問い直して、現在の閉塞状況を打破するための条件について考える。
参考図書	荻部直・宇野重規・中本義彦編『政治学をつかむ』（有斐閣，2011年） ISBN:978-4-641-17715-4 2,200円+税
履修上のポイント	世界がめまぐるしく変動する中で、現代の民主主義が直面している困難について考えるとともに、民主主義をどのように変革していくべきかを考える。民主主義の起源は紀元前に遡るが、近・現代の民主主義は、時代に合わせて何度もモデルチェンジされながら、それぞれの時代に適応して生き続けてきた。民主主義を我々の生活に生かすためにはどうすれば良いか、自分自身のこととして考えてみよう。
レポート課題 1	現代の民主主義のメリットとデメリットはどういった点だろうか。独裁体制のメリットとデメリットと比較しながら論じなさい。 留意点： 教材を熟読した上で、具体的な例を挙げて論じて欲しい。
レポート課題 2	弱者に厳しく彼らの利益にはなりそうにない新自由主義的な政府が、なぜ弱者によって支持される傾向が世界各地でみられるのか考察しなさい。 留意点： 教材を熟読した上で、具体例を挙げて論じて欲しい。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 中谷義和・川村仁子・高橋進・松下冽編 教材名： 『ポピュリズムのグローバル化を問う 揺らぐ民主主義のゆくえ』（法律文化社，2017年）ISBN:978-4-589-03839-5 4,800円+税
	まず最初にポピュリズムとはどのような性格を持つものであるかについて検討した上で、各国のポピュリズムについて、それぞれの国の歴史的・文化的背景等から分析するものである。
参考図書	W. リップマン著，掛川トミ子訳『世論(上・下)』（岩波書店，1987） ISBN: (上)4-00-342221-X 720円+税，(下)4-00-342222-8 900円+税
履修上のポイント	21世紀になってから、ポピュリズム、ポピュリストという言葉がメディアに登場するようになった。そして、アメリカ大統領選挙でトランプが当選して以降、ポピュリズムという言葉は現代政治を説明するために不可欠な言葉となった感がする。ポピュリストと呼ばれるこんにちの政治家達は、どのようにして世論を動かし、味方につけているのか考えてみよう。
レポート課題 1	世論はどのように形成されるのか。世論はどのように操作される可能性があるのか。例えば郵政民営化や原発問題など、具体的な事例を挙げて論じなさい。 留意点： 教材を熟読した上で、具体例を挙げて論じて欲しい。
レポート課題 2	あなたがポピュリストであると考えた現代の政治家1人を挙げて、どのような点においてそう考えられるか、具体的な政策や言動について検証しながら論じなさい。 留意点： 教材を熟読した上で、具体例を挙げて論じて欲しい。

科目名	国際法特講	担当者	アンドウ タカヨ 安藤 貴世	期間	通年	単位数	4
-----	-------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>国際法は国家間関係を規律する法であるが、今日、その規律対象は国家に留まらず、国際機関、個人などにも及ぶ。本講座は、こうした点を念頭に、本科目は、国際法の形成と発展、国際法の主体、武力行使禁止原則など、国際法の基本構造を理解したうえで、現代の国際社会が直面している個別具体的な論点や課題について国際法の観点から検討し、理解する力を身につけることを目的とする。</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリック：A-2:4, A-3:4, A-4:4, A-8:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の現状を理解し、自らの言葉で説明する力を身につけることができる。 現代の国際社会が直面する諸問題を発見し、国際法を手掛かりに論理的かつ批判的に思考することができる。さらにそれら諸問題の解決策について提案することができる。 <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 国際法の形成と発展について、国際法の主体（国家、国際組織、個人など）について留意しつつ、理解する。 2) 今日の世界情勢を念頭に置きつつ、国際法の基本原則たる武力行使禁止原則について、その例外とともに理解する。 3) 現代の国際社会における諸問題（難民、個人の国際犯罪、人権の国際的保障、領土・海洋、国際環境保護など）について、自らの関心に沿ってテーマを設定し、国際法の観点から理解する。 		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>manaba folio を使用し、教員と院生との間での双方向性を重視した添削指導を実施する。</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本教材、参考図書を熟読する（自習）。必要に応じて関連図書・文献などを参照する（自主研究）。そのうえで、レポート課題に沿って各レポートを作成する（レポート作成）。 レポート作成に際しては、オンラインを通じた教員からの指導、コメントや双方向的な質疑応答に基づいて修正を重ね、最終的なレポートを完成させる。また必要に応じて対面指導も取り入れ、レポートの作成、履修生の学修を補完する（ディベート）。 <p>【学修時間】</p> <p>レポート課題1つにつき、完成までに最低45時間の学修時間を要するものとする。目安の時間は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本教材および参考文献の読み込み：20時間以上 レポート執筆：10時間以上 レポートの推敲・最終稿の完成（教員とのやり取りを含む）：15時間以上 		
スケジュール	<p>【前期】</p> <ul style="list-style-type: none"> レポート課題1については草稿を7月末、レポート課題2については草稿を8月末を目安に提出すること。 その間、レポート作成に関する質問・疑問に対しては適宜オンライン等を通じ対応する。 最終稿の提出は、レポート課題1、2ともに9月19日とする。 <p>【後期】</p> <ul style="list-style-type: none"> レポート課題1については草稿を11月中旬、レポート課題2については草稿を12月中旬を目安に提出すること。 その間、取り上げるテーマ、レポート作成に関する質問・疑問に対しては適宜オンライン等を通じ指導、対応する。 最終稿の提出は、レポート課題1、2ともに1月14日とする。 		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	<ul style="list-style-type: none"> 基本教材、参考図書、その他の文献を用い、課題に沿った十分な検討がなされているか。 レポートの構成、論理展開が明確か。 脚注、参考文献リスト等レポートの体裁が整っているか。
	観察記録	20%	教員からのコメントに対する対応、質疑応答など、レポートの最終稿提出までの取り組みを評価する。
履修者への要望	<p>基本教材の理解を前提としつつ、参考図書やそれ以外の関連文献をリサーチしたうえで、テーマ設定、レポート作成を行うことが求められる。</p> <p>レポート作成にあたっては、単に基本教材等をまとめるだけではなく、国際社会における現代的な問題に関心を寄せ、それらの問題について、国際法をとおり論理的に議論を展開することを心掛けてほしい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名： 横田洋三編 教材名： 『国際社会と法』（有斐閣，2010年） ISBN:978-4641046528 2,800円＋税</p> <p>国際法の基本的構造について，特に市民生活と国際法とのかかわり（国際人権分野，国際経済分野等）について取り上げ概説する入門書である。</p>
参考図書	<p>小寺彰ほか『講義国際法（第2版）』（有斐閣，2010年）ISBN:978-4641046535 4,300円＋税 柳原正治ほか『プラクティス国際法講義（第3版）』（信山社，2013年） ISBN:978-4797224085 3,800円＋税 岩沢雄司『国際条約集』（有斐閣，2018年） ISBN:978-4641001527 2,800円＋税（なお、『国際条約集』は最新版のものでなくとも構わない。） 小寺彰ほか『国際法判例百選（第2版）』（有斐閣，2011年）ISBN: 978-4641115040 2,476円＋税</p>
履修上のポイント	<p>それぞれのレポート課題の留意点に沿って，基本教材のほかにも，参考図書や，必要に応じて関連の文献なども参照しつつレポートをまとめること。特に，国際法の形成と発展の過程，国際法の基本原則たる武力行使禁止原則について十分に理解し考えることは，今後の学修における基盤となる。</p>
レポート課題 1	<p>国際法の形成と発展について，国際法の主体にも留意しつつ論じなさい（4000字程度）。 留意点：基本教材第1章などを参照しつつ，国際法の形成および発展の歴史について，伝統的主体である国家のみならず，国際機構，個人なども国際法の主体と認められるようになった過程にも留意したうえで論ずること。</p>
レポート課題 2	<p>戦争違法化，武力行使規制の歴史について整理したうえで，武力行使禁止原則の例外について国連憲章の規定を挙げつつ論じなさい（4000字程度）。 留意点：基本教材第7章などを参照しつつ，戦争違法化の系譜と国連憲章の規定について留意し論ずること。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名： 横田洋三編 教材名： 『国際社会と法』（有斐閣，2010年） ISBN 978-4641046528 2,800円＋税</p> <p>国際法の基本的構造について，特に市民生活と国際法とのかかわり（国際人権分野，国際経済分野）について取り上げ概説する入門書である。</p>
参考図書	<p>小寺彰ほか『講義国際法（第2版）』（有斐閣，2010年）ISBN:978-4641046535 4,300円＋税 柳原正治ほか『プラクティス国際法講義（第3版）』（信山社，2017年） ISBN:978-4797224085 3,800円＋税 岩沢雄司『国際条約集』（有斐閣，2018年） ISBN:978-4641001527 2,800円＋税（なお、『国際条約集』は最新版のものでなくとも構わない。） 小寺彰ほか『国際法判例百選（第2版）』（有斐閣，2011年）ISBN: 978-4641115040 2,476円＋税</p>
履修上のポイント	<p>それぞれのレポート課題の留意点に沿って，基本教材のほかにも，参考図書や，必要に応じて関連の論文なども参照しつつレポートをまとめること。特にレポート1，2ともに，取り上げるテーマについては，現代的な問題・課題を念頭に置きつつ，担当教員と十分に相談したうえで決定すること。</p>
レポート課題 1	<p>「難民の庇護」，「国際犯罪と個人」，「人権の国際的保障」からテーマを1つ設定し，現代的な問題に触れつつ論じなさい（4000字程度）。 留意点：基本教材第10章，第11章などを参照しつつ，担当教員と相談のうえテーマを設定し，レポート課題に取り組むこと。</p>
レポート課題 2	<p>「領土」，「海洋」，「国際環境保護」をめぐる現代的問題からテーマを1つ設定し，国際法の観点から論じなさい（4000字程度）。 留意点：基本教材第3章のI，第6章，第13章などを参照しつつ，担当教員と相談のうえテーマを設定し，レポート課題に取り組むこと。</p>

科目名	国際政治論特講	担当者	ショウジ 庄司 タカユキ 貴由	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>ウェストファリア体制の成立から冷戦後の世界に至るまでの国際政治を、歴史はもちろん、理論も含めて体系的に学習していく。法律、政治、経済、歴史など諸科学の領域横断的な学問として確立された国際政治学は、当初、国家間のパワー・ゲームとして捉えられてきた。やがて、国家のみならず、国際機関、企業、NGO、テロリストなど脱国家的主体が影響力を持ち始めるようになると、国際政治の捉え方にも徐々に変化が訪れるようになる。</p> <p>本講義では、根拠に乏しい印象論ではなく、歴史や理論に裏打ちされた深い議論を受講生が構築・展開していくための基礎を提供していきたい。</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリックの該当番号：A-1:4, A-2:4, A-3:4, A-4:4, A-7:4, A-8:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際政治学の歴史や理論を体系的に理解し、それらに基づく独自の考察を創造する。 <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界的潮流を踏まえたうえで、体系的な説明ができる。(知識・想起) 基本的な歴史や理論を用いながら、論理的、批判的な思考ができる。(知識・解釈) 既存の研究や現実から何らかの問題点を導き出し、独自の考察を展開できる。(技能・問題解決) 		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>Manaba-Folio を通じて、教員と院生の間で双方向型の指導を行うこととする。</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>レポートの作成1本につき、最低45時間を要する。個人差、分析手法による相違もあるが、大体の目安は以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 基本教材の熟読。(自習)【10時間/レポート1本】 レポート課題に関する参考文献の渉猟、読解。(自主研究)【10時間/レポート1本】 レポート初稿の作成。(レポート作成)【15時間/レポート1本】 Manaba-Folio 上でのやりとり、および、加筆・修正作業。(ディベート、レポート作成)【10時間/レポート1本】 		
スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 最終稿の提出期限は、学事暦で定められている提出期限に準じる。 前期レポートは7月末までに、後期レポートは11月中旬までに初稿を提出する。その過程では、適宜、質疑応答を行うこととする。 いずれも修正を施し、誤字脱字など確認した後に、提出期限までに最終稿を提出する。 		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	60%	<p>先行研究との関係が明確化しているか。</p> <p>論旨が一貫しているか。</p> <p>独自性、先見性が導き出されているか。</p> <p>注、参考文献など基本的な体裁が整えられているか。</p>
	観察記録	40%	<p>manaba でのやりとりを含む取り組み方。</p> <p>初稿、最終稿の提出期限が守られているか。</p> <p>コメントに対する加筆・修正。</p>
履修者への要望	<p>先人たちの知的恩恵に浴しつつも、5W1H で研究対象を捉え、自分なりの「視点」や「問い」を見つけて下さい。国際政治という比較的新しい専門領域を通じて、ささやかながらそのお手伝いをさせて頂ければと思っています。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 村田晃嗣，君塚直隆，栗栖薫子，秋山信将 教材名： 『国際政治学をつかむ』（新版）（有斐閣，2015年） ISBN 978-4-641-17722-2 2,200円＋税 本書は、「歴史」、「理論」、「アクター」、「イシュー」の全四章（全27Unit）で構成された国際政治学の基本的な教科書である。基礎を幅広く網羅し、確かな専門性と平易な文章で貫かれた内容は、アメリカ、ヨーロッパの国際政治学を導入する類書とは本質的に異なるものである。複数の見方を日本人向けに「ブレンド」し、論を進めたところに最大の特徴がある。
参考図書	山田高敬，大矢根聡編 『グローバル社会の国際関係論〔新版〕』（有斐閣コンパクト，2011年） ISBN 978-4-641-04988-8 2,000円＋税
履修上のポイント	(1) 国際政治の歴史的流れを理解する。 (2) 代表的な理論の相違を理解する。 (3) 国際政治の制度や構造を理解する。 (4) 近年の国際政治が直面している課題を理解する。
レポート課題 1	リアリズム，リベラリズム，コンストラクティビズムなど，基本教材1で書かれている国際政治の主要理論に基づいて，特定の事例を分析しなさい（3,000字程度）。 留意点： 理論枠組み，事例の選択はいずれも各自の自由とする。
レポート課題 2	国際政治は絶えず新たな課題に直面しているが，それらは歴史的にどのような対応が施されてきたのだろうか。Unit 16以降からテーマを選び，歴史的視点で論じなさい（3,000字程度）。 留意点： 事例の選択は各自の自由とする。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 高坂正堯『国際政治—恐怖と希望』（中央公論新社，1966年） 教材名： ISBN:978-4-12-100108-5 660円＋税 日本における国際政治学の古典的名著である。出版年からやや古い印象を受けるが，それでも平和，軍備，経済交流，国際機構など現在に通じる論点を随所に提示している。いかにして現実の国際政治にアプローチをし，分析，考察を展開していくのか，本書は，この問いに一つの答えを与えてくれる好個の書籍に他ならない。
参考図書	服部龍二 『高坂正堯—戦後日本と現実主義』（中央公論新社，2018年） ISBN 978-4-12-102512-8 1,000円＋税
履修上のポイント	(1) 勢力均衡原則をはじめ，戦争と平和の関係を理解する。 (2) 経済交流，国際機構の機能と課題を理解する。 (3) 内政と外交の連関を理解する。 (4) 大まかな国際政治の流れを理解する。
レポート課題 1	高坂の『国際政治』は全5章構成であるが，そのうち1章を選び，簡潔にまとめなさい。そのうえで，どのような特徴があるのか論じなさい（3,000字程度）。 留意点： 関連文献を紐解くと，比較的書き易くなる。
レポート課題 2	現代の国際政治を眺めたとき，高坂が展開した議論の先見性や限界性はどこにあるのだろうか。具体的な事例を提示しながら論じなさい（3,000字程度）。 留意点： 高坂が『国際政治』を執筆した時代がどのような時代かを意識する。

科目名	国際協力論特講	担当者	イケガミ キヨコ 池上 清子	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、国際化・グローバル化を特質とする現代において、国際情勢の帰趨と世界の中の日本のあり方に対する広い視野と鋭敏な感覚及び能力を身に付けることを目的とする。特に、国際社会の現実的動態、国際社会と日本との関連等に関する学問的認識を自ら学び、自ら考えることを目的とする。</p> <p>I. 経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。【A-1:4】</p> <p>II. 想像力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力あるいは他者と協働して問題を解決することができる。【A-4:4】</p> <p>III. さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて他者との信頼関係を確立し、ときに強い影響を与えることができる。【A-6:4】</p> <p>IV. 集団の活動において、より良い成果を上げるために、他者と協働し、作業を行うとともに、指導者として他者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。【A-7:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>国際協力に関する理念、ミレニアム開発目標 (MDGs) 及び、持続可能な開発目標 (SDGs) の歴史的な意義、加えて開発と平和、平等、公正、ジェンダー、人権などの概念との接点を理解し、開発プログラムの策定過程を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>i. 開発目標であるグローバルパートナーシップのもつ意義を関係づけて考えることができる。(知識・想起)</p> <p>ii. 国際援助の担い手のマッピングを知り、形成することができる。(知識・技能)</p> <p>iii. 携わる多様なプレーヤー(国際機関、開発途上国と先進国政府、市民社会、企業、財団など)の役割と課題に配慮できる。(態度)さらに役割を活かした解決方法を記述する(知識・問題解決)</p>		
学修方略(方法) 【LS】と 学修時間	<p>① (自習) 基本教材や参考文献などを熟読する。情報検索方法や自分の考えを構築することを含めて自律的な研究遂行能力を習得し、さらに、変化する社会環境や多様な価値観を読み解き、正当な批判と評価を行う理解を深め、判断力を養う。先行研究リストの中から、少なくとも1-2論文を読むこと。【SBO i. & ii.】【20時間/レポート1本】</p> <p>② (自主研究) リポート課題に沿った事例及びデータを収集し分析する。【SBO ii.】【10時間/レポート1本】</p> <p>③ (レポート作成) リポートの草案を作成する。【SBO ii. & iii.】【5時間/レポート1本】</p> <p>④ (ディベート) manaba folio での掲示板機能を利用した受講生同士のディスカッション、あるいは複数回にわたって行われるリポート添削での教員と受講生とのディスカッションによりリポートの最終版を完成させる。【SBO ii. & iii】【10時間/レポート1本】</p>		
スケジュール	<p>提出期限は manaba folia 並びに学事歴記載された通り。(前期は9月19日、後期は1月14日)</p> <p>前期: 教材1のリポート課題(1)の草稿は6月末、課題(2)は7月末を目処に提出する。取り上げる題材については、草稿としてまとめる前に、メール等で相談することが望ましい。</p> <p>後期: 教材2のリポート課題(1)の草稿は11月中旬、課題(2)は12月中旬を目処に提出する。取り上げる題材については、草稿としてまとめる前に、メール等で相談することが望ましい。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	<p>課題に沿った論理構築がなされているか。課題に関係する重要な論点をおさえているか。結論が明確であるか。結論にいたるまでの理由が必要かつ十分であるか。</p> <p>3,000~4,000字という短い字数で、自分の意見をまとめられているか。参考文献、先行研究などの情報検索が十分かどうか。</p> <p>脚注などレポート作成に必要な情報が正確に含まれているか。</p>
	観察記録	20%	<p>manaba を通して行われるコメントに関する修正割合。毎回修正部分を赤字にして提出しているかどうかを含む。これらに加えて、レポート提出状況(期限の順守など)を考慮する。</p>
履修者への要望	<p>成績の評価基準にも記したように、論理的であることと自分の意見をまとめることを主眼としているので、どんな小さな点でも構わないので、自分の考えや気づきを大切に、レポートを書いていただきたい。一般的な予習内容としては、on-goingなトピックを追いかける研究であるため、新しい情報を常に入手することが重要となる。関連するWebsiteや新聞記事などの分析は欠かせない。具体的には、教材や参考図書を読み込むこと、それらを把握・吸収したうえで、レポートの課題に対する自分の考え方をまとめる。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 内海成治編『新版 国際協力を学ぶ人のために』 教材名： (世界思想社, 2016年) ISBN:978-4-7907-1674-7 2,800円+税
	開発の在り方に関わる諸問題について、特に開発協力の現場、理論的な国際協力の必要性、などを包括的に取り扱っている。国際協力に関与しようと思う人にとっては実践的なヒントがある。
参考図書	国分良成編『東アジアにおけるシヴィル・ソサエティの役割』 (慶応義塾大学出版会, 2007年) ISBN: 978-4-76-641378-6 2,200円+税 吉田康彦編『21世紀の平和学』(第2版) (明石書店, 2005年) ISBN:978-4-75-032205-6 2,400円+税
履修上のポイント	以下の点に留意して、レポートをまとめること。 (1) 開発に向けた国際協力の効果 (2) 持続可能な開発目標の歴史的意義、成果、課題 (3) 開発と、平和、平等、公正、ジェンダー、人権などの概念との接点 (4) 開発プログラムの策定過程
レポート課題 1	国際協力の必要性を、様々な角度から検討して自分なりの議論を展開する。特に、格差の是正、公平性などの原則を踏まえながら、3,000字程度でまとめる。十分にこのテーマを学び、議論していると考える場合には、必要ないというスタンスから、同様に必要ないことを議論する。 留意点 ：開発の理念についての議論が中心となる。
レポート課題 2	持続可能な開発の定義を理解しつつ、持続可能な開発目標(SDGs)が内包する課題を挙げつつ、2030年の目標達成期限までの課題を想定し、自分なりの提案を、3,000~4,000字程度にまとめる。 留意点 ：現在進行形のテーマなので、Web検索なりで情報を収集してからレポートにまとめること。出版されている書籍よりは論文が主となる。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 高松香奈 教材名： 『政府開発援助政策と人間の安全保障』 (日本評論社, 2011年) ISBN: 978-4-535-55692-8 5,700円+税
	どうすれば開発や援助が開発途上国の市民一人ひとりの生活の質を高めることができるのかという課題について、国際協力を幅広い領域から取り上げる。ODAは人間の安全保障のために行われているだろうかの問いに、ODAの援助方法論の分析に加えて、ミャンマーでの大規模調査を踏まえ実証的に検証する。
参考図書	NPO 法人いきいきフォーラム 2010 編 『シニアのための国際協力入門』 (明石書店, 2004年) ISBN:978-4-75-032027-4 2,400円+税
履修上のポイント	以下の点に留意してレポートをまとめる。 (1) 目標として掲げられる人間の安全保障のもつ意義 (2) 国際協力の担い手のマッピングを基にして、国連機関間の調整機能と能力、政府開発援助(ODA)の役割と課題、国際機関の持つ独自性と課題、市民社会、NGOsの役割と課題、市民社会、NGOsの役割と課題を知る。特に、調整に関する情報を収集しておく。 (3) アジアとアフリカが置かれている開発状況の違い
レポート課題 1	人間の安全保障の観点から、開発援助との関連について、現状と課題を分析して、3,000-4,000字程度にまとめる。 留意点 ：人間の安全保障、日本の開発のさまざまな開発支援の方法論などの定義を確認すること。
レポート課題 2	日本国内の援助機関・関係者の調整について、TICAD(東京アフリカ開発会議)を事例として、現状と課題を分析して、人間の安全保障の視点から、3,000字程度にまとめる。 留意点 ：TICADの役割にも触れること。国際協力の担い手を分析すること。

科目名	国際関係論特講	担当者	クサノ ヒロキ 草野 大希	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本科目は、国際関係論における代表的な理論に関する理解を深めると同時に、国際関係の「歴史および現実」についても学習し、結果として、複雑な国際関係を分析的、理論的な視座から捉えられるようになることを目的とする。具体的には、リアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズム等の国際関係論の主要学派が提供してきた諸理論を学習し、「分析レベル」に基づく国際事象の考察方法を学び、国際関係論の主要理論を総合化する「複雑システム」の観点を理解し、過去および現代の国際秩序に関わる具体的な問題を複眼的な視点から考察できるようになること、である。</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリック：A-2:4, A-3:4, A-4:4, A-8:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 国際関係論の理論的な専門「知識」および国際関係事象の分析・考察「技能」を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 国際関係論の主要学派と複雑システムについての理解を深めると同時に、「分析レベル」に基づく国際事象の考察方法および世界大戦、冷戦、冷戦終結後のグローバル化、米国の介入政策など国際秩序に関わる具体的な事実（歴史）を理論的に考察する方法を獲得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 「国際関係論特講準備学修」のスライド (manaba 掲載) を閲覧、吟味 (4～5 時間) する。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングは実施しない</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次のように「自習」(5 時間)、「自主研究」(10 時間)、「レポート作成」(35 時間) が本科目の学修方法となる (カッコ内はレポート 1 本当たりの時間) ・基本教材を基に合計 4 つの課題を設け、その課題に答える形で学習を行う。質問や疑問が生じた場合には、メールにより教員に相談したうえで問題を解消し、効果的に学習を進めてほしい。 ・レポート課題としては、後述のように、合計 4 つのレポートを提出する必要がある。 		
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・前半は「基本教材 1」を中心とした内容を学習範囲とする。6 月末までに一通りの学習を終了し、「基本教材 1」に関連する「レポート課題 1」を 7 月中旬、「レポート課題 2」を 8 月中旬までに、それぞれ初稿を提出する。教員からのコメントを考慮した上で修正した最終稿を、学事暦記載の締切日までに提出する。 ・後半は「基本教材 2」を中心とした内容を学習範囲とする。10 月末までに一通りの学習を終了し、「基本教材 2」に関連する「レポート課題 1」を 11 月中旬、「レポート課題 2」を 12 月中旬までに、それぞれ初稿を提出する。教員からのコメントを考慮した上で修正した最終稿を、学事暦記載の締切日までに提出する。 		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	(A) 内容 (課題に的確に答えているか)、(B) 構成 (文章の構成は合理的で論理的か)、(C) 調査の精度 (十分な調査に基づくものか)、(D) 文章表現力 (誤字脱字の無い、理解可能で正確な文章か)
	観察記録 (試験)	30%	レポート作成の過程や質問などのやり取りを通して総合的に判断
履修者への要望	<p>国際関係論または国際政治学に関する入門的な知識があれば、履修者の学習はよりスムーズに進むと思われるが、たとえそのような知識がなくとも、履修者の努力次第では、履修は可能と考える。また、本科目の基本教材は日本語で書かれた書物であるため、高度な英語力 (読解力) は必須ではない (ただし、より発展的な学習を行う場合には、高い英語力が武器となることは確かである)。他方で、現在の世界情勢を含め、国際関係に関心がない人にとっては、本科目の履修は難しいと言える。本科目は、所謂「時事解説」を主眼とするものではないが、ここで学ぶ様々な知識は、現在あるいは今後の世界秩序を構想する上でも有用になるものである。それを自分自身で実践できるよう、普段から国際問題に高い関心を有している積極的に意欲的な学生が履修してくれることを期待する。なお効果的な授業運営の為に、履修希望者は、履修登録と同時に担当教員にその旨、連絡して下さい (kuslsaku@mail.saitama-u.ac.jp)。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： ジョセフ・S・ナイ・ジュニア、 デイヴィッド・A・ウェルチ 教材名： 『国際紛争—理論と歴史（原書第9版）』（有斐閣、2013年） ISBN: 978-4641149052 2,800円（税別）
	ハーバード大学での講義のためにナイによって執筆された「国際関係論」における定評ある教科書である。20世紀の二つの世界大戦や冷戦を経た後、人類は地域紛争やテロに見舞われている。なぜそうした紛争が起こるのか。相互依存が進展し、民主的価値が広まれば世界秩序が達成されるのか。「理論」と「歴史」の相互検証を通して、国際関係論の分析道具を提供する最適の教材である。
参考図書	吉川直人・野口和彦編『国際関係論（第2版）』（勁草書房、2015年） ISBN:978-4-326-30244-4 3,300円（税別）
履修上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・古代ギリシャにおけるペロポネソス戦争からグローバル化する21世紀の世界に至るまでのマクロな国際関係の歴史的動向を掴む ・国際事象を純粋な「歴史学」ではなく、社会科学の一分野としての「国際関係論」の理論的、分析的、方法的視座から考察する感覚を身につける ・リアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズムに関する学術的知識を習得する
レポート課題 1	課題：「分析レベル」に基づく国際関係の分析とはどのようなものか。具体的な分析の「例」に言及しつつ、その可能性と限界について論じなさい。（三千～四千字） 留意点： とくに、教材の第1章～第5章の内容を十分踏まえて課題に取り組んで下さい。
レポート課題 2	課題：冷戦終結後以降に進展したグローバル化は、世界の平和と安定にどのような影響を与えたか。「非伝統的」とされる国際関係の新たな展開に留意しつつ、論じなさい。（三千～四千字） 留意点： とくに、教材の第6章～9章の内容を十分踏まえて課題に取り組んで下さい。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 草野大希 教材名： 『アメリカの介入政策と米州秩序—複雑システムとしての国際政治』（東信堂、2011年） ISBN:978-4-7989-0085-8 5,400円（税別） 【著者より割引で購入可】
	国際関係論の主要学派であるネオリアリズム、ネオリベラリズム、コンストラクティビズムの理論的知見を総合化するものとして「複雑システム」の理論を位置づけ、同理論の妥当性を、20世紀初頭の米州におけるアメリカの介入事例から検証した本書は、「理論」と「事実」両面から高度な国際関係の理解を目指す上で最適の教材である。
参考図書	廣瀬和子『国際法社会学の理論—複雑システムとしての国際関係』（東京大学出版会、1998年） ISBN: 978-4130311618 5,200円（税別） 【アマゾン中古有】
履修上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ネオリアリズム、ネオリベラリズム、コンストラクティビズムの理論的特徴、およびそれぞれの理論が何を抽象し、何を捨象したかについてきちんと理解する ・ネオリアリズム、ネオリベラリズム、コンストラクティビズムが互いにどのような関係にあるのかを複雑システムの視点を通して、的確に理解する ・複雑システムの見方を応用して、具体的な国際関係事象の特徴や論理を明らかにする
レポート課題 1	課題：国際政治学における3つの「イムズ」を総合するモデルとしての複雑システムの理論的特徴は何か。基本教材を参照しつつ、その内容を概説しなさい。（三千～四千字） 留意点： とくに、教材の第1章～第4章の内容を十分踏まえて課題に取り組んで下さい。
レポート課題 2	課題：国際関係に関わる特定事象や事例を任意に選択し（事前に担当教員に相談）、その特徴や論理を、本科目で学修した理論を援用して明らかにする小論文を作成しなさい。（三千～四千字） 留意点： 分析や記述の方法として、基本教材の第5章～第12章を参考にすると良いだろう。

科目名	行政論特講	担当者	セキネ 関根 フミオ 二三夫	期間	通年	単位数	4
-----	-------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>20 世紀になり顕著になってきた行政の多様化・複雑化に伴う行政国家化は、議会政治との軋轢を生じさせることになりました。本来、政策の執行を扱うとされた行政が、今や派生的ともいえる政策の立案や決定に大きな影響力を持つようになり、議会政治の危機を生じさせております。行政が持つ制度面や機能面の特徴を国家との関連において把握し、行政と国家が如何なる関係にあるかを学びます。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 国家概念を理解することで、国家と社会、社会と個人、個人と国家との関係を理解することが出来るようになります。国家については、19 世紀の立法国家から 20 世紀の行政国家へ、また社会については 19 世紀の市民社会から 20 世紀の大衆社会へと変遷してきており、それぞれの特徴を把握します。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 国家と国家機関との関係を体系的に、且つ具体的に説明することが出来るようになります。</p>		
学修方略 (方法) 【LS】と 学修時間	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 課題に関する質疑応答をメールのやり取りを中心に行います。その際、課題の要点を理解するような問いかけを行い、自発的に問題点を整理し、解決策を探ることが出来るようになります。</p> <p>【学修方略 (LS)】 テキストを基本にして、メールを用いた質疑応答を行います。</p> <p>【学修時間】 行政に関する学問は、社会科学のカテゴリーに入り、人間社会を対象にする学問です。テキストを熟読し、また社会の情報に関心を持ち、各単元 2 時間程度の予習と 2 時間程度の復習が必要になります。</p>		
スケジュール	<p>大学院が指定した提出期限までに課題についてのレポートを提出して頂きます。提出期限までに余裕をもって草稿を提出して頂き、何度かやり取りをしたのち、完成稿を提出して頂くことになります。</p>		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	70%	履修上のポイントや到達目標、レポート課題の留意点を参考に評価します。
	平常評価	30%	質疑や添削草稿への対応を中心に評価します。
履修者への要望	<p>内閣や大統領を頂点とする行政部で、どのようなことが行われているのか、また内閣や大統領と議会との関係はどのようになっているのかなどを、メディアの報道や記事などを参考にして考え、問題点を把握するように心がけて下さい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 関根二三夫、岩井奉信、黒川貢三郎、杉山逸男、外山公美、松木修二郎 教材名： 『教養政治学』（南窓社、2013年）ISBN:978-4-81-650187-6 2,900円+税
	政治学の研究対象は、広範囲に及びます。本書は、一般教養の政治学として執筆されたものですが、現代の政治を理解するのに必要な内容を含むものです。政治学の沿革、政治権力、国家と政府、政治過程、選挙と投票行動、政治と世論などが含まれており、国家に生起する政治現象の理解に役立つものです。
参考図書	山田光矢編『政治学』（弘文堂、2011年）ISBN:978-4-33-500192-5 2,000円+税
履修上のポイント	国家に生起する現象を政治面や社会面から把握することで、国家を立体的に理解することが可能になると考えられます。国家を成立させる要素を伝統的に考えれば、国民、領域そして主権があります。それらの要素には、人間が深く係りを有しており、政治現象や社会現象を理解する必要があります。現代国家においては、個人が国家を離れて生活をするのが不可能に思われますので、国家に生起する問題を理解することが重要です。
レポート課題 1	近代国家の成立と発展について述べよ。 留意点： 近代の市民社会から現代の大衆社会への変化において、国家の機能が如何に変遷してきたのかを考察して欲しいと思われます。
レポート課題 2	国家と社会との関係について述べよ。 留意点： 一元的国家論と多元的国家論との違いについて考察して欲しいと思われます。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 西尾勝 教材名： 『行政学』（有斐閣、2001年）ISBN:978-4-64-104977-2 3,200円+税
	本書は、行政の制度を中心に管理や政策に重点を置いて述べています。国家行政や地方行政が円滑に遂行されるためには、行政の諸局面を考慮しなければなりません。行政と行政学の背景、行政制度の構造、行政過程の展開、行政管理の充実、行政統制の推進等が、その内容になっています。
参考図書	外山公美編『行政学』（弘文堂、2011年）ISBN:978-4-33-500195-6 2,400円+税
履修上のポイント	行政概念については、憲法、行政法、行政学などからの把握が可能です。三権分立的控除説や国家目的実現説などの法的把握以外に行政過程説や統治機能説などの行政学的把握があります。行政学において行政概念がどのように把握されているか、また概念の把握に至る過程がどのようなものであるかを、行政の諸局面を考察しながら考えて欲しいと思われます。
レポート課題 1	ロレンツ・フォン・シュタインの行政学について述べよ。 留意点： シュタイン行政学は、ドイツ官房学を集大成し、行政法学への道を拓いたといわれます。シュタイン行政学が成立する背景、シュタインの国家観における国家と行政との関係、行政学の内容、行政法学が台頭する理由などを考えて欲しいと思われます。
レポート課題 2	現代国家と行政統制について述べよ。 留意点： 19世紀の立法国家から20世紀の行政国家への移行は、行政府の政策立案機能や政策決定機能を増大させました。行政府を外在的に、また内在的に統制して行政の民主化を確保し、行政責任を明確にすることが必要です。

科目名	日本政治史論特講	担当者	タキガワ シュウゴ 瀧川 修吾	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>「温故而知新，可以為師矣」というように，過去の歴史的事実から，向後の政治をより良くするための教訓を得んとする試みは，政治史という学問の最大の使命であろう。政権の在り方や，制度の不備，格差や貧困といった俄には解決しがたい問題に起因する内政上の不満を，外交や軍事に対する人々の関心を掻きたてることで，巧みに逸らす政治手法は，他国との関係を大前提とするグローバル社会にあって，あらゆる民主主義国家とその国民が対決し，克服していかなければならない脅威といえる。本講義では，広く歴史とは何かについて学んだ上で，この厄介な問題につき，幕末から明治にかけての日本で登場した征韓論を素材に，皆さんと一緒に考えてみたい。</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:4, A-2:4, A-3:4, A-4:4, A-5:4, A-8:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>日本政治史や思想史の専門書を熟読し，内容を深く理解する洞察力や省察力を養い，その成果を纏め，独自の観点から論評・解説する論理的・批判的思考力を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. E.H.Carr の著作を精読し，各自の歴史観を再確認し，そこで学んだ理論の妥当性につき，日本史上の歴史的事実を事例にして考察を加えてみる。 2. 社会科学における言葉の定義の重要性につき，「征韓論」を事例に理解する。さらに徳川幕藩体制下の対馬藩が直面した危機について理解する。 3. 総じて，教養を身につけるために学ぶ通史とは異なり，いわば歴史を通じてものごとを深く考える楽しみに接し，自己の眼前に展開する諸問題につき，歴史的に思考する能力を養う。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>テキストないし指示された参考書を熟読してもらおう（概ね新書1冊と学術論文2本）。学修時間は個人差が生じざるを得ないが，質問や用語の調査なども入れて45時間超を想定している。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>メールや添付ファイル，manaba を活用し，双方向性を重視した指導をおこなう。</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>履修者の皆さんが，これまでどの程度，歴史を学んできたかで，学修方法も再考を余儀なくされるものと予想される。よって「基本教材1」の「I 歴史家と事実」をある程度読み進めた段階で，一度，皆さんからメール等で連絡をもらい，当方が皆さんの習熟度や理解度を把握することとしたい。その上で必要に応じて参考図書を紹介したり，レポートの難易度や分量を加減したりするなど，調整し，皆さんそれぞれの状況に応じた到達目標が実現されるような指導をおこなう。概ね，自主研究に20時間，レポート作成に10時間，教員とのディベートに15時間を目安とする。</p>		
スケジュール	<p>「基本教材1」から出題した課題は，6月末までを目安に学習を終え，「レポート課題1」は7月15日を，「レポート課題2」は8月15日を，それぞれ初稿の提出締切日とする（以下全て，可能であれば，締切日以前の提出を奨励する）。最終稿は9月15日を提出期限とする。</p> <p>「基本教材2」から出題した課題は，10月末までを目安に学習を終え，「レポート課題1」は11月15日を，「レポート課題2」は12月15日を，それぞれ初稿の提出締切日とする。最終稿は1月11日を提出期限とする。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	教材から一定の知識を修得し，それらを客観的かつ論理的に纏めることができているか。また，学んだ知識を批評したり，援用したりするなど主体的に活用することができているか。
	観察記録	30%	当方がおこなった指導や指摘を，適切にレポートへ反映することができたか。レポートの提出期限の遵守等，コミュニケーション上のルールを守ることができたか。
履修者への要望	<p>関連科目を大学で受講していなくても及第点がとれるように，極力，親切丁寧な指導を心掛けるが，その成否は，やはり皆さんがまめに連絡をくれるか否かに掛かっていると思われる。質問してくれたことに対して減点をするようなことは一切ないので，積極的かつ気軽に質問をして頂きたい。なお，皆さんが効率よく学修を開始するためには，当方にもしかるべき準備が必要となる。よって，履修登録をすると同時に，その旨を担当教員にメール (takigawa.shugo@nihon-u.ac.jp) で報告することを履修の条件としたい（その後，履修取消しをした場合もご一報頂きたい）。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： E.H. カー著・清水幾太郎訳 教材名： 『歴史とは何か』（岩波書店，1962年，原著は出版） ISBN：4-00-413001-8（820円＋税）
	本書は、E.H. Carr が1961年にケンブリッジ大学でおこなった講演をもとに編まれたもので、歴史を研究する者にとっては必読文献といっても過言ではない。本書の出版からすでに半世紀が経過したが、ここで提示されている議題の数々がその重要性を失うことは、この世に人間や社会が存在する限り、決してないであろう。
参考図書	原著 “What is history “は、幸いインターネット上でも閲覧できるようなので、訳本と併読することを推奨したい。もちろん Amazon 等で、ペンギンブックスなどのペーパーバックを購入するのも良い（千数百円程度）。
履修上のポイント	同書では、劈頭に掲げられていた命題が先々まで深い意味をもっていたり、再び別の視点で論じられたりといったケースがあるので、論点をノートに書き出して読み進めると良いであろう（本に線を引いたり、眉批を直接書き込むのも良い）。呉々も、新書をたった一冊読むだけなどと侮らず、その分、しっかりと基本教材を「精読」してもらいたい。読み進める中で、知らない人名や事件等が出てきたら、最低限、電子辞書やインターネットなどを用いて調べるようにすること。
レポート課題 1	歴史とは「歴史家と事実との間の相互作用の不断の過程であり、現在と過去との絶え間ない対話」であるという Carr の主張は、いったいどのような意味か。現今を生きる自分自身の体験や経験を踏まえて論じなさい。 留意点： Carr の所論と皆さんの意見等とが混在しないように、正しい「引用」と「援用」の技法を駆使してレポートを作成すること（換言すれば、要旨を纏めるだけでは不十分です）。
レポート課題 2	Carr が述べる「歴史における必然」と「歴史における偶然」とはどのような問題か。要領よく論点を纏めると共に、適当な日本史上の歴史的事実を随意に用いて説明を試みなさい。 留意点： レポートの構成や用いる事例などが決まった段階で、一度当方に相談の連絡をくれた方が効率的と思料される。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 瀧川修吾 教材名： 『征韓論の登場』（櫻門書房，2014年） ISBN：978-4-901250-46-7（2,500円＋税）
	本書は、「征韓」論が幕末から明治の政治空間にどのようにして登場したかを、政治史・思想史的なアプローチで探求した専門書である。いわゆる博士論文を刊行したものであるため、章・節の設け方や脚注の付け方等々、皆さんがレポートや修士論文を作成するにあたって書式の見本となれば幸甚である。入手が困難な場合は、takigawa.shugo@nihon-u.ac.jp まで御一報下さい。
参考図書	本書一冊を読破するだけでも骨が折れると思われるので、教材としては「序章「征韓」論の歴史的意義と論理的構造」と「第一章 ロシアによる対馬占拠事件」を使用する。参考図書については、適宜、紹介をする。
履修上のポイント	同書は専門書であるため、日本史の学術論文を初めて読むという履修者には、おそらく読みづらいものと思われる。まずは根気強く、導入部に当たる序章を読んでみてもらいたい。「基本教材 1」と同様、未知の人名や事件については調べる努力を惜しまないで欲しい。ついで第 1 章を読み終えたところで、「レポート課題 2」を具体的にどのようなテーマにするのか相談したいので、必ず連絡をもらいたい。そこで参考図書も決まるので、遅くとも 10 月初旬には第 1 章を読み終えて欲しい（場合によっては、先に第 1 章を読むと良いであろう）。
レポート課題 1	幕末から明治にかけての「征韓」論が当事者および歴史家によってどのように認識され、その結果、どういった学説が形成されてきたかについて論じなさい。 留意点： 呉々も「基本教材 2」の切り貼りにならないように、当方の指導を受けつつ、自分の言葉でレポートを作成すること。
レポート課題 2	幕末から明治の日本を取りまいていた国際的環境をテーマに、各自で自由に議題を設定し、これについて論じなさい。 留意点： 履修上のポイントにも書いたように、「自由」とはいえども、当方と相談の上で議題設定をすること。

科目名	グローバルヘルス論特講	担当者	ガイ 蓋 ジャクエン 若 瑛	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>グローバルヘルスとは、国際的な視点で健康問題をとらえ、その現状、要因、改善対策、並びに国際社会の様々なステークホルダー（国際機関、発展途上国と先進国政府、財団、市民社会、企業など）の在り方、動向と政策のインパクトを学際的にアプローチする学問です。医療技術の進歩と人口・疾病構造の転換に伴い、今、世界は前代未聞の健康転換を経験しています。それと同時に、地球規模の健康格差が拡大しており、経済開発、社会開発・人間開発、貧困、社会的不平等、ジェンダー、ガバナンス、人権など複雑な社会決定的要因と関わります。この科目では、先行研究、国際機関の報告書・統計データなどの情報検索・活用や自分の批判的な考えを通して、地球規模の健康問題の現状と要因に対する認識と理解に基づき、ユニバーサルヘルスカバレッジ、持続可能な開発目標などグローバルヘルス、人間の安全保障に関わる最新の政策動向に対する妥当な評価と批判という問題の提起⇒分析⇒解決のプロセスを学んでいきます。</p>		
到達目標	<p>【一般目標（GIO）】 健康転換、世界疾病負担、健康の社会決定的要因、ヘルスシステム、プライマリヘルスケア、経済開発・貧困削減、社会開発・人間開発、ガバナンス、ジェンダー、人権、ミレニアム開発目標（MDGs）、持続可能な開発目標（SDGs）、ユニバーサルヘルスカバレッジ、人間の安全保障などグローバルヘルスと関連分野の基本概念・理念を習熟し、発展途上国と先進国、様々な国・地域の健康問題の在り方と政策動向を把握する。</p> <p>【行動目標（SB0s）】 グローバルヘルスの主な研究・評価手法を理解し、先行研究と国際機関の報告書・統計データの活用方法を習得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 基本教材と参考図書に参照</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 必要に応じて、グループディスカッションを行う。</p> <p>【学修方略（LS）】 レポート課題に沿って、教材、参考図書・資料に基づいて課題をまとめる。ただ、それだけで説明が十分ではないと思われる場合があり、Web や図書、雑誌掲載論文に自らあたって学習を進めていく必要がある。</p>		
スケジュール	<p>前期：教材1のレポート課題の草稿は7月までに提出し、9月中旬までに最終稿を提出する。 後期：教材2のレポート課題の草稿は11月までに提出し、翌年1月課題提出締切日までに、最終稿を提出する。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	課題に沿った論理構築がなされているか。 3,000字程度という短い字数で、自分の意見をまとめられているか。 十分に教材を読み込んでいるかどうか。 参考文献、先行研究などの情報検索が十分かどうか。 脚注などレポート作成に必要な情報が正確に含まれているか。
	平常評価	20%	草稿に対するコメントに関する修正度合
履修者への要望	<p>グローバルヘルスは学際的な学問であり、様々な専門背景の方が大歓迎です。問題意識を持って、総合的な視野、論理的思考と問題解決志向を目指して、学習を進めてください。 また、国レベルの健康と保健医療の問題はグローバルヘルスの一部分なので、日本のことも十分理解しておくことが重要です。日常生活で触れるメディア、インターネットの情報も学びの種になります。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 国際保健医療学会編 教材名： 『国際保健医療学』（杏林書院、2013年）ISBN：978-4-33764405318 3,200円+税
	グローバルヘルス及びその関連分野の理論、方法論、課題、政策動向が網羅的に記述されています。第I部と第II部では、グローバルヘルスの理論と研究・実践の方法を学ぶことができます。第III部では、疾患・テーマ別の課題、第IV部ではグローバルヘルスの関連分野、第V部では、様々な発展途上国における実際的な応用が包括的に紹介されています。
参考図書	世界保健機関『世界保健統計2018』（英文：World Health Statistics 2018: Monitoring Health for the SDGs、世界保健機関HPからダウンロード可： https://www.who.int/gho/publications/world_health_statistics/2018/en/
履修上のポイント	以下の点に留意して、レポートをまとめること。 1. 国際的な視点で健康を考える必要性 2. 健康転換の視点を踏まえたグローバルレベルと国レベルの健康問題の趨勢 3. ヘルスシステム強化の意義 4. 健康と経済開発、社会開発・人間開発、貧困、社会的不平等、ジェンダー、ガバナンス、人権との接点 5. 統計データと指標の応用
レポート課題 1	健康転換の視点を踏まえて、先進国また発展途上国から1か国を選択し、適宜にデータと指標を引用しながら人口・疾病構造の特徴、ヘルスシステムと社会経済的開発の現状と問題点を分析し、政策に取り込むべき健康課題について意見を述べてください。 留意点： 世界保健機関、世界銀行などの国際機関のHPから様々な国別・地域別の健康指標、社会経済的開発指標、関連の報告書がアクセスできる。適宜に参照すると、レポートは書きやすい。
レポート課題 2	持続可能な開発の定義を理解しつつ、各自ご関心のある健康関連の持続可能な開発目標(SDG3)が内包する課題を挙げつつ、一つの国また地域をフォーカスして2030年の目標達成期限までの課題を想定し、自分なりの提案を3,000字程度にまとめる。 留意点： 現在進行形のテーマなので、Web検索なりで情報を収集してからレポートにまとめること。出版されている書籍よりは論文が主となる。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 丸井英二・森口育子・李節子 教材名： 『国際看護・国際保健』（弘文堂、2012年）ISBN：978-4-33-576016-7 2,400円+税
	国際的な視点で健康問題をとらえ、グローバルヘルスにおける日本の役割と日本の健康課題の世界との接点を提示する教科書です。グローバルヘルスの対象、方法と実際応用にわたる枠組みを学ぶことができます。
参考図書	1. 世界銀行『包括で持続的な発展のためのユニバーサルヘルスカバレッジ：11か国研究の総括』、池上直己『包括で持続的な発展のためのユニバーサルヘルスカバレッジ：日本からの教訓』（日本国際交流センターでダウンロード可、 http://www.jcie.or.jp/japan/pub/publst/1453.htm) 2. 外務省国際協力局民間援助連携室『NGOのためのユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）ハンドブッカーすべての人に健康を届けるためには』（外務省HPでダウンロード可、 https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000079718.pdf)
履修上のポイント	教材と参考図書の以外に、ほかの文献や情報も積極的に収集して、グローバルレベル及び国レベルの健康アウトカムの改善に向けた取組みについてより深く考えることを期待している。レポートを通して、これまで触れたグローバルヘルスと関連分野の基本概念・理念への理解を再確認してほしい。
レポート課題 1	発展途上国におけるユニバーサルヘルスカバレッジの達成に向けて、どのような課題を直面しているのか、具体例を挙げて記述してください。 留意点： Web、メディアなどで適宜に情報を収集しながら、自分なりの考えと提案をまとめること。
レポート課題 2	グローバルヘルスの分野で今後期待できる日本の役割について意見を述べてください。 留意点： Web、メディアなどで適宜に情報を収集しながら、自分なりの考えと提案をまとめること。

科目名	国際メディア論特講	担当者	コンドウ 近藤 モトヒロ 大博	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	--------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、現代社会において不可欠な情報・メディアの特質を修得することにより、以下の能力を身につけることを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際的な情報の流通の特質を把握することができる。【A-2:4】【A-8:4】 2. 国際社会のメディアの問題点を指摘することができる。【A-4:4】【A-8:4】 3. メディア・リテラシーを高めることができる。【A-6:4】【A-8:4】 4. 理想的なメディア像を描くことができる。【A-2:4】【A-5:4】【A-8:4】 <p>【日本大学教育憲章ループリックの該当番号】</p>		
到達目標	<p>[一般目標(GIO)]</p> <p>時代の変化とメディア、特に新聞や雑誌の論調の変化、論調・報道と現実の動きの相互関係を検証することにより、情報・メディアを適切に活用する方法を修得する。</p> <p>[行動目標(SBOs)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. メディアの発達・変化がいかに時代を動かしたか、動かすかを説明できる。(知識・想起) 2. 時代の流れや経営上の要請により、メディア・情報・論調が変容する様相を類別できる。(知識・解釈) 3. IT化の進展、SNSの普及によるメディア・情報の変質を測定・指摘できる。(知識・技能) 4. 学問、知識人、世論、政治とメディアの関係を説明できる。(知識・解釈) 5. 日本の報道・評論と諸外国のそれらとの相違とその原因を指摘できる。(知識・問題解決) 6. メディア・情報に内在する問題を歴史的に整理・類別できる。(知識・解釈) 7. 歴史認識・対外認識・自国イメージを形成するさいに陥りやすい陥穽を列挙できる。(知識・問題解決) 8. メディアの今後の方途を記述できる。(知識・問題解決) 		
学修方略(方法) 【LS】と 学修時間	<p>[アクティブラーニングの有無・学修媒体等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・manaba folioの全受講者用の掲示板機能を利用し、教員と受講者として質疑し、その過程を受講者全員に公開し、その成果を共有する。(自習、自主研究、ディベート) ・manaba folioを利用し、受講者同士で質疑応答・意見交換する。(自主研究、ディベート) ・図書館、インターネットなどで自律的に資料を検索して、レポートを作成する。(自習、自主研究、レポート作成) ・manaba folioを利用し、教員にレポートの構成を相談し、草稿を提出し、添削指導を受ける。(レポート作成) <p>[学修方略(LS)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題に沿って、教材や参考図書を読み込み、自らが問題点を抽出する。 ・抽出した問題を論ずるに必要な文献・資料を検索・整理し、それに対する考え方をレポートとしてまとめる。 ・上記の過程で、疑問点などに関し、教員に、manaba folio、メールなどで相談・質問する。 ・教員から、適宜、manaba folio、メールなどにて伝達される情報・補助教材を活用する。 <p>[学修時間]</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 篇のレポート作成に、最低 45 時間の学習時間を要する。 ・基本教材・参考文献の読み込み、データの探索：20 時間 ・レポート執筆：10 時間 ・レポートの推敲、教員の添削指導：15 時間 		
スケジュール	<p>前期：教材 1 のレポート課題(1)の草稿は 7 月末、課題(2)は 8 月末を目途に提出する。</p> <p>いずれのレポートも課題提出締切日(9 月 19 日)までに最終稿を提出すること。</p> <p>後期：教材 2 のレポート課題(1)の草稿は 11 月中旬、課題(2)は 12 月中旬を目途に提出する。</p> <p>いずれのレポートも課題提出締切日(2020 年 1 月 14 日)までに最終稿を提出すること。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	レポート内容を、問題設定・論理的展開・歴史的展開・問題提起の面から検討し、全体の記載方法、注・参考文献の適切性・記載方法、最新の研究の反映や自らの研究分野との関連性などを評価する。
	観察記録	20%	スケジュールの遵守の度合、メールの送受信の状況、質疑応答の内容などを勘案する。
履修者への要望	<p>自らが最も有用と想定する新聞・月刊総合雑誌を定期購読することが望ましい。</p> <p>外国の新聞・雑誌、WEB に恒常的に接することが望ましい。</p> <p>そのおり、持つにいたった疑問・問題に関し、メールや manaba folio を活用し、積極的に教員と討論すること。</p> <p>レポートの題材・テーマは、自身の研究に資するように努めること。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名：朝日新聞社「新聞と戦争」取材班 教材名：『新聞と戦争』上・下（朝日新聞出版，2011年） 上 ISBN:978-4-02-261701-9 780円+税 Kindle版 https://www.amazon.co.jp/ 799円 下 ISBN:978-4-02-261702-6 780円+税 Kindle版 https://www.amazon.co.jp/ 799円</p> <p>朝日新聞による戦前・戦中期の同紙の報道内容の検証。軍国主義下，新聞の取材・編集現場と経営陣の葛藤，広告と部数拡大の実態，新聞と民主主義・自由の価値，世論との相互関係等々についての歴史の教訓。かつ現在のジャーナリズム・新聞にも通底する問題を示唆する。</p>
参考図書	<p>今西光男『占領期の朝日新聞と戦争責任』（朝日新聞出版，2008年） ISBN:978-4-02-259940-7 1,400円+税 河内孝『新聞社』（新潮社，2007年）ISBN:978-4-10-610205-9 700円+税 大治朋子『アメリカ・メディア・ウォーズ』（講談社現代新書，2013年） ISBN:978-4-06-288227-9 780円+税 辻田真佐憲『大本営発表 改竄・隠蔽・捏造の太平洋戦争』（幻冬舎新書，2016年） ISBN:978-4-344-98425-7 860円+税</p>
履修上のポイント	<p>新聞論調を論ずる前に，歴史・時代の流れを把握すること。商品としての新聞の特性・限界とジャーナリズムの使命の関係を意識すること。 基本教材・参考図書としてあげないが，ネット上の情報をもおおいに活用すること。</p>
レポート課題 1	<p>基本教材のうち，もっとも印象的だった章について，その概要を紹介し，かつ取り上げた理由を叙述せよ。（3,000字程度） 留意点：過去の新聞を現在の時点から断罪するのではなく，かつ「やむをえなかった」などと諦めることなく，あくまでも現在・将来に通用するジャーナリズム・新聞像及びその役割を求めること。</p>
レポート課題 2	<p>基本教材が示す事象を教訓として，現代における理想のメディア像・新聞像・雑誌像を明示せよ。（3,000字程度） 留意点：情報のすべてが商品である今日，発信源の経営が成立しなくては，情報を供給できなくなる。情報の質・精度を高めることと収益性を高めることは，ときに矛盾・相克が生じることを意識すること。かつ，活字媒体の場合，それらが生き残る方途をも考察すること。また，IT化の進展，SNSの普及によるメディア・情報の変質，フェイクニュースの特性とその影響を考察すること。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名：青木保 教材名：『「日本文化論」の変容』（中央公論新社，1999年） ISBN:978-4-12-203399-3 590円+税</p> <p>戦後の日本人論・日本文化論の展開と軌跡をたどり，経済的発展と日本人の自画像を描く営みの関係を考察する。日本人の対外認識，外国人による日本・日本人論に潜む偏見とそれらが生じる原因を考察する。</p>
参考図書	<p>文春ムック『文藝春秋オピニオン 2019年の論点100』（文藝春秋，2019年） ISBN:978-4-16-008683-8 1,500円+税 文春ムック『文藝春秋オピニオン 2018年の論点100』（文藝春秋，2018年） ISBN:978-4-16-008658-6 1,500円+税 小池和男『日本産業社会の「神話」』（日本経済新聞出版社，2009年） ISBN:978-4-532-31435-4 1,800円+税 竹内洋『革新幻想の戦後史』（中央公論新社，2011年）ISBN:978-4-12-004300-0 2,800円+税 近藤大博『月刊総合雑誌拾い読み(2011-2015)』（未来へのメッセージ舎，2016年）Kindle版 https://www.amazon.co.jp/ 533円</p>
履修上のポイント	<p>日本人による日本論，外国人(たとえばアメリカ人)による日本論の相違が生じる理由・背景を把握するよう努めること。また，日本人による外国論(たとえばアメリカ論や中国論)と外国人(たとえばアメリカ人や中国人)による日本論の相違が生じる理由・背景を把握するよう努めること。 上の営為は，国際関係を考究するさいに，肝要な，客観的な自国分析・他国把握を可能にする。</p>
レポート課題 1	<p>基本教材の4つの区分のうち，一つの時期を取り上げ，その特徴を論述せよ。（3,000字程度） 留意点：その時期が，現在の論調や日本・日本人の自己認識(自画像)といかなる関連・関係があるかを考察すること。</p>
レポート課題 2	<p>基本教材の問題提起を踏まえ，新聞・雑誌・テレビ・SNSなどでの，現在の日本人による外国に関する報道・評論を，または外国人による日本に関する報道・評論を，批判的に考察・論述せよ。（3,000字程度） 留意点：対象としやすいのは，雑誌論文である。 各自の研究に資するような題材にすること。</p>

科目名	現代中国政治論特講	担当者	ヤマモト 山本 タダシ 忠士	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	-------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	本講座は、現代中国政治の習得（一般目標 GIO）により、以下の能力を身につけることを目的とする。		
到達目標	<p>〔一般目標 (GIO)〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界諸国の歴史や政治、経済、文化、価値観、信条などの現状及び相互関係を総合的に理解し、国際社会が直面している問題の解決策を提案することができる。(A-2:4) 2. 仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報に基づく論理的、批判的な考察を通じて、課題に対して具体的な見解を示すとともに、その限界を認識することができる。(A-3:4) 3. 学習状況の自己分析に基づく評価を、今後の学に生かすことができる。(A-8:4) <p>〔行動目標 (SBOs)〕</p> <p>基本教材および参考図書等を参照し、以下の目標を達成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 中華人民共和国憲法と法体系や中国共産党の一元支配体制の実際を深く知るために、相互関係を説明できる。 2) 中国の近現代史の指導者の施政を比較（毛沢東・鄧小平・習近平）し、それぞれの時代の国民世論の形成に果たした役割を分析する。 3) 日中関係の将来を考察するために、研究会、テレビ、旅行等で現地事情を吸収する。 <p>〔学修時間〕</p> <p>一つのレポート作成に際し基本教材および参考文献等の読み込み等、準備学習時間は 45 時間以上／レポート 1 本を目安とする。(1 科目=45 時間×レポート 4 本=180 時間)</p>		
学修方法	<p>【アクティブラーニングの有無・学習媒体等】</p> <p>Manaba folio（レポート提出システム）を活用する。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>レポート作成に際しては、テキストや参考図書等を参照するとともに、図書館等で中国関係の論文、新聞、雑誌等を検索し論点を整理し、担当教員と質疑・討論し作成する。</p>		
スケジュール	<p>レポートは、まず草案を提出し、その後に最終レポートを提出する 2 段階方式とする。</p> <p>*前期（教材 1）：課題レポート（1）の草稿提出は 7 月末日、課題レポート（2）の草稿は 8 月末日を目途に提出する。課題（1）、課題（2）の最終稿は、9 月 19 日までに提出する。</p> <p>*後期（教材 2）：課題レポート（1）の草稿は 11 月中旬、課題（2）は 12 月中旬までに提出する。最終稿は 2020 年 1 月 14 日までに提出する。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80 %	1. レポートとしての形式が整って、読みやすいこと。 2. レポート内容が論理的で説得力があるかどうか。 3. 考え方に独自性があるかどうか。
	平常評価	20%	平常時のメール等でのやり取りの内容を評価。
履修者への要望	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通信制大学院は、相互の顔が見えないところがあるので、受講生の確定した時点で、コミュニケーション方法について相談する。 2. 個別的に地方から上京された折でも、連絡があれば、懇親の機会を設けたい。 		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 浅野亮、川井悟著 教材名： 『近現代中国政治史』（ミネルヴァ書房 2012年） ISBN978-4-623-06100-6 3,800円＋税
	中国は不確実性を抱えながら「台頭」を続けている。本教材は近現代政治史という表題に見られるように、清末、中華民国、中華人民共和国という流れの中で中国の政治的な動きについて、時系列と事項別の二本だてでまとめられている。時系列的には1830～1939年の清朝末期から民国期までの政治体制、1931～45年までの抗日戦争期、1945～81年までの建国から改革開放まで、1982～2010年までの建国60周年までと4期にわけられている。事項別では政治、経済、社会を中心に、交通・通信制度の形成、国家アイデンティティと国民国家形成、現代中国の政治・社会変動、党・政・軍の三位一体の統治構造等について整理されている。
参考図書	加々美光行編 『中国内外政治と相互依存』（日本評論社 2008年）ISBN978-4-535-04841-6 4,200円＋税
履修上のポイント	新中国建国の揺籃期における毛沢東時代の政治プロセスさらに毛沢東時代と一線を画した鄧小平の改革開放の政治プロセス、江沢民以降の政治プロセス等、国家・党・軍隊という三位一体となった中国統治システムの特徴を把握すること。
レポート課題 1	リポート課題（1）：「毛沢東と鄧小平の政治プロセスの特徴について論述せよ」 留意点 ：毛沢東型社会主義一大躍進、文化大革命の意図と結果。鄧小平と改革開放政策とその後の中国の脱社会主義から資本主義への道。特に両者のリーダーシップ、目指す方向の相違点、同一点について留意する。
レポート課題 2	リポート課題（2） 「中国政治制度の中の共産党について」 留意点 ：党の指導性、党の機構と構成メンバー、党の政策決定メカニズム、党と国家の関係に留意。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： ① 川島博之著『データで読み解く—中国の未来』（東洋経済新報社、2015年） 教材名： ISBN ISBN978-4-492-44418-4、2,000円＋税
	21世紀の中国は、急速な経済成長によって政治的にも経済的にも大国となっているが、他方でその内部に抱える矛盾の大きさから、一部では近い将来の「崩壊」の危険すら観測されている。現在の中国が過去の歴史に深く規定されている以上、20世紀中国の歴史に対する洞察を深めることは、現在と将来の中国に対する理解と見通しを持つうえで不可欠の作業である。本教材は、米国政府の中国政策に深くかかわってきた著者の経験をもとに記述されており、その問題意識は中国理解を深める意味で示唆に富んでいる。日本と中国の関係は、経済的にも密接不可分な関係であり、中国の将来をどのように予測するかは日本の将来を左右するほどに大きな課題である。本テキストを参照し、自分なりの中国の未来予測に挑戦してほしいと思う。
参考図書	① マイケル・ピルズベリー著、野中香方子訳『China2049』（日経BP社 2015年） ISBN978-4-8222-5104-8、2,000円＋税 ② 川島真著『21世紀の「中華」 - 習近平中国と東アジア』（中央公論新社、2016年） ISBN978-4-12-004906-4、2,000円＋税
履修上のポイント	この100年の間に中国社会の矛盾・不平等克服のためにどのような取り組みがあったのか。教育大衆化の夢、学歴社会の誕生、改革開放政策は中国の格差を克服にどのような影響を与えたのか。データに基づき、中国脅威論は本当か、と疑問を投げかける。
レポート課題 1	レポート課題（1）：「中国は都市戸籍と農村戸籍の問題を解消できるか」 留意点 ：教材にある三つのシナリオを参照し、自分なりの未来予測をまとめる。
レポート課題 2	レポート課題（2）：「民主化は進むか—中国の民主的選挙の可能性」 留意点 ：これまでの中国の政治的発展を参考にして、自分なりの未来予測をする。

科目名	日中比較社会論特講	担当者	タカツナ 高綱	ヒロフミ 博文	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	------------	------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講義では、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ—豊かな知識・教養に基づく高い倫理観・世界の現状を理解し、説明する力」、 「自ら考える—論理的・批判的思考力、問題発見・解決能力」及び「自ら道をひらく—挑戦力、コミュニケーション力、リーダーシップ・協力力、省察力」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成することを目的とする。</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:4, A-4:4, A-6:4, A-7:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標（GIO）】 本講義は、近代上海における日本人の活動と意識を分析対象として取り上げ、日中関係史を歴史的に理解し、歴史学による実証的且つ批判的な研究方法論を学修する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 日中関係の歴史について現代的な視点から考察し、日中関係の新たな未来を創造することのできる人材を育成する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 現代中国や上海に関する映像などを多く視聴し、今後の日本が中国といかに向き合うかについて考える。 準備学修時間：6時間</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 高綱ゼミ及び日本上海史研究会（代表：高綱）への参加を促し、中国に関係するさまざまなの方々との討論の機会を設ける。</p> <p>【学修方略（LS）】 基本的に教材による講義及びレポートの作成指導による。</p>		
スケジュール	<p>前期：基本教材『「国際都市」上海のなかの日本人』序章から第4章を学修し、前期レポート課題については9月の提出期日までに提出する。</p> <p>後期：基本教材『「国際都市」上海のなかの日本人』第5章から終章を学修し、後期レポート課題については1月の提出期日までに提出する。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	100%	教材理解度 20%，論旨の一貫性 20%，要約力 20%，表現力 20%，解釈の妥当性 20%
	平常評価		
履修者への要望	<p>本講義は、近代上海における日本人の「帝国意識」とその行動を歴史学的に検証するものであるが、レポートを作成する際には論文を作成するトレーニングであるとの自覚に基づき社会科学の方法論を積極的に修得しようとする熱意を持つことを要望する。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 高綱博文 教材名： 『「国際都市」上海のなかの日本人』（研文出版，2009年） ISBN:978-4-87-636297-4 6,500円+税
	本書の前半は、序章・第1章 上海日本人居留民社会，第2章 上海「在華紡」争議，第3章 上海事変と上海日本人居留民，第4章 日中戦争期の上海租界問題から構成されている。
参考図書	榎本泰子『上海』（中公新書，2009年） ISBN:978-4-12-102030-7 800円+税
履修上のポイント	本書は、上海日本人居留民社会の初期から終焉に至る時期を考察の対象としている。特に日清戦争から第二次上海事変までの社会形成・発展期に確立した社会階層及び社会組織を具体的に解明し、それを基礎として上海日本人居留民の活動及び意識を検証したところに方法論的な特徴がある。これにより上海の日本人居留民社会が他の外国人コミュニティと比較して閉鎖的・排外的な特性を帯びた要因を析出し、「国際都市」上海における日本人コミュニティの位置付けが歴史的に解明されている。
レポート課題 1	近代上海における日本人居留民社会の形成と特徴について論述しなさい。 留意点: 本書(教材)の序章及び第1章を学習して、近代上海の歴史的性格を明確にした上で、上海日本人居留民社会のあり方を検証すること。
レポート課題 2	海日本人居留民の「帝国意識」に基づく中国民衆に対する行動について論述しなさい。 留意点: 本書(教材)の第2章及び第3章を学習して、上海日本人居留民の行動を具体的に検証すること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 高綱博文 教材名： 『「国際都市」上海のなかの日本人』（研文出版，2009年） ISBN:978-4-87-636297-4 6,500円+税
	本書の後半は、第5章 上海内山書店及び補論・第6章 上海日本人居留民の歴史意識の生成・第7章 最後の上海日本人居留民社会・第8章 上海日本人引揚者のノスタルジー・終章から構成されている。
参考図書	榎本泰子『上海』（中公新書，2009年） ISBN:978-4-12-102030-7 800円+税
履修上のポイント	本書は、上海日本人居留民社会の初期から終焉に至る時期を考察の対象としている。特に日清戦争から第二次上海事変までの社会形成・発展期に確立した社会階層及び社会組織を具体的に解明し、それを基礎として上海日本人居留民の活動及び意識を検証したところに方法論的な特徴がある。これにより上海の日本人居留民社会が他の外国人コミュニティと比較して閉鎖的・排外的な特性を帯びた要因を析出し、「国際都市」上海における日本人コミュニティの位置付けが歴史的に解明されている。
レポート課題 1	上海内山書店が日中文化交流に重要な役割を果たし、その書店経営が成功した理由について考察しなさい。留意点: 第5章及び補論を学習し、上海日本人居留民社会における内山書店の特異性を明確にし、その内山完造の中国体験を検証すること。
レポート課題 2	敗戦後における上海日本人引揚者たちの意識のあり方について考察しなさい。留意点: 第6章、第7章及び第8章を学習して、上海日本人引揚者の「歴史意識」・「帝国意識」・戦争責任認識などについて検証すること。

科目名	環境生態論特講	担当者	ムライ 村井 ヒデノリ 英紀	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>気候変動（地球温暖化）による異常気象は世界中で多発しており、人的・経済的な被害規模から影響が評価されていますが、人・生物が成立する基盤環境（生態系）への影響の評価手法は確立されていません。生態系は、気象（日照、降雨等）と地形・地被（植生）など複雑な基盤条件（地球環境）の上に存立したもので、個別要素の計測は可能ですが、人の環境としての評価はできません。一般に、幾つかの生物種群では、環境条件の変化への反応（影響）が人よりも早く発現することが知られていますから、これを、気候変動による生態系の影響として評価（指標化）できる可能性があります。これは、持続可能な開発目標SDGsの生態・環境分野（目標14, 15）における重要な評価軸の一つとなるでしょう。</p> <p>本論では、国内外の先行研究を収集して現状を理解して課題の基礎資料とし（A-2:3）、生態系の変化を計測可能な生物分類群候補として抽出します（A-3:4）。次いで、それらの影響事例を類型化し（A-4:3）、生態的な環境の指標として適性の高い種群を評価して指標とします（A-4:4）。また、地球温暖化についても、シナリオ（IPCC等）を準用し（A-5:4）、抽出指標への当てはめ、その反応の敏感性等から指標の妥当性（利点、問題点等）を検討し、今後の学修に生かすことを目的としています（A-8:4）。</p>			
到達目標	<p>【一般目標（G10）】</p> <p>先行事例の収集は、環境の変化との影響関係が指摘している生物種群に関するものです。温暖化に伴って環境が変化する可能性を基本的な概念として把握し、環境を生態的な質から理解するものです。</p> <p>講義後半では、抽出した生物分類群が成立する場（国内外）について、その温暖化データ（気温等）を収集し、温暖化トレンド（温暖化シナリオ、IPCC）を当てはめて将来の温暖化程度を想定します。それと抽出種群の影響程度を想起・検討することで、温暖化の新しい評価軸としての適性（利点、問題点等）を検討します。</p> <p>【行動目標（SB0s）】</p> <p>① 知識・想起・問題解決：収集データに基づいて、生物分類群と影響内容との関係を類別し、抽出生物分類群の適性を列挙・検討する。また、影響の正の寄与面だけでなく、批判的な側面・問題点等についても指摘し、課題解決能力と豊かな知識に基づいた倫理感を高める。</p> <p>② 技能：収集データを測定・類型化する能力と、抽出生物種群への影響との関係性を考量・解析する能力を養う。</p> <p>③ 態度：データ解析にあたっては、解析前にデータの過不足や解析手法の選択について教員らと協調して事前の検討・議論に配慮する。</p>			
学修方略	<p>① 基本教材および参考図書の熟読（自習）</p> <p>② 課題に沿った事例やデータの収集（自主研究）</p> <p>③ 解析方法の検討（自主研究、ディベート）</p> <p>④ リポート作成（ディベート、リポート）</p> <p>⑤ Manaba folioでのレポート作成方針やデータ解析について論議（ディベート）</p> <p>【学修時間】リポート1本あたり、上記方法を45時間以上実施する。</p>			
スケジュール	<p>【研究実行計画案】</p> <p>実行素案を速やかにmanabaに登録し、内容、方向性について（自習）、意見交換（ディベート）して実施計画を詰めます。また、草稿としてまとめる前にストーリー構築を検討する。</p> <p>【前期】教材1リポート課題(1)：7月末に草稿提出、課題(2)；8月末に草稿提出。複数回の議論（ディベート）と修正を経て、9月19日までに最終稿の提出。</p> <p>【後期】教材2リポート課題(1)：11月中旬に草稿提出、課題(2)：12月中旬に草稿提出。数回の議論（ディベート）と修正を経て、1月14日までに最終稿を提出。</p>			
成績評価	評価観点(配点)	評価尺度（基礎）	評価尺度（解釈）	評価尺度（応用）
	既往研究収集（20%）	適正な事例収集	事例の基礎的解釈	適正な類型化
	課題の解釈（30%）	課題の基本概念把握	解釈の妥当性	全体への応用性
	レポート展開（30%）	課題内容の反映	事例の適切な展開	他課題との適正な関係性
	観察記録（20%）	<p>先行研究を基礎として各課題の解決に向け、自分の考え・想起や解釈の妥当性、適正なストーリー展開による問題解決能力を重視する。</p> <p>レポートでは、課題全体の流れ・概念を示し、ストーリーに沿った適切な図表等を作成・挿入して説明力のある課題解決としているか。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： R. カールソン 教材名： 『沈黙の春』 （新潮社，2004年）ISBN:978-4-10-207401-5 710円+税
	農薬・化学物質は人への毒性が強く、その影響は最初に鳥に発現しやすい。本書は、化学物質の環境への放出・浸透と生物濃縮の観点から、環境を共有する人にも大きな影響を及ぼすと警鐘を鳴らしたマイルストーンで、環境を生態的な観点から評価する最初の書である。
参考図書	①R. ブラウン，『ブランB 4.0』 （ワールドウォッチジャパン，2010年）ISBN:978-4948754362 2500+税 ②持続的な開発目標 SDGs （環境省ほか website からダウンロード）
履修上のポイント	(1)環境が生物に影響する事例を収集する（自習，ディベート）． (2)持続可能な開発目標を踏まえ、環境を生態的な側面から評価する手法の重要性を検討する（自主研究，ディベート）． (3)人の生活環境を生態的な側面から評価することの意義と、その課題等を検討・提示する（ディベート，レポート作成）．
レポート課題 1	教材だけではなく、化学物質等の放出、蓄積（生物濃縮）に伴う生態への影響事例を収集する。環境の生態的な評価軸（可視化）となりうる生物分類群を抽出し、両者の関係を類型化し、抽出種群として評価（利点・問題点）し、3000字程度にまとめる 【留意点】 教材1のほか、化学物質等による環境への影響事例のうちから生態系に関するものを抽出し、影響の程度・内容を類型化する。また、課題2に至るストーリーに留意する。本論全体を適正に構成するのにかつて、十分な議論・検討ディベートが必要である。
レポート課題 2	人の生活環境との関連性（SDGsの生態系目標13-15）を基本として、環境を生態的な側面から把握する意義・妥当性を整理し、利点・問題点等を踏まえた新しい評価手法案として3000字程度にまとめる。 【留意点】 既往研究，web等の議論に基づいてまとめる。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： A. ゴア 教材名： 『不都合な真実』 （ランダムハウス講談社，2007） ISBN987-4-270-00226-1 1200円+税
	現象としての地球温暖化は事実であり、その主因は人間活動による温室ガスの排出であることは疑いの余地がなくなった。このまま温室ガスの排出を低減（化石燃料の利制限）できなければ、人の生活環境への深刻な影響もたらされる。
参考図書	①A. ゴア『不都合な真実2』 （実業之日本社，ISBN 978-4408420790 3024円+税） ②岩槻邦雄，堂本睦子編『温暖化と生物多様性』 （築地書館，2008年）ISBN:978-4806713678 2600円+税 ③環境省 web 等から IPCC 報告や温暖化に関連するデータを収集・整理する。
履修上のポイント	(1)前課題を踏まえ、地球温暖化を反映する生態的な評価軸を抽出する（自習，自主研究）． (2)温暖化傾向（IPCCシナリオ）をまとめ、温暖化防止策を整理する（自習，自主研究）． (3)温暖化傾向から抽出生物種群への影響を予想し、人の環境への影響可能性を評価する（自主研究，ディベート） (4)本手法が、持続可能な開発 SDGs（生態系分野）において適性の高い評価軸であることを検討・提示する（ディベート，レポート作成）．
レポート課題 1	地球温暖化についての最新の観測データ，シナリオ・対策と推移を整理する。IPCCシナリオに基づいて、温暖化の程度を概略想定し、生物への影響可能性の基礎想定を議論し、3000-4000字にまとめる。
レポート課題 2	以上を総合し、生物種群による環境の生態的な評価が、人の生活環境の質の評価に適正が高いことと、それが生態系の現状だけでなく影響の変化を可視化する重要な指標であることとまとめる。 また、世界的な気候変動への取組み（IPCC，持続可能な開発目標 SDGs）における評価とも関係することを4000字程度でまとめる。なお、本文中に、ストーリー（全体構成）がわかるような概念フロー図や、説明に必要と考えられる適正な説明図表を作成する。

科目名	市民社会論特講	担当者	イケガミ キョコ 池上 清子	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、異質性や多様性の尊重に基づく他者との連帯を活動原理とする NPO、NGO を知り、社会の中でその活動がもつ意味を考える能力を身に付ける。</p> <p>I. 経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。【A-1:4】</p> <p>II. 想像力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力あるいは他者と協働して問題を解決することができる。【A-4:4】</p> <p>III. さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて他者との信頼関係を確立し、ときに強い影響を与えることができる。【A-6:4】</p> <p>IV. 集団の活動において、より良い成果を上げるために、他者と協働し、作業を行うとともに、指導者として他者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。【A-7:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>市民社会が組織する団体を、社会の多様なステークホルダー (団体、個人など) として理解する。さらに、市民社会の役割を概観することを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>I. 社会の変革 (transforming the world) の概念を理解する。(知識・想起)</p> <p>II. 市民社会を形作ってきた欧米の歴史的経験、国内の福祉サービスなどにおける新しい試み、日本の高齢者介護などの国内を活動基盤とする NPO。一方で、政府と非政府機関 (NGO) の区分の下、国際協力に携わる国際協力 NGO。NPO と NGO の分類を実施する。(知識・技能)</p> <p>III. アソシエーションの概念を把握したうえで、新しい社会を創り出すファクターやステークホルダーの役割や課題に配慮する。(態度・反応)</p>		
学修方略 (方法) 【LS】と 学修時間	<p>① (自習) 基本教材や参考文献などを熟読する。情報検索方法や自分の考えを構築することを含めて自律的な研究遂行能力を習得し、さらに、変化する社会環境や多様な価値観を読み解き、正当な批判と評価を行う理解を深め、判断力を養う。先行研究リストの中から、少なくとも 1-2 論文を読むこと。【SBO i. & ii.】【20 時間/レポート 1 本】</p> <p>② (自主研究) レポート課題に沿った事例及びデータを収集し分析する。【SBO ii.】【10 時間/レポート 1 本】</p> <p>③ (レポート作成) レポートの草案を作成する。【SBO ii. & iii.】【5 時間/レポート 1 本】</p> <p>④ (ディベート) manaba folio での掲示板機能を利用した受講生同士のディスカッション、あるいは複数回にわたって行われるレポート添削での教員と受講生とのディスカッションによりレポートの最終版を完成させる。【SBO ii. & iii】【10 時間/レポート 1 本】</p>		
スケジュール	<p>提出期限は前期が 9 月 19 日、後期が 1 月 14 日であることに注意する。</p> <p>前期：教材 1 のレポート課題 (1) の草稿は 6 月末、課題 (2) は 7 月末を目処に提出する。取り上げる題材については、草稿としてまとめる前に、メール等で相談することが望ましい。</p> <p>後期：教材 2 のレポート課題 (1) の草稿は 11 月中旬、課題 (2) は 12 月中旬を目処に提出する。取り上げる題材については、草稿としてまとめる前に、メール等で相談することが望ましい</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	<p>以下の点を評価基準とする。</p> <p>課題に沿った論理構築がなされているか。課題に関係する重要な論点をおさえているか。結論が明確であるか。結論にいたるまでの理由が必要かつ十分であるか。</p> <p>3,000~4,000 字という短い字数で、自分の意見をまとめられているか。参考文献、先行研究などの情報検索が十分かどうか。</p> <p>脚注などレポート作成に必要な情報が正確に含まれているか。</p>
	観察記録	20%	<p>manaba を通して行われるコメントに関する修正割合。毎回修正部分を赤字にして提出しているかどうかを含む。これらに加えて、レポート提出状況 (期限の順守など) を考慮する。</p>
履修者への要望	<p>成績の評価基準にも記したように、論理的であることと自分の意見をまとめることを主眼としているので、どんな小さな点でも構わないので、自分の考えや気づきを大切にして、レポートを書いていただきたい一般的な予習内容としては、on-going なトピックを追いかける研究であるため、新しい情報を常に入手することが重要となる。関連する Website や新聞記事などの分析は欠かせない。具体的には、教材や参考図書を読み込むこと、それらを吸収したうえで、レポートの課題に対する自分の考え方をまとめる。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 宇野重規編 教材名： 『民主主義と市民社会』 (岩波書店、2016年) ISBN: 978-4-0002-7035-9 5,184円。
	「民主主義」を自らのものとするために、敗戦から高度経済成長、ポスト冷戦からネット社会までを概観し、社会の変容のなかで形成された、戦後日本の市民像と社会像を分析する。
参考図書	本郷秀和・荒木剛・松岡佐智・袖井智子『介護系NPOの現状と制度外サービス展開に向けた課題』 福岡県立大学人間社会学部紀要 2011, Vol. 19, No. 2, 1-18 (ネット上で公開されている)
履修上のポイント	以下の点に留意して、レポートをまとめること。 1. 第一段階として、日本国内のNPOについて概観する。 2. 歴史的な変遷を把握する。社会的背景を分析する。 3. どのように社会に役立っているのか、または、役にたっていないのかを明確に判断する。 4. 今後の日本国内のNPOの課題について考える。
レポート課題 1	戦後の日本の市民社会の形成過程について歴史的変遷を含めて、3000-4000字でまとめる。 留意点： 時間があれば、英国の事例は参考になる。
レポート課題 2	日本のNPO(特に福祉・介護分野)の設立の背景と意義、課題について考察し、3000-4000字でまとめる。 留意点： NPO全体の統計的なデータも含むと分かりやすい。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： JANIC 教材名： 『NGO データブック 2016』2016 (JANICのホームページに掲載されている)
	NGOの活動を紹介した「国際協力NGOガイド」の最新版。 持続可能な開発目標(SDGs)をテーマにNGO 54団体を掲載し、具体的な活動を紹介している。
参考図書	内海成治編『新版 国際協力を学ぶ人のために』 (世界思想社、2016年) ISBN:978-4-7907-1674-7 2,800円+税
履修上のポイント	以下の点に留意してレポートをまとめる。 1. 国際協力NGOの定義 2. 実際にどの国への支援活動が多いのか、日本の支援を獲得するために、どのような活動をしているのかなど、具体的な活動内容を知る 3. 世界的な開発枠組みである持続可能な開発目標(SDGs)との整合性をどのように進めようとしているのか。
レポート課題 1	日本の国際協力NGOを概観し、抱える課題について、3000-4000字でまとめる。 留意点： 国際協力NGO全体の統計的なデータを含むこと。課題は共通した点を指摘すること。
レポート課題 2	身近で知っている国際協力NGOを一つ取り上げ、活動を評価する(3000-4000字でまとめる)。 留意点： 身近にない場合には、NGOデータブックで紹介されている中から選択して、HPなどで情報を収集すること。

科目名	国際経済政策論特講	担当者	マエノ 前野 タカアキ 高章	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	-------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	近年の世界経済では、グローバルな貿易自由化が進められると同時に、地域統合への活発な動きも見せている。1990年代以降、企業や産業のグローバルな経済活動に伴い部品・コンポーネントなどの中間財の貿易が拡大し、グローバル・バリュー・チェーン（GVCs）が広域に発展してきている。そのような国際分業をより円滑に進めるために経済政策の果たすべき役割が近年特に重要となっている。本講座は、国際分業構造の変化、企業の海外進出、地域経済の発展などの関連性に着目し、理論と実証の両面から国際経済政策を分析することを目的とする。		
到達目標	<p>【一般目標（GIO）】</p> <p>最新理論、通商政策の論点、実証分析手法を理解し、仮説の提起・検証のプロセスを熟知することを到達目標とする。グローバル化での経済政策（特に、通商政策）が各国経済と地域経済に与える影響を把握するために、国際経済と経済政策の理論的考察の知識を習得し、国際経済政策問題の理論的アプローチの変遷を理解する。</p> <p>【行動目標（SB0s）】</p> <p>ミクロ経済の基礎理論と国際貿易理論を応用することができる。 生産活動のグローバル化と国際分業構造の変化を説明することができる。 通商政策と地域経済発展の関連性について把握することができる。 国際経済政策と地域経済統合との関わりについて分析することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>準備学修項目：経済学の基礎理論を学習する。 準備学修時間：12時間 準備学修項目：経済政策と企業の海外進出に関する基礎理論と基本課題を学習する。 準備学修時間：12時間 準備学修項目：伝統的貿易理論、新貿易理論と新々貿易理論を学習する。 準備学修時間：36時間</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>基礎理論の指導や質疑応答はオンラインでのインタラクティブな指導を行う。</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>基本教材リーディング、研究文献サーベイとレポート作成を基本的な学修方法とするが、個別指導には対面指導とソーシャルメディアを利用するオンラインで行う。</p>		
スケジュール	レポート提出には前期・後期ごとに期限が設けられており、提出期日はmanaba_folioならびに学事暦記載のとおり。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	課題レポートの内容を正しく理解しているかどうか、教材や参考図書を理解し、自分の意見でまとめられているかどうかを基準とする。
	平常評価	20%	レポートの事前準備や質疑応答などといったレポート作成のプロセスを基準とする。
履修者への要望	基本教材を理解したうえで、その他の関連文献などから国際経済政策に関する知識を修得することを心がけてください。また、レポート作成に関しては添削や質疑応答に関する十分な時間を確保するようにしてください。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 若杉隆平 教材名： 『国際経済学(第3版)』(岩波書店, 2009年) ISBN: 9784000266994 2,900円+税
	この教材は、まず国際経済に関するデータの把握から入り、国際経済学の基礎理論を概説し、そのうえで不完全競争下での新貿易理論を網羅して、完全競争下の貿易政策や不完全競争下の貿易政策を解説している。さらに、企業の異質性を国際貿易理論に取り込んだ「新々貿易理論」を紹介し、それをベースに海外直接投資やアウトソーシングなどといった国際貿易を分析する新たな視点を取りあげている。この教材は、理論的アプローチを踏まえて望ましい国際経済政策の在り方を考察するための基本教材として位置づけられる。
参考図書	木村福成『国際経済学入門』(日本評論社, 2000年) ISBN: 978-4535551282 3,200円+税 富浦英一『アウトソーシングの国際経済学』(日本評論社, 2014年) ISBN: 978-4535556911 3,200円+税 清田耕三・神事直人『実証から学ぶ国際経済』(有斐閣, 2017年) ISBN: 978-4641165175 2,800円+税
履修上のポイント	教材および参考図書を熟読し、国際貿易の基本理論の理解を心がけてください。具体的には、伝統的貿易理論のリカード・モデル、新古典派のヘクシャー＝オリーン・モデル、そして、新貿易理論や新々貿易理論までの国際貿易理論の基本的考え方について把握するようにしてください。
レポート課題 1	現在の国際貿易はどのようなパターンで行われているのか、貿易を行う国が国際分業を通じてどのようなメリットを得たのかについて論じなさい。 留意点: 上記の履修ポイントを押さえて、国際貿易の基礎的な理論の展開を踏まえ論理的にまとめるようにしてください。
レポート課題 2	自由貿易の推進は一国の経済成長にどのようなインパクトを与えるかを論じなさい。 留意点: 通商政策の理論、保護貿易の論拠を踏まえて、主体的な意見ではなく、具体例をあげながら論理的に結果を導くようにまとめてください。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 馬田啓一・木村福成編著 教材名： 『通商戦略の論点－世界貿易の潮流を読む－』(文真堂, 2014年) ISBN: 9784830948220 2,600円+税
	この教材は、世界貿易と日本の通商戦略における諸問題を論点に取り上げ、その現状や問題点、課題についてまとめている。主な論点は、アジア太平洋の新たな通商秩序の構築に向けた日本の対応、日本が目指す通商立国のための条件、次世代型の通商政策における課題、といった三つの論点をまとめてあり、国際経済政策の現状と課題、将来的な在り方について考察するための基本教材として位置づけられる。
参考図書	馬田啓一, 木村福成編著『国際経済の論点』(文真堂, 2012年) ISBN: 978-4830947711 2,800円+税 渡邊頼純『GATT・WTO体制と日本－国際貿易の政治的構造』(北樹出版, 2012年) ISBN: 978-4779303371 2,500円+税 長谷川聰哲編『アジア太平洋地域のメガ市場統合』(中央大学出版部, 2017年) ISBN: 978-4805722633 2,600円+税
履修上のポイント	教材および参考図書を熟読し、日本の通商政策への取り組みと、通商政策における現在の課題や将来的な方向性について理解することを心がけてください。
レポート課題 1	通商政策の論点がWTOからメガFTAへと転換してきた背景についてまとめ、日本が新たな通商立国の道を目指すための条件について論じなさい。 留意点: WTO体制の機能の限界と変化について考え、なぜメガFTAという方向に向かっているかを日本の視点からまとめてください。
レポート課題 2	地域経済統合に向けた流れを踏まえ、日本が直面する次世代型の通商課題について論じなさい。 留意点: 資源・エネルギー問題や環境問題などといった具体例をあげ、通商政策における将来的な論点をまとめてください。

科目名	近代日本社会変動論特講	担当者	コミネ 小峰 カズオ 和夫	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>当科目の目的は、日本の社会が今いかなる歴史的発展の途上にあるのか、これから我われが進むべき道、あるいは選択しうる道はどのようなものなのかといったテーマに関して、社会経済史的な視野から総括的に学習し、現代社会の動向を的確にとらえることのできる知的基盤を養うことである。学習を通じて社会科学の視野を身につけることができるはずである。 [A-4-1]</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 総合的な歴史的見地に立った社会科学の世界にふれることにより、混沌として見えにくい現代日本社会の仕組みと動きをとらえる視座と方法を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 学習の決め手は読書力と文章表現力の養成である。読書力の向上は、何よりもまず教材の内容を的確に理解し、その内容を整理して説明し、問題点を指摘することにより図られる。その読書力=理解力の程度をしめすのが文章表現力であり、レポート=報告作成には不可欠の技能である。この二つの知的スキルを養い、知識・解釈のレベルを向上させる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 教材の読解、レポートのためのメモ作成、参考図書等の利用、レポート草稿の作成と提出、添削結果への対応修正、レポート最終提出。準備学修時間は1課題につき45時間が目安。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【当科目の学修方略はレポート作成】</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 manaba あるいは e-mail を媒体としての担当教員との双方向的学習が中心となる。</p> <p>【学修方略 (LS)】 ①教材をよく読み込み、意欲的に新たな知見を獲得し、著者の主張を的確につかむ努力をする。それにより他者の意見を理解する能力を高める。(準備学修時間 13 時間) ②教材以外の文献等からも情報・知見を得るようにする。(準備学修時間 5 時間) ③レポートの内容、構成、論点を整理する。(準備学修時間 7 時間) ④レポートを執筆する。(準備学修時間 13 時間) ⑤草稿を提出し、添削結果に従って内容を修正改善し、期限に間に合うよう最終稿を仕上げていくようにする。(準備学修時間 7 時間) ⑥以上レポート 1 課題につき 45 時間が準備学修時間の目安。</p>		
スケジュール	<p>①草稿の提出：前期は7月末までに、後期は11月末までに、それぞれ最低1回は草稿を提出し、教員からの添削を受ける。</p> <p>②草稿の手直し：前期は8月末、後期は12月末までを目途に、添削結果に対応した改善を草稿に加える。</p> <p>③最終稿の提出期限は、前期が9月19日、後期は1月14日である。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	100%	教材の理解度、レポートの構成、文章力と語彙力、参考文献等の利用具合、論旨の明快度、添削への対応状況等をみる。
履修者への要望	<p>学習は自分を磨くためにおこなうものと心得、骨身を惜しむことなくできるだけ真摯に取り組むようにしてほしい。とくに指定の教材に関しては、これをきちんと読み込み、課題に適切に対応したレポートを作成するよう努力してほしい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名 見田宗介 教材名 『現代社会はどこに向かうか』（岩波書店, 2018年）760円+税
	近代社会,あるいは資本主義社会はいま深刻な行き詰まりをみせている。将来に向けての明るい展望や期待が失われている。人間の社会は歴史上のどのような地点に達しているのか。そしてどこに向かおうとしているのか。人々,とりわけ若い世代は何を望んでいるのか。教材はこうした現代的・世界的テーマに正面から取り組んでいる。 ○現代社会はどこに向かうか ○脱高度成長期の精神変容 ○ヨーロッパとアメリカの青年の変化 ○ダニエルの問いの円環 ○生きるリアリティの解体と再生 ○ロジスティック曲線について ○高原の見晴らしを切り開くこと ○世界を変える二つの方法
参考図書	佐伯啓思『貨幣と欲望』（筑摩書房, 2013年）1400円+税 橋本俊詔『21世紀の資本主義を読み解く』（宝島社, 2015年）1400円+税 岡田斗司夫『僕たちは就職しなくてもいいのかもしれない』（PHP研究所, 2014年）760円+税
履修上のポイント	(1)まずは教材をきちんと読み,著者の言わんとするところをよく理解してほしい。 (2)教材のテーマは非常に大きなものなので,自分自身もじっくり考えてみる姿勢でレポートに取り組んでほしい。 (3)教材だけを読んでレポートを書くのではなく,たとえば上記の参考図書に挙げられているような本にも目を通して,色々な角度から問題を考えるようにしてほしい。
レポート課題 1	テキストの中で語られている「世界の無限」「世界の有限」とはどのようなものか。その概要をまとめ,それについて論評しなさい。 留意点:著者の見解をよく理解しきちんとした論評を書くようにしてほしい。
レポート課題 2	テキストの著者は,先進国の若者の意識変化をみてどのような未来を予測しているか。その概要をまとめ,それについて論評しなさい。 留意点:課題1と同じ。

基本教材 2	
教材の概要	著者名 岩井克人 教材名 『会社はこれからどうなるのか』（平凡社, 2009年）950円+税
	いま資本主義経済は18世紀以来の産業資本主義の時代からポスト産業資本主義の時代に移行しつつある。この歴史的な大転換は「グローバル化」「IT革命」「金融革命」の三つの波によって推し進められている。当然のこと資本主義経済の主役である会社も,これに対応して大きく変化せざるをえない。しかし日本の会社はこれに対応できないでいる。著者は「株式会社」の再検証によりポスト産業資本主義時代を展望する。以下がおもな内容。 ○会社という不思議な存在 ○法人論争と日本型資本主義 ○日本型資本主義とサラリーマン ○日本型資本主義の起源 ○資本主義とは何か ○ポスト産業資本主義における会社のあり方 ○会社で働くということ
参考図書	平川克美『株式会社という病』（文藝春秋, 2011年）648円+税 伊藤誠『日本経済はなぜ衰退したのか』（岩波書店, 2013年）780円+税 吉川洋『人口と日本経済』（中央公論新社, 2016年）760円+税
履修上のポイント	(1)教材は,株式会社と資本主義の変化を原理論的・歴史的にとらえ,21世紀におけるそれらの在り方を展望している。ぜひその見解の全容を理解してほしい。 (2)自己の体験や見聞を生かしたレポートにするのが望ましい。 (3)参考図書など教材以外の情報にも当たり学習内容の充実を図ってほしい。
レポート課題 1	下記の二問から一つ選びレポートしなさい。 ①株式会社における「経営者の倫理」についての教材の見解をまとめ,それについて論評しなさい。 ②日本では会社の従業員のことを「会社員」と呼ぶのが普通である。このことについての教材の見解をまとめ,それについて論評しなさい。 留意点:自己の経験でレポートに生かせるものがあればそれを盛り込んでほしい。
レポート課題 2	下記の二問から一つ選びレポートしなさい。 ①教材ではポスト産業資本主義の時代における「おカネと株主」の重要性についてどう予測しているか。著者の考えをまとめ,それについて論評しなさい。 ②教材ではポスト産業資本主義の時代にける「会社と従業員のあり方」についてどう予測しているか,著者の考えをまとめ,それについて論評しなさい。 留意点:課題1と同じ。

科目名	グローバル 経営戦略論特講	担当者	シナト 階戸 テルオ 照雄	期間	通年	単位数	4
-----	------------------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、日本企業の優秀企業の条件を探り、コーポレート・ガバナンスの重要性についての理解を深めることを目的とする。また、経営戦略の基礎から応用までの知識を修得することにより、以下の能力を身につけることを目的とする。</p> <p>I. 経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。【A-1:4】</p> <p>II. 想像力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力あるいは他者と協働して問題を解決することができる。【A-4:4】</p> <p>III. さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて他者との信頼関係を確立し、ときに強い影響を与えることができる。【A-6:4】</p> <p>IV. 集団の活動において、より良い成果を上げるために、他社と協働し、作業を行うとともに、指導者として他社の力を引き出し、その活躍を支援することができる。【A-7:4】</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリックの該当番号】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>経営者が会社経営において適切な意思決定を行うために、経営戦略の基礎から応用までの知識を修得することを一般目標とする。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>企業を巡る経営戦略論はもとより、諸理論や経営課題について把握し、その中で個別企業がとっている行動の背景を理解・概観できるようになることである。</p>		
学修方略 (方法) (LS) と学修時間	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> manaba folio を利用して、教員と院生との間での双方向を重視した個別指導を実施する。 manaba foio の掲示板や相互ディスカッションを利用して、受講者同士の協働学習を行う。 図書館、インターネット等で自ら論文検索して、レポートを作成する。 <p>【学修方略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本図書・教材の十分な理解、参考文献の検索と適切な理解、レポート作成、受講者同士のディスカッション、あるいは複数回にわたって行われるレポート添削での教員と受講生によるディスカッションによりレポートの最終稿を完成させる。 <p>【学修時間】</p> <p>レポート課題1つにつき、完成までに以下を目安に最低45時間の学修時間を要するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材の学修：15時間 レポート執筆：10時間 レポート推敲と最終稿の完成（教員の添削指導等を含む）：20時間 		
スケジュール	<p><前期> ・レポート課題1 初稿締切期限：6月末 ★最終稿提出期限=前期締切日</p> <p>・レポート課題2 初稿締切期限：8月末 ★最終稿提出期限=前期締切日</p> <p><後期> ・レポート課題1 初稿締切期限：10月末 ★最終稿提出期限=後期締切日</p> <p>・レポート課題2 初稿締切期限：12月末 ★最終稿提出期限=後期締切日</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材内容を十分理解・修得し、レポートが作成されているかを基準とする（論旨明確さ、独創性、文章表現の妥当性、引用の適切性等）。
	平常評価	20%	初稿段階から最終稿までのプロセスを含む取組みを評価基準とする。
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> 初稿の提出は締め切りを遵守すること。 経営・経済コースの経営部門のコア5科目の1つであり、他の科目（現代ファイナンス論特講、マーケティング論特講、アカウンティング論特講、人材マネジメント論特講）と合わせて履修することが望ましい。 		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： グロービス・マネジメント・インスティテュート 教材名： 『MBA経営戦略』（ダイヤモンド社，1999年） ISBN:978-4-47-837243-2 2,800円+税
	前期は経営戦略の概念を十分に理解することに重点をおき，経営戦略における基本的な分析ツールを使いこなせることを目標とする。その後，グローバル企業の戦略につき，事例に基づいた「成功要因」を考える。
参考図書	内田学『MBA経営戦略入門』（ダイヤモンド社，2005年） ISBN:978-4-47-837459-7 1,800円+税 ジェイ B. バーニー『企業戦略論（上）』（ダイヤモンド社，2003年） ISBN:978-4-47-837452-8 2,400円+税 ジェイ B. バーニー『企業戦略論（中）』（ダイヤモンド社，2003年） ISBN:978-4-47-837453-5 2,400円+税 ジェイ B. バーニー『企業戦略論（下）』（ダイヤモンド社，2003年） ISBN:978-4-47-837454-2 2,400円+税 チャン・キム，レネ・モボルニュ『ブルー・オーシャン戦略』（ダイヤモンド社，2013年）ISBN:978-4-47-802467-6 1,900円+税
履修上のポイント	1. 経営戦略における全社戦略，事業戦略，実践として戦略的経営を理解する。 2. グローバル時間の成功戦略を解明するため，どのような戦略が必要となるのか，考察する。 3. 基本図書の十分な理解は前提となるものの，当初理解が困難なときには，比較的平易な参考図書（『MBA経営戦略入門』）を利用することにより，経営理論等の理解を早期に図ること。 4. 参考図書のバーニー教授の「資源アプローチ」，W. チャン教授らの「ブルー・オーシャン戦略」は応用編として，理解を深めること。
レポート課題 1	アンゾフのマトリックスにつき，述べよ。同時に，アンゾフのマトリックスに基づき，1社以上の企業を選び，その戦略を説明せよ。 留意点： アンゾフのマトリックスの弱みについても，論述のこと。
レポート課題 2	日本企業のグローバル戦略の課題は何か，を平易に論述すること。 留意点： 1社以上の日本企業を選び，論述のこと。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 新原浩朗 教材名： 『日本の優秀企業研究』（日本経済新聞出版社，2006年） ISBN:978-4-53-219349-2 762円+税
	後期は日本企業の競争優位の条件を更に深く考察する。その考察の中で，現在日本企業の課題となっているコーポレート・ガバナンスのあり方に焦点を絞ること。
参考図書	全国社外取締役ネットワーク編著『〈社外取締役〉のすべて』（東洋経済新報社，2004年） ISBN:978-4-49-255514-9 1,800円+税
履修上のポイント	1. 日本企業の競争優位の条件・課題を多角的な観点より，考察する。 2. コーポレート・ガバナンス（企業統治）とは何か，を理解する。 3. 企業における取締役会・社外取締役の役割につき，理解を深める。 4. 世界的なコーポレート・ガバナンスの流れについての知識を深める。
レポート課題 1	日本企業の優秀企業の条件の中で，重要と思われる条件をいくつか指摘し，論述すること。 留意点： 1社以上の日本企業を選び，具体性を持たせること。
レポート課題 2	コーポレート・ガバナンスの意義を述べよ。 留意点： コーポレート・ガバナンスをもって，いかに競争優位が実現できるのか，を説明のこと。

科目名	現代ファイナンス論特講	担当者	カトウ 加藤	コウジ 孝治	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	-----------	-----------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は企業活動を考える際の価値判断の基本となるファイナンスの知識を修得することにより、以下の能力を身に付けることを目的とする。</p> <p>① 企業価値を高めるために必要な財務活動の一つとして、投資家に自社の内容をより良く評価してもらう必要がある。そのために活用するファイナンス理論の考え方を自ら学ぶ【A-1:4】</p> <p>② ファイナンス論の知識を持つことで、日常的に発信される経済活動・企業行動のニュースの本質を理解し、次の行動・活動を自ら考えることができる【A-3:4】</p> <p>③ 現代社会の中で起こっている企業行動を、より深い（財務的な）切り口で見ることができるようになることで、自ら道をひらき、その行動に責任を持って取り組めるようになる【A-5:4】</p> <p>④ ファイナンス論を修得することで、他の経営コア科目を理解するために必要な基本的知識を身に付けることとなり、より深い理解に到達することができる【A-8:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 企業経営に必要な資金の調達、運用に不可欠なファイナンスに関する専門性を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>① 学修者がファイナンスに関する知識を列挙し、それぞれの知識を関係づけて理解する(知識)</p> <p>② 具体的な企業の事例に対して、学んだ知識を活かして、考えることで理解を一層深め、自ら使うことができる技能に高める(技能)</p> <p>③ ファイナンス理論と具体的な企業活動の間には、社会情勢・個別事情によって異なる点があることに配慮しつつ、その考え方を活用することで企業の経済活動を理解し、具体的なビジネスシーンに応じて使いこなせるようになる(態度)</p>		
学修方略 (方法)	<p>【学修方略 (LS)・アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> まず、基本教材を熟読したうえで、副教材も参考にしつつ、レポートドラフトを作成する(自習・レポート作成, SBO①②)【15時間/レポート1本】 学修支援者による気付きを与えるコメント、指導に基づきレポート(初稿)を作成する(レポート作成プロセス, SBO②)【15時間/レポート1本】 レポートに基づくインタラクティブな学習の場(ディスカッション)となる「複数回の添削指導」を通じて、最終的にレポートを作成するまでには、与えられた課題以外に指示された追加資料の確認の他、自主的に追加参考資料の発見が重要であり、自主的なインプットを行うことで、より深い理解に到達する(自主研究・レポート作成・ディベート, SBO③④)【15時間/レポート1本】 <p>【準備学修時間】 準備学習時間：教材精読のみであれば1日もあれば読めるものであるが、内容を理解し、計算なども自らやってみることで身につくことを考えると、その3~5倍の時間は取りつつ、しっかり身に付けるだけの準備を行うことを期待する。 その他に具体的な企業事例を探るために、各自が教材以外の関連書籍を探し、新聞・ネットメディアなどの記事のほか、企業の公表資料などにもアクセスしていく必要がある。論文、民間シンクタンクのレポートなどの幅広い情報源を活用することが望まれる。</p>		
スケジュール	<p>① 提出期限までに何度かレポートを使って、考え方を確認・交換する必要がある。最低でも前後期とも課題提出期限1か月前までには初回提出をすること。</p> <p>② 受講開始後、課題へのアプローチ方法がわからず、を早めの時期に課題提出できない場合には、効率的に学習に取り組むために、レポート作成に必要な質問をメールあるいは添削システムを使用する。レポート作成前に、課題取組方針のすり合わせを行うことは望ましい。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	① 教材の内容を修得し、その考えを踏まえて解答されているか ② 自分の独自の考えを、相手に伝わるように解答できているか ③ 教材以外の資料を活用して解答しているか(加点項目)
	平常評価	20%	① 最終提出までに複数回のレポート交換ができているか ② 途中稿提出期限(最終提出1か月前)が守れているか
履修者への要望	<p>グローバル経営(MBA)部門のコア5科目の一つであり、他の科目(グローバル経営戦略論特講, アカウンティング論特講, マーケティング論特講, 人材マネジメント論特講)と合わせて履修することが望ましい。 履修登録後、速やかに学修計画のすり合わせを行うために、担当教員(加藤)に連絡すること</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： グロービス経営大学院 教材名： 『[新版]グロービスMBAファイナンス』 (ダイヤモンド社, 2009年) ISBN:978-4-47-800876-8 2,800円+税
	前期はファイナンス理論の基本的なフレームワークの整理を行うことを目指す。ファイナンス理論はビジネスシーンだけでなく新聞などを読むに当たっても意外と多くの場面で使われているが、その一方で誤った理解に基づき使われているケースも多い。
参考図書	ロバート・C・ヒギンズ(グロービス・マネジメント・インスティテュート訳)『[新版]ファイナンス・マネジメント』(ダイヤモンド社, 2002年) ISBN:978-4-47-847059-6 4,400円+税
履修上のポイント	前期の教材は比較的平易なものでファイナンス論の基礎の修得を狙った。課題に対しては、基礎的な考えを修得したうえで、個別な企業がとっている財務行動を調べて具体的に解答すること。もう一段の理解を深めたい場合は参考図書を活用してほしい。
レポート課題 1	事業の収益性を判断するために注目する必要があるキャッシュフロー(特にフリーキャッシュフロー)について、その概念を整理しなさい。その際、フリーキャッシュフローの各項目について説明するとともに、なぜこのように考えるものなのかを説明しなさい。 留意点 ：教材(1)の第2章を参考にしながら、ファイナンス論を取り組むうえでの出発点となるキャッシュフローの考え方を確認してほしい。
レポート課題 2	会社全体の経済的価値を示す「企業価値」について、その考え方を確認したうえで、株価の理論値の計算の方法について述べなさい。 留意点 ：教材(1)の第8章で示される考え方、計算方法について理解してほしい。また、その企業価値がM&Aを考えるうえで重要であり、買収戦略の成否の評価を分けることとなる点も理解してほしい。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 朝倉祐介 教材名： 『ファイナンス思考ー日本企業を蝕む病と、再生の戦略論』 (1) (ダイヤモンド社, 2018年) ISBN:978-4-478-10374-6 1,800円+税
	著者名： 手島直樹 教材名： 『まだ「ファイナンス理論」を使いますか?』 (2) (日本経済新聞出版社, 2012年) ISBN:978-4-53-231829-1 1,800円+税
	前期に修得した基本的な概念に基づきつつ、ファイナンス論について、常識に囚われない「正しい使い方」を理解できるようにしたい。
参考図書	砂川伸幸, 川北英隆, 杉浦秀徳, 佐藤淑子『経営戦略とコーポレートファイナンス』(日本経済新聞出版社, 2013年) ISBN:978-4-532-13341-9 3,200円+税 マッキンゼー・アンド・カンパニー/ティム・コラー他(本田桂子/鈴木一功訳)『企業価値経営ーコーポレート・ファイナンスの4つの原則』(ダイヤモンド社, 2012年) ISBN:978-4-47-801798-2 2,400円+税
履修上のポイント	ファイナンス論の履修目的は、実際の経済行動・企業行動の中で利用されている状況をイメージできるようになることにある。教材は具体的な事例と理論との橋渡しをしている。各自、一步踏み込んだレポート作成に取り組んでほしい。参考図書は、具体的にファイナンス論を活用する手法を学びたい学生のために示した。
レポート課題 1	教材(1)第3章「ファイナンス思考を活かした経営」で示される企業の中から、一社以上を選び、その企業の経営の特徴についてまとめ、その企業行動に対するあなたの評価を論述すること。 留意点 ：教材に示されている内容は一面的なものの見方に陥っている可能性もある。自ら情報を調べることで、企業の財務戦略について論述することが望ましい。
レポート課題 2	教材(2)で筆者が提示する「理論と現実のギャップ」あるいは「誤解」に関して、どのように考えるかを論述すること。 留意点 ：必ずしも筆者と同じ意見である必要はない。批判的な立場で考えを示すことも望ましい。

科目名	アカウンティング論特講	担当者	タテミヤ 建宮	ツトム 努	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	------------	----------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、ビジネスのグローバルルールであるアカウンティング（会計）について、国際的な観点と歴史的な視点を持ってその成り立ちを理解し、国際言語である英語での会計用語の理解も含め以下のような能力や知識を身に着けることを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国際的な会計の成り立ちの歴史と背景を理解し、現在と未来について会計的な視点での問題点と解決策を提案することができる。【A-2:4】 2 当たり前のように定義されている現代国際会計の前提について、論理的・批判的な視点から見つめなおし、自らの視点を提示することができる。【A-3:4】 3 IFRSを会計基準として採用しているグローバルカンパニーの英語の決算書を読み、その企業の課題を理解するとともに自分なりの改善策を考察することができる。【A-4:4】 4 自らが所属する企業、または関係性のある企業の基本的な財務分析を行い、課題を発見し、その課題の原因と解決策について関係者とコミュニケーションすることができる。【A-6:4】 【日本大学教育憲章ルーブリックの該当番号】 		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 現代の国際的な会計システム成立の歴史的背景を理解した上で、日本語だけでなく、英語でも財務諸表から問題点を把握し、改善策を提案できる能力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>SBOs 1 歴史的な視点を持って、アカウンティング領域の課題を認識できる (知識・想起)</p> <p>SBOs 2 アカウンティングの課題に対する自発的な資料の探索ができる (技能)</p> <p>SBOs 3 基本的な財務分析計算が日本語および英語でできる (技能)</p> <p>SBOs 4 英語の財務諸表分析から、課題の発見と改善策提案ができる (知識・問題解決)</p> <p>SBOs 5 自らが関係する企業について会計的課題の発見と解決策提案ができる (態度)</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Manaba folio を利用して、インタラクティブな個別指導を受ける ・レポート作成上で想起された疑問点については関係会社の担当者にも疑問を投げかけてみる。 <p>【学修方略 (LS)】 早めの初稿提出およびManaba folio での講師への質問により、自分の中で抱えることなく理解の早期化を図ること。</p> <p>【学習時間】 1本のレポート作成に最低45時間の学修時間を要する。 基本教材および参考図書学習【20時間】レポート執筆【10時間】レポート完成までのインタラクティブな教員とのやりとり【15時間】</p>		
スケジュール	<p>前半は、6月末までに基本書および参考図書を読了し、レポート課題1については7月中旬、レポート課題2については8月中旬までの初稿提出を目標とすることを勧める。9月下旬の最終提出直前に初稿を出すことのないよう、計画的に進めてほしい。後半は、10月下旬までに基本書および参考図書を読了し、レポート課題1については11月中旬、レポート課題2については12月中旬までの初稿提出を目標とすることを勧める。9月下旬の最終提出直前に初稿を出すことのないよう、計画的に進めてほしい。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	課題の問いかけを正確に読み取っているか。 課題に対する自らの考えを明確に根拠を持って述べているか。 論の根拠となる引用、参照について適切に開示しているか。
	平常評価	20%	タイムスケジュールを、提出締切から逆算して進めているか。 基本書以外の資料、書籍を探索する能力が確認できるか。 効率的かつ効果的なレポートのための工夫がみられるか。
履修者への要望	<p>昨今の巨大な企業問題の多くは、アカウンティング（会計）の分野から発生している。しかし、会計知識は専門家の領域と考えられ、自らとは無関係、または単なる簿記ルールと認識され、一歩進んでその背景にある世界的な覇権争いの流れや、その流れから生じて現代会計のベースとなっている現在価値計算のあやうさなどがあらためて考察されることは少ない。</p> <p>本講義では、そのような表面的なビジネスの理解からの脱却を図るため、歴史的なお金の計算の流れやその背景、会計基準をめぐるパワーゲームなどを理解するとともに、会計知識をグローバルに展開するための日本語の会計知識の英文会計知識への転換、また、実際の財務分析を通じた改善提案までの一連の実務的トレーニングを通じて、実務的にも使えるアカウンティング知識の習得を目指す。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 田中 靖浩 教材名： 『会計の世界史イタリア, イギリス, アメリカ 500年の物語』日本経済新聞出版社 2018 ISBN: 978-4532322038 2,200円＋税
	歴史的な視点から、会計学の発展とその背景を、時代ごとにその中心的な役割を果たした人物と結び付けて整理した良書。ビジネスの共通言語である会計の歴史的な変遷と今日的な課題についてわかりやすく学ぶことができる。
参考図書	ジェイコブ・ソール 帳簿の世界史 ISBN: 978-4167910600 950円＋税
履修上のポイント	まず基本書をざっと読み、おおまかにアカウンティングに関する歴史的な流れを理解した上で、IFRSとUSGAAPの二大世界会計基準の覇権争いに関する書籍や資料にもあたって課題1に取り組むとよい。課題1にめどがついた時点で、現在価値会計に関する書籍や資料にあたり、自らが考えるミニプロジェクトの現在価値計算の試算体験によって、「将来キャッシュフローの現在価値を前提とする事業の価値」という通常疑問がわからないテーマについて「あれ？本当にこれでいいのかな？」という批判的な視点を養って課題2に取り組んでいただきたい。
レポート課題 1	「国際的な会計基準を決める立場にいる優位性」について、自身の考えを簡潔に述べるとともに、現在も続く世界的な会計基準の覇権争いの歴史について整理しなさい。 留意点： 基本教材をベースに、関連書籍、資料にもあたって思考を深めることが望ましい。
レポート課題 2	「現代会計の基本となっている現在価値計算」の問題点について、自身の考えを簡潔に述べるとともに、あなたが新しいビジネスプロジェクトを提案するという前提で、そのプロジェクトへの出資を得ることを目的とした、シンプルな現在価値計算モデルを提示しなさい。 留意点： 基本教材をベースに、関連書籍、資料にもあたって思考を深めることが望ましい。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 建宮 努 教材名： 『ゼロから始める！すぐに役立つ！英語の決算書の読み方』 アルク 2018 ISBN: 978-4757430815 1,800円＋税
	グローバル化時代の2つの共通言語、「会計」の基礎と関連する「英語」を同時に学習。会計知識を持たない人を対象に、英語の決算書の読み方について初学者がおさえるべき、かつビジネスですぐに役立つポイントを、1. 英語の決算書の基本的な読み方がわかる 2. 初学者でも理解しやすいように図解を多用 3. 仕事ですぐに役立つ知識を得られる、と言う3つの視点で整理。
参考図書	建宮 努 『ゼロからはじめる英文会計入門 (第3版)』中央経済社 2015 ISBN-13: 978-4502166815 2,400円＋税
履修上のポイント	IFRSを採用している日本企業は、日本証券取引所のウェブサイトを確認することができ、順次増加している。(https://www.jpx.co.jp/listing/others/ifrs/index.html) 国内企業を選択を推奨する理由は、英語に不慣れな場合でも、同じ企業のまったく同じ内容の財務諸表の日本語版が入手できるため、英語の決算書の理解に翻訳が必要なくなるためである。課題1について、財務分析から改善策提案までの流れを練習した上で、自らの関連企業の決算書を読み改善策を練ることで、本講義の知識は、生きた使える知識となるはずである。
レポート課題 1	IFRS (国際財務報告基準) を採用している国内外の上場企業を1社選択し、その英文決算書を用いて基本的な財務分析計算 (3年以上) を行った上で、当該企業の課題を指摘し、改善策を提案せよ。 留意点： 基本教材をベースに、関連書籍、資料にもあたって思考を深めることが望ましい。
レポート課題 2	自らが所属する企業または関係性のある企業 (採用会計基準は問わない) の決算書を用いて基本的な財務分析計算を行い、当該企業の課題と原因、改善策について他者 (当該企業の社員でなくとも可) とディスカッションを行い、その体験を通じて得られたものについて報告せよ。 留意点： 基本教材をベースに、関連書籍、資料にもあたって思考を深めることが望ましい。

科目名	ファイナンシャル・ アカウンティング論特講	担当者	マルモリ 丸 森 カズヒロ 一 寛	期間	通年	単位数	4
-----	--------------------------	-----	----------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	<p>本講座は経営分野での共通言語である企業会計の知識・技術・マナーを修得することにより、以下の能力を身につけることを目的とする。</p> <p>I. 経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。【A-1:4】</p> <p>II. 想像力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力あるいは他者と協働して問題を解決することができる。【A-4:4】</p> <p>III. さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて他者との信頼関係を確立し、ときに強い影響を与えることができる。【A-6:4】</p> <p>IV. 団体の活動において、より良い成果を上げるために、他社と協働し、作業を行うとともに、指導者として他社の力を引き出し、その活躍を支援することができる。【A-7:4】</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリックの該当番号】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>経営管理者が適切な意思決定を行うために、外部報告目的の財務諸表のメカニズムとその分析方法を理解し、企業活動を適切に表現並びに分析できる企業会計の知識・技能・マナーを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>i. 企業会計における認識・測定ルールを説明できる。(知識・想起)</p> <p>ii. 企業活動と財務諸表の関係を説明できる。(知識・解釈)</p> <p>iii. 財務諸表から企業活動を測定並びに評価できる。(技能・コントロール)</p> <p>iv. 企業活動を適切に表現するために一般に公正妥当な会計ルールに配慮できる。(態度・反応)</p>		
学修方略 (方法) 【LS】と 学修時間	<p>①基本教材を熟読し、副教材の問題の回答を準備して解答との照合を行うとともに解説を読んで理解を深める。全体を12の学修テーマに分け、各テーマ毎に具体的な学修目標(4項目から17項目)を設定し、学修目標毎に基本教材および副教材(有価証券報告書等)の該当箇所を明示するとともに、副教材を問題&回答形式とすることにより、履修者が自習によっても学修目標がクリアできるように工夫されている。(自習)【SBO i. & ii.】【20時間/レポート1本】</p> <p>②レポート課題に沿った事例及びデータを収集し分析する。(自主研究)【SBO ii.】【10時間/レポート1本】</p> <p>③レポートの草案を作成する。(レポート作成)【SBO ii. & iii. & iv.】【5時間/レポート1本】</p> <p>④manaba folioでの掲示板機能を利用した受講生同士のディスカッション、あるいは複数回にわたって行われるレポート添削での教員と受講生とのディスカッションによりレポートの最終版を完成させる。(ディベート)【SBO ii. & iii. & iv】【10時間/レポート1本】</p>		
スケジュール	<p>前半は学修テーマ1.から6.を学習範囲とする。6月末までに一通りの学習を終了させ、「基本教材1」のレポート課題1を7月15日、レポート課題2を8月15日までに、それぞれ初稿を提出していただき、9月19日を最終稿の提出期限とする。</p> <p>後半は学修テーマ7.から12.を学習範囲とする。11月中旬までに一通りの学習を終了させ、「基本教材2」のレポート課題1を11月15日、レポート課題2を12月15日までに、それぞれ初稿を提出していただき、1月14日を最終稿の提出期限とする。</p>		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	70 %	<p>課題に関係する重要な論点をおさえているか。</p> <p>結論が明確であるか。</p> <p>結論にいたるまでの理由が必要かつ十分であるか。</p> <p>引用および参照について適切に開示並びに表現しているか。</p>
	観察記録	30 %	<p>活発に質問を行うなど積極的に取り組んだか。</p> <p>レポートの提出期限を厳守したか。</p> <p>受講生同士及び教員の指摘事項を真摯に検討したか。</p> <p>明瞭かつ論理的な説明を心がけているか。</p>
履修者への要望	<p>会計関係の知識の有無は問いませんが、マーケティング、経営戦略の基本的な知識を習得しているか、あるいは当該科目を履修中であることが望ましいと考えます。“計画的かつ到達目標において示した時間を投入して学習できること”が履修要件と考えています。年度初めにたてた計画に従い、各学習目標毎の問題について必ず回答を準備してから解答と照らし合わせ、疑問点は躊躇することなく教員にメールで質問し、各テーマの学習目標を着実にクリアしてください。また、回答の準備、質問あるいはレポートにおいては「限られた情報を前提に常に意思決定を行う。」という姿勢で臨んでください。なお、履修希望者になるべく早く学修をスタートさせていただくために、履修登録を行うと同時に担当教員 (marumori.kazuhiro@nihon-u.ac.jp) にその旨メールにて連絡をお願いいたします。勿論、その後の履修取り消し期間内において取り消しをすることは構いません。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名：伊藤邦夫 教材名：『新・現代会計入門』（日本経済新聞出版社、2014年） ISBN:978-4-532-13448-8 3,500円+税</p> <p>会計基準や制度の説明にとどまらず、企業の会計行動や会計事象にも焦点をあて、その背後にある要因の説明に多くのスペースを割いている。国内で評価の高いMBAコースの基本テキストとして採用されており、理論や歴史から実務事例までを網羅している点で、修士課程の基本教材として最適である。</p>
参考図書	<p>著者名：金子智朗 教材名：『MBA財務会計第2版』（日経BP社、2006年） ISBN:978-4822245344 2,592円</p>
履修上のポイント	<p>「1. 複式簿記と財務諸表の構造」（学修テーマ 1.）をまず理解したうえで、企業活動（2. 販売、3. 購買・生産、4. 設備投資、5. 研究開発・マーケティング・人的資源管理、6. 投資と資金調達）により、その投影図である財務諸表のどの部分がどのように変化するかという学修テーマ 2. から 6. を理解する。その際、「企業の具体的な活動が財務諸表にどう表現されるか」、とともに「損益とキャッシュ・フローは一致しない。」を常に意識することが重要である。SB0i.、SB0ii. 及び SB0iii. の達成を目指す。</p>
レポート課題 1	<p>「損益とキャッシュ・フローは一致しない。」という命題について、1) どのようなメカニズムでそうなるのか、2) なぜこの命題が重要なのか、3.) 1) 及び 2) から導き出される経営管理上の留意点は何か、という観点から説明してください。 留意点： 学修テーマ 1. から 6. までの内容を丹念に復習して課題に臨んでください。</p>
レポート課題 2	<p>株式会社ファーストリテイリング（2014年8月期）の有価証券報告書をもとに、同社の経営戦略及び企業活動を分析してください。 留意点： 特にマーケティング、生産管理、などについての知識をフルに使い、同社の戦略が財務諸表にどのように表現されているかという観点から、具体的な分析を行ってください。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>著者名：伊藤邦夫 教材名：『新・現代会計入門』（日本経済新聞出版社、2014年） ISBN:978-4-532-13448-8 3,500円+税</p> <p>会計基準や制度の説明にとどまらず、企業の会計行動や会計事象にも焦点をあて、その背後にある要因の説明に多くのスペースを割いている。理論や歴史から実務事例までを網羅しており、また国内で評価の高いMBAコースの基本テキストとして採用されている点で、修士課程の基本教材として最適である。</p>
参考図書	<p>著者名：金子智朗 教材名：『MBA財務会計第2版』（日経BP社、2006年） ISBN:978-4822245344 2,592円</p>
履修上のポイント	<p>前半でカバーできなかった、7. 引当金、8. 税金と税効果、9. キャッシュ・フロー計算書、10. 外貨建取引、11. 連結とM&A、という学修テーマを取り上げるとともに、各テーマ毎に取り上げてきた経営分析と評価を学修テーマ 12. として総括する。会計政策を使って「企業をどう見せるか」ということと、ファンダメンタル分析の方法とその限界を理解することが重要である。SB0iii. 及び SB0iv. の達成を目指す。</p>
レポート課題 1	<p>損益とキャッシュ・フローに与える影響から「実質的会計政策」を分類し、日本の中小企業の多くが該当する非上場のオーナー会社において、分類された各々の「実質的会計政策」を行使する目的とその具体例を論じてください。 留意点： 経営者の立場から考察してください。</p>
レポート課題 2	<p>ケース「C社」を分析し、投資対象としてのC社の評価とその理由を論じてください。 留意点： ファンダメンタル分析を行った上で、これまでの学習で得た知識を最大限に活用してください。</p>

科目名	マネジメント・ アカウンティング論特講	担当者	マルモリ 丸 森 カズヒロ 一 寛	期間	通年	単位数	4
-----	------------------------	-----	----------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	<p>本講座は、経営管理者として適切な意思決定を行うために必要な、会計情報を中心とした定量情報の利用についての知識・技術・マナーを修得することにより、以下の能力を身につけることを目的とする。</p> <p>I. 経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。【A-1:4】</p> <p>II. 想像力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力あるいは他者と協働して問題を解決することができる。【A-4:4】</p> <p>III. さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて他者との信頼関係を確立し、ときに強い影響を与えることができる。【A-6:4】</p> <p>IV. 団体の活動において、より良い成果を上げるために、他社と協働し、作業を行うとともに、指導者として他社の力を引き出し、その活躍を支援することができる。【A-7:4】</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリックの該当番号】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>「経済性分析による意思決定」と、「予算管理と業績評価」のメカニズムと利用方法を理解し、経営管理者として優れた意思決定とマネジメント・コントロールを行うために必要な知識・技能・マナーを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>i. 経済性分析及び予算管理と業績評価のメカニズムとその利用方法を説明できる。(知識・想起)</p> <p>ii. ケースにおいて上記のメカニズムの当てはめを行うことができる。(知識・解釈)</p> <p>iii. ケースを実際に分析し、適切な意思決定を行うことができる。(技能・コントロール)</p> <p>iv. 上記分析と意思決定の限界を理解し、定性情報にも配慮することができる。(態度・反応)</p>		
学修方略 (方法) 【LS】と 学修時間	<p>①基本教材を熟読し、副教材のケースの回答を準備して提出し、教員による添削を受けるとともに指摘された事項について理解を深める。(自習)【SBO i. & ii.】【20時間/レポート1本】</p> <p>②レポート課題のケースについて、必要な情報及び分析方法を決定する。(自主研究)【SBO ii.】【10時間/レポート1本】</p> <p>③レポート課題のケースについて分析を行うとともに、その結果に基づいた意思決定を行う。(レポート作成)【SBO ii. & iii. & iv.】【5時間/レポート1本】</p> <p>④ manaba folio での掲示板機能を利用した受講生同士のディスカッション、あるいは複数回にわたって行われるレポート添削での教員と受講生とのディスカッションにより、レポートの最終版を完成させる。(ディベート)【SBO ii. & iii. & iv】【10時間/レポート1本】</p>		
スケジュール	<p>前半は6月末までに一通りの学習を終了させ、「基本教材1」のレポート課題1を7月15日、レポート課題2を8月15日までに、それぞれ初稿を提出していただき、9月19日を最終稿の提出期限とする。</p> <p>後半は、11月中旬までに一通りの学習を終了させ、「基本教材2」のレポート課題1を11月15日、レポート課題2を12月15日までに、それぞれ初稿を提出していただき、1月14日を最終稿の提出期限とする。</p>		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	70 %	<p>課題に関係する重要な論点をおさえているか。</p> <p>結論が明確であるか。</p> <p>結論にいたるまでの理由が必要かつ十分であるか。</p> <p>引用および参照について適切に開示並びに表現しているか。</p>
	観察記録	30 %	<p>活発に質問を行うなど積極的に取り組んだか。</p> <p>レポートの提出期限を厳守したか。</p> <p>受講生同士及び教員の指摘事項を真摯に検討したか。</p> <p>明瞭かつ論理的な説明を心がけているか。</p>
履修者への要望	<p>会計関係の知識の有無は問いませんが、マーケティング、経営戦略の基本的な知識を習得しているか、あるいは当該科目を履修中であることが望ましいと考えます。“計画的かつ到達目標において示した時間を投入して学習できること”が履修要件と考えています。年度初めにたてた計画に従い、各学習目標毎の問題について必ず回答を準備してから解答と照らし合わせ、疑問点は躊躇することなく教員にメールで質問し、各テーマの学習目標を着実にクリアしてください。また、回答の準備、質問あるいはレポートにおいては「限られた情報を前提に常に意思決定を行う。」という姿勢で臨んでください。なお、履修希望者になるべく早く学修をスタートさせていただくために、履修登録を行うと同時に担当教員 (marumori.kazuhiro@nihon-u.ac.jp) にその旨メールにて連絡をお願いいたします。勿論、その後の履修取り消し期間内において取り消しをすることは構いません。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名：千住鎮雄、伏見多美雄 教材名：『新版 経済性工学の基礎』（日本能率協会マネジメントセンター、1994年） ISBN:4-8207-1036-2 3,107円+税
	採算的意思決定に関する諸理論を統合整理し、豊富な事例により自学自習ができるように工夫されており、国内で評価の高いMBAコースの基本テキストとして採用されている。
参考図書	
履修上のポイント	① 「原価情報と意思決定」、②「投資の意思決定（短期）」、という各テーマについてその考え方を理解することにより、実務において「代替案の評価と選択」及び「投資案の評価と選択」ができるようになることを目指す。
レポート課題 1	ケース「リライアブル製作所」を分析し、生産管理について経営管理者として適切な意思決定とその根拠について論じてください。 留意点： 「原価情報と意思決定」がテーマです。
レポート課題 2	ケース「株式会社NBS」を分析し、①全社最適の観点からの意思決定、②分権的組織の問題点、について論じてください。 留意点： 「投資の意思決定（短期）」がテーマです。

基本教材 2	
教材の概要	著者名：ロバート・サイモンズ 教材名：『戦略評価の経営学』（ダイヤモンド社、2003年） ISBN: 978-4478470657 4,644円
	戦略を実行するための新たな管理会計として、競争、戦略、組織デザインと統合させた最新の業績評価と統制の手法を紹介している。ハーバード・ビジネス・スクールMBAプログラムの人気科目の教科書を邦訳したものである。
参考図書	著者名：早坂清志 参考図書名：『すぐわかるポケット！ Excel 関数 パーフェクト事典（すぐわかるポケット！）』（アスキー・メディアワークス、2011年）ISBN: 978-4048860666 1,522円
履修上のポイント	③ 「投資の意思決定（長期）」、④「予算管理と業績評価」、という各テーマについてその考え方を理解して、実務において「不確実性下の意思決定」及び「戦略的観点からの利益の評価」ができるようになることを目指す。
レポート課題 1	ケース「レインボー油田」を分析し、経営管理者として適切な意思決定とその根拠について論じて下さい。 留意点： 「投資の意思決定（長期）」がテーマです。
レポート課題 2	ケース「エレクトリックカンパニー社」を分析し、業績の評価とその根拠について論じてください。 留意点： 「予算管理と業績評価」がテーマです。

科目名	マーケティング論特講	担当者	シマ 嶋 タダシ 正	期間	通年	単位数	4
-----	------------	-----	---------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講は、マーケティング論の基礎から戦略までを一年間という限られた時間の中で、出来るだけ効果的に学修し、体系的知識を身につけることを目的としています。従って最初は出来るだけ基本文献を丁寧に読み、わからないところは面倒と思っても必ず用語集や辞書などで調べて知識を確実に身につける態度が必要です。</p> <p>マーケティングは、比較的新しく第二次大戦後に成立した学問です。社会学や心理学、哲学などとも深く関連していて学際的学問であるとも言えます。マーケティング世界は目に見える地域や国を越えてグローバル化している様子を、マーケティング論で説明することも目的です。</p>		
到達目標	<p>本講の到達目標は、マーケティング世界の成立を理解し、来るべき将来を予測する能力を身につけることです。特にマーケティング世界の到来をどうとらえるかが重要です。その要因はいくつもありますが、第一に、WTO(世界貿易機関)が成立し、製品に加えて、サービスやアイデアが世界的に取引できる制度が出来たことが考えられます。第二に、ICT(情報・通信技術)の普及・発達が挙げられます。インター・ネットの普及は買い物のあり方も変えてきています。</p>		
学修方法	<p>マーケティングを学習する上で重要なのは、実践と理論の両面から見る態度を身につけることです。マーケティング論では理論に相当するものはほとんどないといっているほどです。従って、実践の中に見られる現象を注意深く観察することが必要です。テキストを読むことはもちろん、新聞やニュースなどにも気を配りながら、なぜ、そうなるのか?を考えてください。マーケティング世界は繋がっています。なぜ、取引(trans-action)が重要であるかを考えてください。</p>		
スケジュール	<p>レポートの提出(年2回:9月・1月)に合わせて、それぞれの課題を理解するために、前期(4月・5月)と後期(10月・11月)では知識の習得に努め、その後に課題にとりかかってください。基本が出来ていないと、あとで苦労しますので、面倒でも根気強くやってください。</p> <p>提出の期日を厳守してください。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	提出期限を厳守しているか 形式(レポート字数・脚注・参考文献など) レポートの内容
	平常評価	30%	コメントへの対応 レポートの回数 形式
履修者への要望	<p>自分でたてたスケジュールに基づいて、半年で区切って学習を進めてください。あっという間に一年は終わりますから、十分に計画をたてて取り組んでください。「提出期限」厳守。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 和田充夫・恩蔵直人・三浦俊彦 教材名： 『マーケティング戦略 [5版]』(有斐閣, 2016年) ISBN:978-4-641-22078-2 2,000円+税
	本書は、マーケティング論の基本文献で、学部から大学院レベルでのテキストとして広く採用されている定番である。 マーケティングからはじめて、マーケティング・マネジメントそしてマーケティング戦略までを網羅しているので、体系的に学びやすい。 アメリカ・マーケティングだけに偏らないで、日本の事情にも配慮してあるのが、有り難い。
参考図書	黒岩健一郎・水越康介『マーケティングをつかむ [新版]』(有斐閣, 2018年) ISBN:978-4-641-17725-3 2,100円+税 嶋正・東徹編著『現代マーケティングの基礎知識[改訂版]』(創成社, 2017年) ISBN:978-4-7944-2508-9 2,300円+税
履修上のポイント	マーケティングは「製品」に始まるが、今日ではサービスやアイデアにまで広まっている。マーケティングの主体と対象は限りなく広がっている。その考え方は戦略(的)マーケティングの中にある。特にサービスやアイデアの考え方が重要である。
レポート課題 1	マーケティングの成立とマーケティング・マネジメント(管理)が出来上がるまでの過程を述べよ(3,000~4,000文字)。 留意点 ：アメリカ・マーケティングで考える。
レポート課題 2	顧客志向の経営理念を取らなければならないのはどうしてか？(3,000~4,000文字)。 留意点 ：経営理念の変遷で考える。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 小田部正明・栗木契・太田一樹 教材名： 『1からのグローバル・マーケティング』(碩学舎, 2017年) ISBN:978-4-502-21851-4 2,400円+税
	本書は、世界的に名高い小田部正明教授が編著の一人となっている『1からのグローバル・マーケティング』を使い、親しみやすくまとまりのある内容を学習してもらう。残念なことに、WTO(世界貿易機関)の成立が、なぜグローバル・マーケティングと関わるかを理論的にまとめたことが書かれていないので、その点は他の著書を参考にしてもらいたい。
参考図書	相原修・嶋正・三浦俊彦『グローバル・マーケティング入門』(日本経済新聞出版社, 2009年) ISBN:978-4-53-231466-8 1,800円+税 嶋正・東徹編著『現代マーケティングの基礎知識』(創成社, 2012年) ISBN:978-4-79-442403-7 2,300円+税
履修上のポイント	マーケティングは本来、国内市場から出来上がっているが、今日ではグローバル化によって、マーケティング世界が広がってきている。国内市場だけでなく、国内をグローバルな市場に組み入れたマーケティングの考えを取り入れてみよう。
レポート課題 1	流通・サービスのグローバル化について、マーケティングとの関連でまとめなさい。 (3,000~4,000文字) 留意点 ：最近の流通・サービスのグローバル化が何故進んでいるのか、具体例を考えて理論化する。
レポート課題 2	グローバル・マーケティングの展開が、国内マーケティングをどのように変えていくのか述べよ。 (3,000~4,000字) 留意点 ：市場、技術、制度の要因からグローバル化の違いを説明する。

科目名	人材マネジメント論特講	担当者	カトウ 加藤 コウジ 孝治	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は企業活動の根幹である組織・従業員のマネジメントの知識を修得することにより、以下の能力を身に付けることを目的とする。</p> <p>① 企業を構成する3つの資源（ヒト・モノ・カネ）のうち、人的資源として捉えた時の人材の性格を把握し、人材をマネジメントする方法につき、自ら学ぶ【A-1:4】</p> <p>② 人材マネジメントの知識を持つことで、自らの属している組織の中での従業員の行動パターンを理解し、次の行動・活動を自ら考えることができる【A-3:4】</p> <p>③ 組織の中で繰り上げられる経営活動・人事マネジメントについて、より深い見地から理解することができるようになることで、行動に責任を持って自ら道をひらいていくようになる【A-5:4】</p> <p>④ 人材マネジメント論・経営組織論を修得することは、経営管理に繋がる重要な企業経営の知識を身に付けることとなり、経営に関してより深い理解に到達することができる【A-8:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標（GIO）】 企業経営に必要な組織運営，人材マネジメントに関する専門性を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>① 学修者が経営組織・人材マネジメントに関する知識を列挙し，それぞれの知識を関係づけて理解する（知識）</p> <p>② 具体的な企業の事例に対して，学んだ知識を活かして深く考えることで理解は一層明確になり，自ら使うことができる技能に高める（技能）</p> <p>③ 理論と具体的な組織の中での活動の間には異なる点があり，その考え方を応用的に適用することで，具体的なビジネスシーンに応じて使いこなせるように配慮ある行動となる（態度）</p>		
学修方略 （方法）	<p>【学修方略（LS）・アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> まず，基本教材を熟読したうえで，副教材も参考にしつつ，レポートドラフトを作成する（自習・レポート作成，SBO①②）【15時間/レポート1本】 学修支援者による初期の気づきを与えるコメント・指導に基づき，初稿を作成する（自習・レポート作成，SBO①②）【15時間/レポート1本】 より深い理解に到達するためのインタラクティブな学習の場（ディスカッション）となる「複数回の添削指導」を通じて，最終的にレポートを作成する。最終レポートに到達するまでには，与えられた課題以外に指示された追加資料を確認し，更に自主的に参考資料を探索するという自主的なインプットを行うことで，より深い理解に到達する（自主研究・レポート作成・ディベート，SBO②③④）【15時間/レポート1本】 <p>【準備学修時間】 準備学習時間：教材精読のみであれば1日もあれば読めるものであるが，内容を理解し，計算なども自らやってみることで身につくことを考えると，その3～5倍の時間は取りつつ，しっかり身に付けるだけの準備を行うことを期待する。 また，具体的な企業事例を探るために，各自が教材以外の関連書籍を探し，新聞・ネットメディアなどの記事のほか，企業の公表資料などにもアクセスしていく必要がある。論文，民間シンクタンクのレポートなどの幅広い情報源を活用することが望まれる。</p>		
スケジュール	<p>①提出期限までに何度かレポートを使って，考え方を確認・交換する必要があるため，最低でも前後期とも課題提出期限1か月前までには初回提出をすること。</p> <p>②受講開始後，課題へのアプローチ方法がわからず，早めの時期（提出期限1か月前）に課題提出することが難しいと考えた場合には，レポート作成に必要な質問をメールあるいは添削システムを使って連絡すること。効率的に学習に取り組むために，レポート作成前に，課題取組方針のすり合わせを行うことは望ましいことである。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	① 教材の内容を修得し，その考えを踏まえて解答されているか ② 自分の独自の考えを，相手に伝わるように解答できているか ③ 教材以外の資料を活用して解答しているか（加点項目）
	平常評価	20%	① 最終提出までに複数回のレポート交換ができているか ② 途中稿提出期限（最終提出1か月前）が守れているか（減点項目）
履修者への要望	<p>グローバル経営（MBA）部門のコア5科目の一つであり，他の科目（グローバル経営戦略論特講，アカウンティング論特講，マーケティング論特講，現代ファイナンス論特講）と合わせて履修することが望ましい。 履修登録後，速やかに学修計画のすり合わせを行うために，担当教員（加藤）に連絡すること</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 佐藤剛 教材名： 『グロービスMBA組織と人材マネジメント』（ダイヤモンド社，2007年） (1) ISBN:978-4-47-800321-3 2,800円+税
	著者名： スティーブン・P・ロビンス 教材名： 『〔新版〕組織行動のマネジメント』（ダイヤモンド社，2009年） (2) ISBN:978-4-47-800459-3 2,800円+税
	前期教材の1冊目（グロービス）は経営組織と人材マネジメントの関係を理解してもらうために選んだ入門書である。全体を通読し、人材マネジメントに係る論点がどこにあるかを把握してほしい。2冊目の教材（ロビンス）は組織行動論を考えるための良書であり、前期は組織の中で個人がどのような関係にあるのかを考えてほしい。
参考図書	金井壽宏，高橋潔『組織行動の考え方』（東洋経済新報社，2004年） ISBN:978-4-49-252146-5 2,400円+税 スマントラ・ゴシヤール，クリストファー・A・パートレット『（新装版）個を活かす企業 自己変革を続ける組織の条件』（ダイヤモンド社，2007年）ISBN: 978-4-478-00194-3 2,592円+税
履修上のポイント	経営組織の中で人材がどのようにマネジメントされているのか、現代の組織運営上の問題点はどこにあるのかを把握してほしい。その際に、自分が経験した具体的な事例に置き換えながら学ぶことでより深い理解に繋がるものである
レポート課題 1	教材1（グロービス）を使い、従業員にとって納得性を与えるために、人事システムにおいて考えられている仕組みについて、その項目を挙げ、内容を説明しなさい。 留意点： 人事システムを、制度・仕組みを知識として理解するだけでなく、その背景、目的まで踏まえて説明すること。
レポート課題 2	個人が組織の中で活かされるために必要な動機づけに関する理論をあげ、その内容を説明するとともに、具体的なプログラムとして応用されている事例を説明しなさい。 留意点： 教材2（ロビンス）の第Ⅱ部で示されている内容を踏まえ、組織の中で個人が活かされていくために組織は何ができるのか、考えてほしい。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： スティーブン・P・ロビンス新版『組織行動のマネジメント』 教材名： （ダイヤモンド社，2009年）ISBN:978-4-47-800459-3 2,800円+税
	組織を運営していくために一人一人の行動と、部門の行動をどのようにコントロールするべきか考える。
参考図書	ピーター・M・センゲ『最強組織の法則 新時代のチームワークとは何か』（徳間書店，1995年）ISBN:978-4-19-860309-0 1,900円+税 E・H・シャイン『企業文化 生き残りの指針』（白桃書房，2004年） ISBN:978-4-561-23393-0 2,800円+税
履修上のポイント	組織運営においてルールは大事であるが、明文化されている仕組みだけでなく、目に見えない文化にこそ本質が宿っている場合があることも理解する。
レポート課題 1	組織の中で、パワー、政治がどのように利用され権力を掌握することにつながるのか、組織内でコンフリクトが発生した時にどのように対処することができるのか、説明しなさい。 留意点： ロビンスの第Ⅲ部に示されている内容からまとめる。その際に、自分がこれまで組織の中で経験したことのある事例も活用して説明することが望ましい。
レポート課題 2	組織はヒトの集団であり、構成メンバーの意識が同じ方向に向かうほど強い組織となる。組織文化が企業競争力の強化に効果を上げていることについて説明しなさい。 留意点： 企業は組織を従業員にとって働きやすく、かつ自己実現を達成できる場となるように様々な工夫をしている。本課題に関しては、教材（ロビンス）の第Ⅳ部からまとめるだけでなく、可能な限り、具体的な企業の状況を把握し、複数の企業を比較しながら説明することが望ましい。

科目名	多国籍企業論特講	担当者	モロカミ シゲト 諸上 茂登	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	2008年のいわゆるリーマンショック以来、従来の経済・市場と企業活動等のグローバル化の展開への懐疑が世界的に広まった。本講義では、新自由主義論者たちが主張してきたような一律のグローバル化が現実的でもなく理想的でもないことを主張しているハーバード大学教授のパンガジ・ゲマワット氏の著書を基礎としながら、現代多国籍企業が直面している経営環境変化と企業行動の諸課題について把握する。また、今日のビッグデータ、AI、IOT、3Dプリンティング、バイオテクノロジー、遺伝子工学等の先端技術分野の驚異的な発展にも注目しなければならない。それらを踏まえて、日系多国籍企業にとっての競争優位性があり、またサステナビリティの高いグローバル戦略の構築について考察する。		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 現代のグローバル化の特徴と多国籍企業の行動原理を理解できるようになる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 多国籍企業を巡る一般的な経営戦略課題の理解とともに、日系多国籍企業の個別的課題への応用力を高めることができるよう努力する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習として、基本教材の精読ならびに積極的な関連文献サーベイ、企業事例の収集等を行う。1つのレポート作成にあたり文献の読み込みに25時間以上、Manaba-Folioへの提出・再提出のやり取りに20時間以上を目安とする。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 Manaba-Folioを使ったインタラクティブな添削指導を実施する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 基本的には文献サーベイによる学修であるので、受講者による積極的なアプローチを期待する。</p>		
スケジュール	草稿に対する指導者のコメントに基づいて何度かの原稿修正を行うことになるが、このプロセスをできるだけ早く始めること。特に第1回目のやり取りで、求められる基本的なレベルや記述要領をつかむこと。		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材内容の十分な理解とともに、関連文献のレビューと事例の収集が適切になされているかを基準とする。
	平常評価	20%	草稿提出から最終稿の受理にいたるまでの取り組みの姿勢を総合的に評価する。
履修者への要望	各期のレポートの草稿提出はできるだけ早く行い、双方向コミュニケーション、指導期間を確保すること。		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>著者名： バンガジ・ゲマワット 教材名： 『コークの味は国ごとに違うべきか』（文藝春秋、2009年） ISBN-13:978-4163713700 1905円＋税</p> <p>本書では現実の世界には一律でフラットなグローバリゼーションが存在するのではなく、一部のグローバル市場統合と各国による諸規制とが併存するセミ・グローバリゼーションであると認識している。そこでは国境を越えることの意味や重さが改めて重視される。国の隔たり CAGE（文化、制度、地理、経済）が国際ビジネスに与える影響を見極め、またそれらを活用する諸方策が理論的、実務的に示されている。国境を越える基本的戦略である適応戦略、集約戦略、裁定戦略（AAA）が最適組み合わせられた時に、多国籍企業が最大の競争力を発揮すると説き、その実現の方向性を提示している。日系多国籍企業にとっても大変に示唆的な内容である。</p>
参考図書	<p>諸上茂登、藤沢武史、嶋正編著『国際ビジネスの新機軸-セミ・グローバリゼーションの現実の下で-』（同文館出版、2015年）、諸上茂登編著『国際マーケティング・ケイパビリティ』（同文館出版、2019年3月刊行予定）</p>
履修上のポイント	<p>世界的に著名なゲマワット教授によるテキストを通して、現代多国籍企業の行動原理と基本的戦略について体系的な理解に努めましょう。</p>
レポート課題 1	<p>ゲマワット教授による CAGE 分析、AAA 分析などを参考としながら、セミ・グローバリゼーションの下での現代多国籍企業が抱える基本的な諸課題について論述して下さい。</p> <p>留意点：基本教材だけでなく、できるだけ多くの関連文献に当たって執筆してください。</p>
レポート課題 2	<p>日系多国籍企業が一般的に抱えている経営課題を指摘して、その中から一つのテーマに絞ってより深く論述して下さい。（各自の絞ったテーマの論題を明示すること。）</p> <p>留意点：できるだけ具体的な企業事例を交えてレポートを執筆して下さい。</p>

基本教材 2	
区分	
教材の概要	<p>著者名： 諸上茂登 教材名： 『国際マーケティング講義』（同文館出版、2013年） ISBN-13:9784495646110 2,300円＋税</p> <p>90年代以降、日本企業は「技術では勝っているのに事業で負ける」と言われていることが少なくない。本書ではその構造的要因を探ると同時に、国際マーケティング視点からそうした状況を脱するための様々なアイデアを提示している。</p>
参考図書	<p>諸上茂登『国際マーケティング論の系譜と新展開』（同文館出版、2012年）3,400円＋税</p>
履修上のポイント	<p>日系多国籍企業は、新しい市場動向と技術動向を捉えた起業家のマーケティング・イマジネーションを起点とするマーケティングとモノづくりのより効率的、効果的な連携等によって、国際市場での競争優位性を獲得・維持・強化することが可能であることを学びましょう。</p>
レポート課題 1	<p>90年代以降、エレクトロニクス産業を中心に多くの日本企業が競争力を失った構造的要因について論述して下さい。</p> <p>留意点：教材の要約に終わるのではなく、できるだけ多くの関連文献を渉猟して学術的論文として執筆すること。</p>
レポート課題 2	<p>日系多国籍企業による①先進国市場の深耕、②途上国市場開拓、③BOP（最貧国市場）開拓の方策のいずれか1つについて論述して下さい。</p> <p>留意点：具体的な企業事例を交えて執筆すること。</p>

科目名	流通ビジネス論特講	担当者	コバヤシ 小林 フミオ 二三夫	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	-----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>流通業は変化対応型の産業である。流通業界も情報化社会の進展、グローバル化、少子高齢化、消費の成熟化、EC チャンネルの発達など大きな変化に直面している。このような変化をチャンスとして捉えて、高い業績を上げる企業がある一方、かつては有力な企業であっても消滅する事例が多くある。本講義では、組織小売業の歴史、流通の仕組み、商流、物流、情報流、流通業態、日本の商業の現状、通商政策など流通全般について研究するとともに、効率化の徹底と付加価値の形成を同時に実現し高い業績を上げている企業のビジネスモデルの研究も行う。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 問題の発見・解決能力：事象を注意深く観察し、解決策を提案することができる。 論理的・批判的思考力：得られる情報を基に、論理的な思考、批判的な思考ができる。 豊かな知識・教養に基づく高い倫理観：豊かな知識を基に、倫理観を高めることができる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 企業をめぐる流通ビジネス論はもとより、諸理論や経営課題について把握し、その中で個別企業がとっている行動の背景を理解・概観ができるようになることである。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1つのレポート作成にあたり、基本教材および参考文献の読み込みに25時間以上 Manaba-Folio への提出・再提出のやりとりに20時間以上を目安にする。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 Manaba-folio を利用して、教員と院生との間での双方向を重視した指導を実施する。</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 流通経済の縮図「流通業の動きを見れば経済の大きな流れがわかる」という捉え方で流通・小売業を研究する。 2. 教材、参考図書をベースに具体的な企業を研究する。 3. 利益を上げて伸びている業態、伸びている小売業が何故成功しているか、創業者の企業哲学を含めてその背景を分析する。 4. 経営理念、リーダーシップ、「商人道」についても考えてみる。 		
スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期は、組織小売業として最古となるパリ「ボンマルシェ」デパートについて研究する。『デパートを発明した夫婦』を教材とする。 日本流通史、商人道を通して、近世から現代の流通を概観する。教材『ようこそ小売業の世界へ』で学ぶ。 2. 後期は、歴史認識を踏まえて個々の流通企業について具体的に企業研究をする。 『日本の優秀小売企業の底力』を教材として使用する。 		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	100%	課題レポートの内容を重視する。 レポート形式、字数にも注意すること。多いのは良いが基準より少ないレポートは減点する。
	平常評価		
履修者への要望	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教材を良く読み、商品流通の歴史、変遷を大きく捉えて欲しい。 2. 組織小売業が登場する歴史的な背景を理解して欲しい。 3. 総合スーパーが登場する戦後の背景と、いわゆる「流通革命」について理解する。 4. 環境変化が与える小売業の変化、その状況を理解する。 5. レポートには、引用、参考文献を記載すること。 		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>小林二三夫・他 改定版『ようこそ小売業の世界へー先人に学ぶ商いのこころー』（商業界 2017年） 著者名： ISBN978-4-7855-0524-0 1,800円＋税 教材名： 鹿島茂 『デパートを発明した夫婦』（講談社現代新書、1991年） ISBN978-4-06-149076-5 760円＋税</p> <p>前期では、商品流通の歴史について概観する。特にデパートメント・ストアが登場した理由、第二次世界大戦以降の大規模メーカーによるマーケティングと流通の組織化、総合スーパーの登場と流通革命、コンビニエンス・ストアの登場、グローバリゼーション下の小売業、少子高齢化、情報化社会への対応について学ぶ。</p>
参考図書	<p>(1) 矢作敏行『現代流通ー理論とケースで学ぶ』（有斐閣、1996年） ISBN-978-4-64-112014-3 2,200円＋税 (2) 各業態の代表的な企業のホームページ、業界団体のホームページ (3) 日々の流通に関する新聞記事、経済誌などの記事に注目する。</p>
履修上のポイント	<p>教材・参考図書等により、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 商品流通の歴史、変遷を大きく捉えて欲しい。 2. 組織小売業が登場する経済的背景を理解する。 3. 総合スーパーが登場する戦後の経済的背景を理解する。 4. いわゆる「流通革命」の意義を考える。 5. コンビニエンス・ストアの興隆の意味を考える。
レポート課題 1	<p>教材『デパートを発明した夫婦』で述べられている「小売革新」について整理して説明せよ。 留意点：パリのデパート「ボンマルシェ」における小売革新は、現在の小売業の運営に通じるものが多くある。そのような視点で整理して欲しい。</p>
レポート課題 2	<p>コンビニエンス・ストアと総合スーパー（GMS）の違いについて説明せよ。 留意点：コンビニエンス・ストアが生まれて背景、総合スーパーとの違いについて注目する。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>原田秀生、向山雅夫、渡辺達朗 『新版 ベーシック流通と商業』（有斐閣、2010年） 著者名： ISBN:978-4-64-112398-4 1,900円＋税 教材名： 矢作敏行 『日本の優秀小売企業の底力』（日本経済新聞社、2011年） ISBN: 978-4-53-231716-4 2,700円</p> <p>後期は、前期で学んだ流通・小売業の歴史を基に具体的に優秀な小売業のビジネスモデルのケーススタディを行う。</p>
参考図書	<p>緒方和行『流通・商業の英子衰退の方程式』（商業界、2008年） ISBN:978-4-78-550337-6 1,600円＋税</p>
履修上のポイント	<ol style="list-style-type: none"> 1. 流通は、経済の縮図「流通業の変化を見れば経済の大きな流れがわかる」という捉え方で流通を研究する。 2. 教材、参考図書をベースに具体的な企業を事例に研究する。 3. 顧客満足を実現しつつ、効率化の徹底と付加価値の形成という二つを実現し、高い業績を上げている企業の実態、その背景を研究する。小売業は、創業者の精神が企業文化に大きく影響する。そのような視点から創業者の精神、経営哲学も研究して欲しい。
レポート課題 1	<p>小売業の事例研究教材で上げている企業について整理してレポートせよ。 事例で上げていない企業についてレポートする場合は、教材の分析手法に基づいて欲しい。 留意点：創業の精神、経営理念や経営者のリーダーシップといった企業の価値、組織設計や業態などの戦略、効率的なオペレーションやマーチャンダイジングなどの業務遂行、などの視点を入れること。</p>
レポート課題 2	<p>レポート(1)と同様の課題とする。従って、2社について整理しレポートをすることになる。 留意点：留意点も(1)と同様</p>

科目名	ビジネス法特講	担当者	ナカムラ 中村 リョウ 良	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>経済法という法典は存在しません。また経済法をどのように考えるかについては、諸説あります。ビジネス法特講においては、「市場支配」に対する国家による規制法と定義し、私的独占の禁止および公正取引確保に関する法律（以下、独占禁止法とします）をその中心と考えます。</p> <p>経済法を理解することなく事業活動を進めることは、多くのリスクが予想されます。そこでリスクを回避するためにも、具体的な事例を通じて経済法（特に独占禁止法）を理解することが重要です。レポート1では、その中心的な概念である私的独占・不当な取引制限等の主要な概念を中心に勉強を進めて頂きます。レポート2では、不公正な取引方法、刑事罰・損害賠償・課徴金等を中心に勉強して頂きます。本講義の目的は、レポート作成を通じて受講生に抽象的な知識ではなく具体的な知識を取得する。</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:4, A-3:4, A-4:4, A-5:4, A-8:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>ビジネス場面において、ビジネスの憲法とも言える独占禁止政策を理解し、違反行為を予防し、また被害にあわないよう損害を最小にする回避行動、損害賠償請求等ができるような知識・技能を修得する。になる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1 独占禁止法の意義・基礎概念をしっかりと理解する。(知識・想起) 2 独占禁止法上の問題点を見いだせる。(知識・想起) 3 問題回避のための必要な情報を調べられる。(知識・解釈) 4 必要な情報を事例に適用できる (知識・解釈・技能)。5 バランスの取れた結果を導き出せる。(態度・反応)</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニングに該当しない。</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>1 独占禁止法の法律要件を抽象的に理解するだけでは、十分に理解したことにはなりません。典型的な事例を分析・検討することがとても重要です。まず、教材①で独占禁止法について概観し、次に教材②を熟読して、独占禁止法の意義、違法行為類型（要件）、執行手続、エンフォースメント等について勉強します。“自習研究”【20時間】</p> <p>2 1で身につけた知識を立体化するために教材②の文中で紹介されている判例・審決について教材③で確認して、レポートを作成して下さい。“レポート作成”【10時間】</p> <p>3 レポート課題への質問、勉強の仕方、資料の収集方法等について、担当教員とメールでディスカッションする。“ディスカッション” (nakamura.ryo@nihon-u.ac.jp)。【15時間】</p>		
スケジュール	<p>前期：基本教材1</p> <p>課題(1)：初稿は平成31年7月15日、最終稿は平成31年9月15日までに提出して下さい。</p> <p>課題(2)：初稿は平成31年8月15日、最終稿は平成31年9月15日までにお願いします。</p> <p>後期：基本教材2</p> <p>課題(1)：初稿は平成31年11月10日、最終稿は平成32年1月10日までに提出して下さい。</p> <p>課題(2)：初稿は平成31年12月10日、最終稿は平成32年1月10日までに提出して下さい。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	100%	①初稿の締切り、②内容（課題の正確な理解）、③構成（論理性）、④情報収集（必要な情報を収集しているか）、⑤文章表現力およびレポート作成過程における質問のやりとり（質問、および添削に対する対応等）。
履修者への要望	<p>1 基本教科書について不明な点、資料の調べ方等電子メールを活用し、どのような質問でも結構ですので、積極的に質問して下さい。</p> <p>2 新聞等で特に独占禁止法に関連する報道があれば是非調べてみて下さい。</p> <p>3 履修登録及びレポート提出時には必ず下記アドレスあてにメールをお願い致します。 nakamura.ryo@nihon-u.ac.jp</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>①公正取引委員会 HP (http://www.jftc.go.jp/) 「動画で分かる公正取引委員会」 ②著者名：泉水文雄、土佐和生、宮井雅明、林 秀弥 著者名： 教材名：『経済法（第2版）』（有斐閣 2015年） 教材名： ISBN 978-4-641-17928-8 定価 2,900円+税 ③著者名 舟田 正之（編集）、金井 貴嗣（編集）、泉水 文雄（編集） 教材名 『経済法判例・審決百選2版（別冊ジュリスト）』（有斐閣 2017年） ISBN-13: 978-4641115347 定価 3024円（税込み）</p> <p>教材①は独占私法を管轄する「公正取引委員会」が作成している「動画」です。平易な表現で説明していますので、法律を初めて勉強する方にもよい教材です。教材②は法学部さらには法科大学院の教科書として使用に耐える教科書です。少し難解かもしれませんが挑戦してみてください。教材③は、主として独占禁止法を理解するうえで重要な判例・審決について解説しています。</p>
参考図書	<p>著者名 根岸 哲（編） 書 名 『注釈独占禁止法』（有斐閣 2009年）ISBN978-4-641-01836-5 定価 7,000円+税 著者名 武田晴人 書 名 『談合の経済学』（集英社文庫 2006年）ISBN4-08-747091-1 定価 533円+税</p>
履修上のポイント	<p>独占禁止法の法律要件を抽象的に理解するだけでは、十分に理解したことにはなりません。典型的な事例を分析・検討することがとても重要です。まず、教材①で独占禁止法について概観し、次に教材②を通読し、独占禁止法の要件について勉強します。そして知識を立体化するために教材②の文中で紹介されている判例・審決について教材③で確認してください。不明な点は、担当教員にメール等で質問して下さい。</p>
レポート課題 1	<p>独占禁止法の目的について論じなさい 留意点：それぞれの説について検討するとともに、自らの見解も示してください。</p>
レポート課題 2	<p>「談合は、独占禁止法に違反するか論じなさい」 留意点：①談合とは何か。②何故談合が行われるのか。③談合は独占禁止法違反となるか。丁寧に検討するとともに、自らの見解も示してください。</p>

基本教材 2	
教材の概要	<p>①公正取引委員会 HP (http://www.jftc.go.jp/) 「動画で分かる公正取引委員会」 ②著者名：泉水文雄、土佐和生、宮井雅明、林 秀弥 著者名： 教材名：『経済法（第2版）』（有斐閣 2015年） 教材名： ISBN 978-4-641-17928-8 定価 2,900円+税 ③著者名 舟田 正之（編集）、金井 貴嗣（編集）、泉水 文雄（編集） 教材名 『経済法判例・審決百選2版（別冊ジュリスト）』（有斐閣 2017年） ISBN-13: 978-4641115347 定価 3024円（税込み）</p> <p>教材①は独占私法を管轄する「公正取引委員会」が作成している「動画」です。平易な表現で説明していますので、法律を初めて勉強する方にもよい教材です。教材②は法学部さらには法科大学院の教科書として使用に耐える教科書です。少し難解かもしれませんが挑戦してみてください。教材③は、主として独占禁止法を理解するうえで重要な判例・審決について解説しています。</p>
参考図書	<p>著者名 根岸 哲（編） 書 名 『注釈独占禁止法』（有斐閣 2009年）ISBN978-4-641-01836-5 定価 7,000円+税 著者名 武田晴人 書 名 『談合の経済学』（集英社文庫 2006年）ISBN4-08-747091-1 定価 533円+税</p>
履修上のポイント	<p>教材②を精読するとともに、インターネット等を通じて資料を検索・検討してください。</p>
レポート課題 1	<p>「再販売価格維持制度とその適用除外について論じなさい」 留意点：独占禁止法は原則再販売価格維持行為を禁止しているが、例外を認めている。再販売維持行為を禁止する理由と例外を認める理由につき検討し、その妥当性について検討するとともに、自らの見解をしめすこと。</p>
レポート課題 2	<p>「独占禁止法違反を予防するために、どのような措置が考えられるか論じなさい」 留意点：現在の独占禁止法の執行方法について検討するとともに、より予防するためにどのような措置が考えられるか検討して下さい。</p>

科目名	ファミリー ガバナンス論特講	担当者	シナト 階戸 テルオ 照雄	期間	通年	単位数	4
-----	-------------------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本科目では、ファミリー企業のガバナンスにつき、海外の豊富な具体的な企業ケース・スタディも交えて、考察してゆくことで、以下の能力を習得することを目的とする。</p> <p>I. 経験や学修から得られた豊かな知識と教養に基づいて、自己の高い倫理観を倫理的な課題に適切に適用することができる。【A-1:4】</p> <p>II. 想像力と独自性をもって問題解決の方法と手順を立案し、独力あるいは他者と協働して問題を解決することができる。【A-4:4】</p> <p>III. さまざまな人々とのコミュニケーションを通じて他者との信頼関係を確立し、ときに強い影響を与えることができる。【A-6:4】</p> <p>IV. 団体の活動において、より良い成果を上げるために、他社と協働し、作業を行うとともに、指導者として他社の力を引き出し、その活躍を支援することができる。【A-7:4】</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリックの該当番号】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>経営者が会社経営において適切な意思決定を行うために、経営戦略の基礎から応用までの知識を修得することを一般目標とする。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>企業を巡るファミリーガバナンス論はもとより、諸理論や経営課題について把握し、その中で個別企業がとっている行動の背景を理解・概観できるようになることである。</p>		
学修方法	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> manaba folio を利用して、教員と院生との間での双方向を重視した個別指導を実施する。 manaba foio の掲示板や相互ディスカッションを利用して、受講者同士の協働学習を行う。 図書館、インターネット等で自ら論文検索して、レポートを作成する。 <p>【学修方略 (LS)】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本図書・教材の十分な理解、参考文献の検索と適切な理解、レポート作成、受講者同士のディスカッション、あるいは複数回にわたって行われるレポート添削での教員と受講生によるディスカッションによりレポートの最終稿を完成させる。 <p>【学修時間】</p> <p>レポート課題1つにつき、完成までに以下を目安に最低45時間の学修時間を要するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材の学修：20時間 レポート執筆：10時間 レポート推敲と最終稿の完成（教員の添削指導等を含む）：15時間 		
スケジュール	<p><前期> ・レポート課題1 初稿締切期限：6月末 ★最終稿提出期限=前期締切日</p> <p>・レポート課題2 初稿締切期限：8月末 ★最終稿提出期限=前期締切日</p> <p><後期> ・レポート課題1 初稿締切期限：10月末 ★最終稿提出期限=後期締切日</p> <p>・レポート課題2 初稿締切期限：12月末 ★最終稿提出期限=後期締切日</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材内容を十分理解・修得し、レポートが作成されているかを基準とする（論旨明確さ、独創性、文章表現の妥当性、引用の適切性等）。
	平常評価	20%	初稿段階から最終稿までのプロセスを含む取組みを評価基準とする。
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> 初稿の提出は締め切りを遵守すること。 経営関連科目の基礎の理解が前提のため、経営関連科目との同時履修が好ましい。また、他のファミリービジネス関連科目の履修も望ましいのは言うまでもない。 		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： ファミリービジネス学会編、奥村昭博・加護野忠雄編著、階戸照雄他著 教材名： 『日本のファミリービジネス—その永続性を探る—』（中央経済社，2016年） ISBN:978-4-502-19011-7 2,400円+税
	前期はファミリー企業の現状と課題につき、理解を深めることに重点を置く。このため、データ・理論面だけではなく、実際のファミリー企業像が得られるよう、具体的な企業についての知識を得るよう努める。
参考図書	ジョン・A・デーヴィス他『オーナー経営の存続と継承』（流通科学大学出版，1999年） ISBN:978-4-94-774630-6 2,800円+税 全国社外取締役ネットワーク編著『〈社外取締役〉のすべて』（東洋経済新報社，2004年） ISBN:978-4-49-255514-9 1,800円+税
履修上のポイント	1. ファミリー企業の定義から、その実態までの数々のデータを基に、理解を深める。 2. 一般的な企業とファミリー企業の経営課題の違いを十分理解する。 3. 一般的な企業と比較して、ファミリー企業のガバナンスの問題点を考える。
レポート課題 1	ファミリー企業成功の条件を述べよ。 留意点 ：1社以上の具体例を説明すること。
レポート課題 2	ファミリー企業における、コーポレート・ガバナンス（企業統治）の必要性につき、説明せよ。 留意点 ：1社以上の具体例を含めること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： ランデル・カーロック，ジョン・ワード（訳者）階戸照雄 教材名： 『ファミリービジネス 最良の法則』（ファーストプレス社，2015年） ISBN:978-4-90-433681-6 3,800円+税
	後期は、前期で習得した知識をベースにして、基本教材（『ファミリービジネス 最良の法則』）で広範囲に扱われている、ファミリーガバナンスを中心に知識を深めていく。本書は優れた実務的な経験を踏まえた理論書であり、深い理解が望まれる。
参考図書	倉科敏材編著『オーナー企業の経営』（中央経済社，2008年） ISBN:978-4-50-266160-0 2,600円+税
履修上のポイント	1. 欧米のファミリー企業の現状につき、知識を得る。 2. 日本のファミリー企業と欧米のファミリー企業の経営課題の違いを理解する。 3. 公開企業（非ファミリー企業）のコーポレート・ガバナンス（企業統治）の問題点を理解する。 4. ファミリー企業のガバナンスの問題点を理解する。
レポート課題 1	ファミリーガバナンスとコーポレート・ガバナンスの違いにつき、説明せよ。 留意点 ：1社以上の具体例を含めること。
レポート課題 2	ファミリーガバナンス実現のための条件を述べよ。 留意点 ：1社以上の具体例を説明すること。

科目名	事業創造論特講	担当者	ナカムラ 中村 ユウイチロウ 裕 一郎	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は、新規事業創造（企業内での新規事業開発、ベンチャー企業の起業）についての知識を修得することにより、以下の能力を身に付けることを目的とする。</p> <p>① 新規事業創造の方法論と日本の現状について、自ら学び、当該分野における課題を提示できる。【A-2:4】</p> <p>② 自らの属している組織における新規事業創造の課題を抽出して、その課題を解決するための行動・活動を自ら考えることができる。【A-3:4】</p> <p>③ 社会に求められる新しい事業を創造するため、指導的立場で企業内において新しい事業を立ち上げること、あるいは、自らベンチャー企業を起業することができる。【A-5:4】，【A-7:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標（GIO）】 企業内における新規事業開発，ならびにベンチャー企業の起業に必要な事業創造に関する専門性を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>① 事業創造に関する理論や事例について説明できる。（知識）</p> <p>② 事業創造を阻害する課題を抽出し，その解決策を提示・実行できる。（技能）。</p> <p>③ 現実の社会に求められている新規事業を立ち上げるため，自ら行動し，多くの関係者と協調できる。（態度・習慣）</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 提示された教材の内容を理解するためには，ベンチャー企業論，ベンチャー経営論等の基礎的な知識が必要である。当該分野を学修していない履修者は，入門レベルの教科書（参考図書(1)等）を学修する必要がある。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【学修方略（LS）・アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>① 基本教材・副教材を学修する。（自習，SBO①②）【20時間/レポート1本】</p> <p>② レポートの初稿を作成する（自習・レポート作成，SBO①②）【10時間/レポート1本】</p> <p>③ 教員とのディスカッション（複数回の添削指導）を通じて，最終的にレポートを作成する。最終レポートを完成させるには，提示された教材以外に自ら参考資料を探索して，そこから得られる知見を加えることが必須である。（自主研究・レポート作成・ディベート，SBO②③）【15時間/レポート1本】</p>		
スケジュール	<p>前期は，レポート課題1の初稿の締切りを7月20日，課題2の初稿の締切りを8月20日とする。最終稿の提出期限は，いずれも前期レポート期限とする。</p> <p>後期は，レポート課題1の初稿の締切りを11月15日，課題2の初稿の締切りを12月15日とする。最終稿の提出期限は，いずれも後期レポート提出期限とする。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	① レポートが求める課題に対して適切に解答されているか ② 結論の論拠が明確で，説得力のあるものになっているか。 ③ 結論に独自性があるか。（加点項目）
	平常評価	20%	① レポートの提出期限が守られているか。 ② 教員とのディスカッションへの対応
履修者への要望	<p>提示された教材、参考図書以外に、新聞・雑誌・ネットメディアなどの記事のほか、学術論文、民間シンクタンクのレポートなどの幅広い情報源を活用することが望まれる。</p> <p>学修計画のすり合わせを行うために、履修登録後、速やかに担当教員に連絡すること</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： グロービス経営大学院編著 教材名： 『グロービスMBA事業開発マネジメント』（ダイヤモンド社，2010年） (1) ISBN: 978-4478012130 2,800円+税
	著者名： ブランク，ステイーブン G. 教材名： 『アントレプレナーの教科書[新装版]』（翔泳社，2016年） (2) ISBN: 978-4798143835 2,400円+税
	教材(1)、参考図書(2)は、新規事業開発やそれに必要な事業計画書についての標準的な考え方を述べた文献。教材(2)、参考図書(3)は、事業創造の新しいプロセスについて述べた文献。レポート課題1を行うには参考図書(2)を参照すること、レポート課題2を行うには参考図書(3)を参照することが望まれる。
参考図書	(1) 忽那憲治他『アントレプレナーシップ入門』（有斐閣，2013年） ISBN: 978-4641150027 1,800円+税 (2) グロービス経営大学院編著『グロービスMBAビジネスプラン[新版]』（ダイヤモンド社，2010年） ISBN: 978-4478014745 2,800円+税 (3) マウリヤ，アッシュ『実践リーンスタートアップ』（オライリージャパン，2012年） ISBN: 978-4873115917 2,200円+税
履修上のポイント	新規に事業を創造するための標準的なプロセスと、新しいプロセスについて学ぶ。自らの体験等を踏まえて、それらを実践するとどうなるかについて深く考察して欲しい。
レポート課題1	事業創造のプロセスにおける事業計画書（ビジネスプラン）の役割、意義について、昨今の経営環境を踏まえて、5,000字以内にまとめなさい。 留意点： 取り上げる事業創造のプロセスは、企業内における新規事業開発であっても、起業を前提とする事業創造であっても構わないが、どちらについての記述であるか明確にすること。
レポート課題2	シリコンバレー等のベンチャー企業で採用されるようになった新しい事業創造プロセスが日本においても実践可能なものであるかについて5,000字以内にまとめなさい。 留意点： 新しい事業創造プロセスを日本で実行しようとする際に阻害要因となり得るものを挙げ、その阻害要因を克服できる可能性を考察すること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 中村裕一郎 教材名： 『アライアンス・イノベーション—大企業とベンチャー企業の提携:理論と実際—』（白桃書房，2013年）ISBN: 978-4561266204 3,500円+税
	大企業にとって重要なベンチャー企業との提携が、日本ではあまり行われていない原因とその解決策を提示する文献。意図的に提携の戦略的位置付けを明確にすること、ベンチャー企業やVCとのネットワーク形成の手段としてCVC(Corporate Venture Capital)活動を行うこと等が重要であり、これらを実践するための組織として全社の新規事業開発組織の設置を提案する。
参考図書	(1) チェスブロウ，ヘンリー編著『オープンイノベーション—組織を越えたネットワークが成長を加速する』（英治出版，2008年） ISBN: 978-4862760463 2,800円+税 (2) ハメル&ドーズ『競争優位のアライアンス戦略—スピードと価値創造のパートナーシップ』（ダイヤモンド社 2001年） ISBN: 978-4478373446 2,800円+税 (3) KPMG FAS編『実践CVC—戦略策定から設立・投資評価まで』（中央経済社，2018年） ISBN: 978-4502281419 2,800円+税
履修上のポイント	ベンチャー企業との提携は、大企業の事業創造の手法として欧米において広く行われているにもかかわらず、日本企業が積極的ではない原因を理解し、その打開策としてCVCの役割、運営上の課題について学ぶ。
レポート課題1	日本の大企業が、事業創造において重要なベンチャー企業と提携に対して積極的ではない理由とその解決策について5,000字以内にまとめなさい。 留意点： そのグローバル化が進行している経営環境にあって、なぜ日本企業の行動様式が欧米企業と異なるかを考える必要がある。
レポート課題2	近年、日本においてもCVCを設立する企業が増えている。こうした状況を踏まえ、課題1で述べた日本企業の課題は解決されたのかどうかについて、5,000字以内にまとめなさい。 留意点： 昨今の企業を取り巻く経営環境の大きな変化に留意して考察すること

科目名	事業承継論特講	担当者	ソネ 曾根 ヒデカズ 秀一	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座では、「事業承継」について経営学の視点から理解し、その知識を得るとともに、実践的な課題解決に関して修得することを目的とする。</p> <p>日本の地域、経済の活性化を担っていく存在として、近年、中小企業とりわけ、ファミリービジネス（同族企業、家族企業）に注目が集まっている。また、欧米の大学では、ファミリービジネス論の授業が盛んに行われ、わが国でもファミリービジネスを取り扱った授業が増えつつある。その中でも本講義では、ファミリービジネスの中でも重要項目となる事業承継に焦点をあて、理解を深めていく。「理論・概念」と「実例」の対応関係に留意し資料の読み込みがのぞまれる。</p> <p>以上の目的を達成することにより、理解力に加え、論理的かつ批判的思考力を中心に、問題発見、解決能力、計画・戦略立案、導入、遂行できる能力の獲得を目指す。</p> <p>【日本大学教育憲章ルーブリック：A-1:4, A-3:4, A-4:4, A-6:4, A-7:4, A-8:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>ファミリービジネスならびに事業承継の内容と位置づけについて、専門性を習得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリービジネスの基礎となる概要及び基礎理論を説明できる。 ・それをもとに、事業承継の仕組みを理解し、ケース事例を分析・評価できる。 ・経営学の理論や情報をもとに、事業承継に関する諸課題の解決策を提示できる。 		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・manaba folio を利用して、教員と院生との間での双方向を重視した指導を実施する。 <p>【学修方略 (LS)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教材の熟読ならびに体系的理解する。 2. 事業承継に至るまでの後継者育成について理解する。 3. 日本のファミリー企業と欧米のファミリー企業の比較検討を行う。 4. ファミリー企業における事業承継に関する問題点を理解する。 <p>【学修時間】</p> <p>1つのレポート作成にあたり基本教材および参考文献の読み込みに25時間以上Manaba-folioへの提出・再提出のやりとりに20時間以上を目安とする。</p>		
スケジュール	<p>複数回にわたるレポートを提出することで修士論文作成の際の必要となる基礎的な事項を修得することができる。具体的には、第1回目のレポートの草稿は、遅くとも最終提出期限の1か月前を目安にすること。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	教材内容の理解、修得、レポートの構成、文章表現を基準とする。
	平常評価	20%	草稿段階から最終稿に至るまでのプロセスや取組みを評価基準とする。
履修者への要望	<p>経営関連科目の基礎の理解が前提なため、経営関連科目との同時履修が望ましい。</p> <p>また、他のファミリービジネス関連の履修も望ましい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： ファミリービジネス学会編、奥村昭博・加護野忠男・階戸照雄・曾根秀一ほか編 教材名： 『日本のファミリービジネス：その永続性を探る』（中央経済社、2016年） ISBN:978-4-502-19011-7 2,400円+税
	テキストはファミリービジネスに関して、網羅的に論じたものである。主な研究成果を体系的に概説しており、その優位性・特徴、成長と発展、経営戦略、事業承継、ガバナンス、社会的責任などを相互関連に着目して理解するのに適している。事業承継事態の理解に加えて、多面的理解に有効である。 ＊前期はファミリービジネス論に基づいて、事業承継ならびにファミリー・ガバナンスの理論的理解を深めることに重点を置く
参考図書	『中小企業白書』2006年版以来、事業承継を重点的に取り上げており、我が国の現状を理解する上で有効である。
履修上のポイント	1 ファミリービジネスにおける事業承継の位置づけと特徴を理解する 2 事業承継をプロセスとして理解する 3 それぞれの利害関係者の視点から事業承継を理解する 4 承継計画の重要性と骨子を理解する
レポート課題 1	◎わが国の後継者育成の方法に関する変遷について説明せよ。 留意点： 近世から現代にかけて論じること。 用いる理論名と理論の概要（25点）、わが国の現状（25点）、分析（40点）、提言（10点）
レポート課題 2	◎事業承継とファミリー企業存続の関連性について述べよ。 留意点： 1つ以上の理論も含め、論じること。 用いる理論名と理論の概要、わが国の現状、分析、提言

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 落合康裕 教材名： 『事業承継のジレンマ：後継者の制約と自律のマネジメント』（白桃書房、2016年） ISBN: 978-456126682-2 3,200円+税
	本書はファミリービジネスの中でも長期存続している企業群4社を対象に、事業承継をテーマに考察し論じたものである。そして、そこから伝統と革新のダイナミズムの解明に取り組んだ意欲作である。ファミリー型長寿企業にみられる商慣習やしきたりといった厳しい伝統の継承が求められることが多いファミリー型長寿企業の経営者は、どのようにして独創的な行動をとり次世代の経営者として育てていくのか、というリサーチクエスションのもとに議論が進められる。
参考図書	デニス・ケニヨン・ルヴィネ・ジョン・ウォード編 『ファミリービジネス永続の戦略』（ダイヤモンド社、2007年） ISBN:978-4-478-33125-5 2,000円+税 ファミリービジネス学会編、奥村昭博・加護野忠男編 『日本のファミリービジネス：その永続性を探る』（中央経済社、2016年） ISBN:978-4-502-19011-7 2,400円+税
履修上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・承継プロセス（制約）と、次世代経営者としての地位が示す能動的行動（能力蓄積）である自律との二律背反的状况を理解する。 ・事業承継における後継者の正統性の問題を理解する。 ・承継プロセスにおける後継者の制約性と自律性の問題に着目し、その必要性について理解する。 ・制約と自律のジレンマについて理解する。
レポート課題 1	◎将来の後継者としての地位を周囲に認めさせる段階（正統性の獲得）について、具体的にどのようなことが必要であるか述べよ。 留意点： 1つ以上の事例を含めること。
レポート課題 2	◎教材（テキスト）に残された課題は何か述べよ。 留意点： 著者があげた課題以外について、複数あげること。 論文作成に必要なクリティカルリーディングを行うことで本課題に答えること。

科目名	中小企業論特講	担当者	コバヤシ 小林 セイジ 世治	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>日本の企業の多くは中小企業である。それぞれが属する地域と産業において、「異質多元」と呼ばれる多様な存在形態をもち、個性的な役割を果たしている。しかし、大企業と比較して量的規模だけではなく質的な差異・格差をもち、それらと対等ならざる関係を強いられている。さらに、「グローバル化」などさまざまな経済環境の激変にさらされ、個々の経営努力のみでは容易に解決のつかない課題を抱えている。こうした日本の中小企業の現状を、自ら調査・分析し政策立案できる力を修得するのが目的である。</p> <p>【ルーブリック】 A1:2, A2:1, A3:3, A4:2, A5:1, A6:2, A7:1, A8:2</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 中小企業にかんする一般知識を得ると同時に、その「問題性」と「発展性」の両面をバランスよく分析し、自らの職場体験などをもとに具体的な政策提言ができる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 テキストの内容を理解するだけでなく、自らネット検索などによって資料のアップデートを行い、「問題」の発展あるいは解消を確認する。また関連資料・著作も参照して、分析・評価の相対化を行い「自ら」の位置、したがって政策的立場を明確にする。最後に、政策の実現性に関して、様々な側面から自己検証することができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 テキストの全体を一通り読む(約1ヶ月)必要がある。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 参考資料の多くは該当する Web サイトから閲覧できます。そのためネット検索に習熟することは、一種のアクティブラーニングとなるでしょう。講義担当者の中小企業観なり中小企業政策に対する考え方については、過去2回行った講演・授業のビデオ(本HPよりネット配信)をご覧ください。</p> <p>【学修方略 (LS)】 「レポート作成」が中心です。レポートの課題に沿って、まずテキストを「読み込む」作業が必要です(自習10時間)。とくに関係する要素それぞれが位置づけられた文脈を確認し、相互の関係に留意します。異なる立場からの分析・評価がありうるので、できるだけ関連文献を参照します(自主研究10時間)。自らの立場と結論がどこまで明瞭にできるか、その根拠がどこまで説明力があるか反省しながら(自己ディベート10時間)、わかりやすい文章でレポートにまとめます(15時間;1本当たり計45時間)。</p>		
スケジュール	<p>前期：教材1のレポート課題(1)の草稿は7月末、課題(2)の草稿は8月末をめどに提出する。「草稿」以前の段階でも、必ず1回はメール等で相談されたい。いずれの課題も9月中旬までに最終稿を提出すること。</p> <p>後期：教材2のレポート課題(1)の草稿は11月中旬、課題(2)の草稿は12月中旬をめどに提出する。「草稿」以前の段階でも、必ず1回はメール等で相談されたい。いずれの課題も2020年1月課題提出締切日までに最終稿を提出すること。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	内容 60% 提出 20%	課題に沿った論理構成で、十分に教材を読み込んでいるか 参考文献、先行研究などの検索・検討がなされているか 脚注などレポートの必要情報が正確に盛られているか 今回解明できず残された「問題」が何か、認識しているか 期限を遵守し、最終稿まで十分推敲したか、を問います
	観察記録	20%	最終稿までの相談状況から判断します
履修者への要望	<p>教材それ自体をしっかり読んで、疑問点などをメモしてください。レポートの作成はその次です。ネット検索は適切に行えば「力」になりますが、安易なコピペをすると自分の頭で考えることができなくなります。何がわかって何がわからないのか、自らはっきり区別できるようになるのが到達点です。全てがいつ頃にわかった、ということは絶対ありません。何度でも読み直し考え直し、最後に、本当に「わかった」という感動を味わってください。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 植田浩史・桑原武志・本多哲夫・義永忠一・関智宏・田中幹大・林幸治 教材名： 『中小企業・ベンチャー企業論—グローバルと地域のはざまで[新版]』 （有斐閣，2014年）ISBN:978-4-641-16431-4 2,400円+税
	既存の中小企業だけでなく起業・ベンチャー（第IV部）にも目配りした，バランスの良い入門テキスト。『中小企業白書』をはじめ参考資料が充実し，そうした資料分析にも触れることができる。レポート課題を行うためのモデルともなる。
参考図書	中小企業庁『中小企業白書 2019年版』（ホームページからダウンロード可能）
履修上のポイント	絶えず大企業と対比し，経営学での「一般的」指針との落差を意識して，中小企業の実態を把握するよう努める。そうした「問題性」とともに，「発展性」や可能性にも思いをめぐらそう。
レポート課題 1	中小企業の経営上の「問題点」を整理しなさい。 留意点： 大企業と比べた格差の原因や，大企業との関係（有無と内容）と関連付ける
レポート課題 2	中小企業の現状と課題について「参考図書」から探り，どのような政策的配慮が必要か述べなさい。 留意点： 教材で示された中小企業の一般的特徴と，どこがどう違うか確認すること

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 黒瀬直宏・上原聡 編著 教材名： 『中小企業が市場社会を変える～中小企業研究の社会論的転換～』 （同友館，2014年）ISBN:978-4-496-05046-6 2,400円+税
	5つのトピックを取り上げ，中小企業の社会的役割を広く「社会経済」の枠組みで示す，試論集。中小企業が，市場をベースとし高度に発達した資本主義のもと，多くが採算に合わないものとして，その「不合理性」が強調される。しかし逆に現在の経済システムじたいに問題はないのだろうか？
参考図書	松永桂子著『ローカル志向の時代』 （光文社新書 788，2015年）ISBN:978-4-334-03891-5 740円+税
履修上のポイント	中小企業政策の変遷は基本教材1や「参考図書」をみてほしいが，中小企業とくに小規模企業が本来果たすべき役割は，狭い意味での「市場」なり営利事業の範囲で考えてはいけない。人々の「働き」や企業活動とはそもそも何であったか反省し，政策的視座を再構築しよう。
レポート課題 1	第1章あるいは第2章を要約し，これからの研究課題——貴方自身にとってあるいは一般的に——を考えてみよう。 留意点： 中小企業論の理論的な奥深さを感じ取ってほしい。
レポート課題 2	第3章～第5章のうち1つを取り上げ，これからの政策課題を考えてみよう。 留意点： 政策主体は，政府（国や自治体）だけに限らない。こうした主体形成も重要な課題。

科目名	調査分析特講	担当者	タナカ ケンイチロウ 田中 堅一郎	期間	通年	単位数	4
-----	--------	-----	----------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講義の目的は、①調査の種類、その中でも質問紙法（アンケート調査）と面接調査（ヒアリング調査）について学習し、実際に調査票を作成し、面接計画を作ることを目的とする。②調査分析に必要な統計手法について学習し、実際に分析できることを目的とする。</p> <p>I. 仮説に基づく課題や問題を提示し、客観的な情報に基づく論理的な考察を通じて、具体的克論理的な見解を示すことができ、その限界を認識することができる。【A-3:4】</p> <p>II. データを分析し、分析結果の意味を理解し、問題を解決することができる。【A-4:3】</p> <p>III. 経験や学修から得られた知識や教養に基づき、倫理的な課題を理解し説明できる。【A-1:1】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>データを注意深く読み取り、適切な分析を行うことができ、分析結果を客観的に解釈することができる。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <ul style="list-style-type: none"> データを収集するための調査票を作成することができる（もしくは調査的面接を計画することができる）。 データ分析に必要な統計学的知識を理解することができる。 データ分析に必要なコンピュータ・リテラシーを身につけられる。 収集されたデータを、統計学的知識と統計パッケージのリテラシーを駆使して分析し、分析した結果を解釈することができる。 		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> レポートの推敲過程において、Manaba-Folio の全受講者用の掲示板機能（「スレッド」）に、想定される質問とその回答を纏めた「Q & A」を公開する。さらに「スレッド」に届いた受講者からの質疑に対して応答し、その過程を受講生全員に公開する。 オープンエデュケーション教材（OER）を基本教材の補助として視聴する。 <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>指定された基本教材、および参考文献を読みこなし、レポートを作成する。それでも理解できない場合は、Manaba-Folio を通して適宜科目担当者に質疑をする。</p> <p>【学修時間】</p> <p>1つのレポート課題の完成までに最低 45 時間の学習時間を要するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本教材および参考文献の読み込み：20 時間 レポート課題の執筆：10 時間 Manaba-Folio へのレポート課題提出後の推敲と最終稿の完成（担当教員の添削指導、ピア・レスポンスを含む）：15 時間 		
スケジュール	<p>前期：基本教材 1 のレポート課題 1：6 月末を目処に初稿を提出できるように学習を進める。9 月中旬までに最終稿を提出する。</p> <p>基本教材 1 のレポート課題 2：8 月中旬を目処に初稿を提出できるように学習を進める。9 月中旬までに最終稿を提出する。</p> <p>後期：基本教材 2 のレポート課題 1：11 月中旬を目処に初稿を提出できるように学習を進める。2020 年 1 月中旬までに最終稿を提出する。</p> <p>基本教材 2 のレポート課題 2：12 月中旬を目処に初稿を提出できるように学習を進める。2020 年 1 月中旬までに最終稿を提出する。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	79%	<ul style="list-style-type: none"> 最終提出期限内に提出されなかったレポート課題は、(原則的に) 0 点となります。 レポート課題の作成において、自分の興味・関心だけをエッセイのように文章を連ねていくのはご遠慮願います（こうしたレポートは評価の対象としません）。教材の引き写しは評価の対象外とします。
	平常評価	21%	<ul style="list-style-type: none"> 最終提出までに Manaba-Folio 上でレポートの草稿の送信・返信を行ったかどうかで評価します。 草稿を一度も出さずにいきなり最終稿を出された場合、そのレポート課題の評価点は 79 点以下しか得られません。
履修者への要望	<ul style="list-style-type: none"> レポート作成にあたって文献を引用した場合は、それらすべてをレポートの巻末に示してください。その際、本文に引用した文献（引用文献）と、本文には引用しなかったがレポート作成に際して参考にした文献（参考文献）とは仕分けて示してください。 要覧にもあるように、後期課題のレポートでは、意味ある情報を的確に、かつ少数の値に集約して表現し、それらの値を効率よく記述しわかりやすく示すこと。表や図をレポートに提示する場合は、必ず通し番号とその表題をつけること。 		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 鈴木淳子 教材名： 『質問紙デザインの技法（第2版）』（ナカニシヤ出版，2016年） (1) ISBN:978-4-7795-1075-5 2,800円+税 著者名： 鈴木淳子 教材名： 『調査的面接の技法（第2版）』（ナカニシヤ出版，2005年） (2) ISBN:978-4-88-848960-7 2,500円+税 (1)は、主として心理学で用いられる調査法の概要とその手法について解説したもの。 (2)は、研究方法としての面接・インタビューの概要とその手順について詳細に解説したもの。
参考図書	大竹恵子（編著）『なるほど！ 心理学調査法』（北大路書房，2017年） ISBN:978-4-7628-2990-1 2,200円+税 鎌原雅彦他（編著）『心理学マニュアル 質問紙法』（北大路書房，1998年） ISBN:978-4-76-282109-7 1,500円+税 保坂亨他（編著）『心理学マニュアル 面接法』（北大路書房，2000年） ISBN:978-4-76-282170-7 1,500円+税
履修上のポイント	レポート課題における「①質問紙（アンケート調査）を行う手順」と「②質問紙法の実施方法の違いによる区分と、それらの長所と短所」は、教材の『質問紙デザインの技法』を参考にし、「③面接調査（ヒアリング調査）を行う手順」と「④面接調査（ヒアリング調査）の形式による区分と、それらの長所と短所」は、教材の『調査的面接の技法（第2版）』を参考にする。
レポート課題 1	以下に示す項目について、教材と参考図書などを参照しながら説明せよ。 ①質問紙法（アンケート調査）を計画し実施するまでの手順 ②質問紙法（アンケート調査）の実施方法の違いによる区分と、それらの長所と短所 ③面接調査（ヒアリング調査）を実施するまでの手順 ④面接調査（ヒアリング調査）の形式による区分と、それらの長所と短所 留意点： 各項目あたり2,000字以内を目安に説明すること。
レポート課題 2	以下の2項目のうち、一つを選ぶこと： ①任意のテーマ（できたら自分の研究課題に近いもの）について、調査内容をまとめ、実際に質問紙（アンケート）を作成する。 ②任意のテーマ（できたら自分の研究課題に近いもの）について、調査内容をまとめ、ヒアリング調査計画書と調査に必要な書類を作成する。 留意点： 教材と参考書をよく読んで作成すること。調査票の作成にあたっては、調査後に分析がしやすいように配慮すること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 南風原朝和（著） 教材名： 『心理統計学の基礎』（有斐閣アルマ，2002年）ISBN:4-641-12160-5 2,200円+税 この教材は、統計的手法について詳細に解説したものである。
参考図書	村井潤一郎・柏木恵子『ウォームアップ心理統計』（東京大学出版会，2008年） ISBN:978-4-13-012046-3 2,000円+税 松尾太加志・中村知靖『誰も教えてくれなかった因子分析 数式が絶対に出てこない因子分析入門』（北大路書房，2002年）ISBN:978-4-76-282251-3 2,500円+税 繁樹算男・森 敏昭・柳井晴夫『Q & Aで知る統計データ解析 Dos and DON'Ts』（サイエンス社，2008年）ISBN:978-4-78-191186-1 2,450円+税
履修上のポイント	教材を読んでも統計学の基本がわからない場合は、参考図書の『ウォームアップ心理統計』（東京大学出版会）を参照すること。
レポート課題 1	以下に示す用語について、教材と参考図書などを参照しながら説明せよ。 ①偏相関 ②決定係数 ③標準偏回帰係数 ④因子負荷量 ⑤多重共線性 留意点： 各用語あたり800字以内を目安に、3,000～4,800字の範囲で説明すること。説明には数式を用いてよい。ただし、その際に用いた記号について脚注をいれること。
レポート課題 2	与えられたデータをもとに、統計解析ソフト（Excel 統計 2012, ㈱社会情報サービス）を用いて以下に指定された分析を行い、その結果を要約すること。 ①すべての変数について度数分布、代表値、散布度を示す。 ②任意に2変数を選び相関図を描き、その相関図について相関係数を算出する。 ③3つ以上の変数を選び、重回帰分析法を実施する。 ④5つ以上の変数を選び、因子分析法を実施する。 留意点： 分析用のデータは「調査分析特講」受講者が確定した後に大学院専用サイト(manaba folio)に添付する。統計解析ソフトの出力結果をそのままレポートにペースト・コピーして提出しないこと（ただし、掲載する図表をExcelで作成するのはかまわない）。

科目名	統計基礎 I	担当者	アラセキ 荒 関 ヒトシ 仁 志	期間	前期	単位数	2
-----	--------	-----	---------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	<p>最近の統計ソフトは、大変に使い勝手が良く、ややもすると統計の基礎や計算の前提条件を理解しなくても、統計計算を形の上では、結果を得ることができますが、多くの場合、前提条件や利用条件を知らないことで、統計結果の解釈に間違いが散見されます。</p> <p>本講座では、従来のような数式を中心とする説明ではなく、我々の身近にあるような具体的な例を取り上げ、数式を解さず、統計の基本概念を理解します。【A-1:4】 & 【A-2:4】</p> <p>また、直接表計算ソフトを使うことで、数学が苦手な人でも統計処理の「基本的な考え方を理解する」ことを修得の目的とします。【A-3:4】</p>	
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>統計が身近な疑問や現象に答えてくれる、比較的身近な数学であることを理解してください。統計処理は、決して理解が難しい数学ではなく、非常に単純な数学的思考に立脚した数値処理であることを理解してください。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>① 本講座では、統計処理ではよく使われている「平均・分散」や「有意さを表す検定」について理解することを自習にて行なうことを目指します。</p> <p>② 特に「検定」に関しては、その背景にある単純な仮定を理解することで、検定の「考え方」や「適用範囲」を理解します。この①と②によって統計の知識を様々なデータに応用可能となります。</p> <p>③ ここでは、それらの統計処理を使って身近なデータを処理し、それによって具体的な統計処理技術の習得を、レポート作成を利用して習得します。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>指定教科書を熟読し、不明な点や疑問点は、担当教員に質問することで各自が解決を計る。</p>	
学修方法 (方法) 【LS】と学修時間	<p>【学修方略 (LS)】</p> <p>① 指定教科書および参考文献を自習にて熟読してください。【SBO①】【25 時間/1 冊】</p> <p>② 与えられた課題についてレポートを作成して提出します。【SBO②&③】。</p> <p>③ レポート課題 1 の作成には約 25 時間、レポート課題 2 には約 20 時間を必要とします。</p> <p>※) なお、参考文献等を読む場合やレポートを作成するに当たり、疑問点や不明な点などがある場合には、長時間悩まず、必ず教員まで質問をしてください。質問内容に関しては、基本的なことや専門的なこと、直接関係がないと思われることでも、何でも構いませんので、遠慮なく質問してください。レポート提出システムや電子メールでの質問や議論を推奨します。特に、電子メールでのコミュニケーションは、本大学院での基本的で最も重要なコミュニケーション手段であることを認識し、常に活用することを心掛けてください。</p>	
スケジュール	<p>① レポートの受付は何時でも行っていますので、レポートの完成を待たずに、疑問点や質問などがある場合には、積極的に未完成レポートを提出することを推奨します。【5 月～】</p> <p>② レポートのやり取りや電子メールでの質問や議論が、本科目の大きな学習目的であることを理解してください。なお、教員とのやり取り無しに、レポート提出期限間際でのレポート提出は、基本的に認めないので注意をしてください。【締め切り 1 ヶ月前には草稿レポートをなからず 1 本は提出をしてあること】</p> <p>③ 課題提出期限は 9 月 19 日ですので、ご注意ください。</p> <p>※) レポートの提出に関しては、各自のスケジュールに合わせて行うことを前提としますが、予め遅れることが分かっている場合には、その旨を必ず知らせてください。</p>	
成績評価	種 別	評価基準
	レポート	<ul style="list-style-type: none"> 「分散」や「検定、分散分析」について数学的背景を理解できたか。 「検定、分散分析」についての統計処理を行うことができるか。 「検定、分散分析」の適用範囲を理解できたか。 統計に関する疑問や不明な点をメール等で質問し解決できたか。
履修者への要望	<p>特にありませんが、数学が苦手な人、特に統計処理が嫌いな人が受講することをお勧めします。教科書や学習する項目は、基本的なことが主ですので、数学や統計処理が得意な人はご遠慮ください。</p>	

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>向後千春, 富永敦子, 『First Book 統計学がわかる』(技術評論社, 2007年), ISBN:978-4-77-413190-0, 1,680円+税</p> <p>著者名 : 教材名 : または, 涌井 貞美, 『意味がわかる統計解析』(ベレ出版, 2013年), ISBN: 978-4-86064-345-4, 2,000円+税</p> <p>本書は, 数式をなるべく使わずに統計処理の仕組みを説明する初心者でも気軽に読めて楽しく統計を学習できる教科書です。 本書では, ある「ハンバーガー屋さん」で起こる様々な疑問や問題を, 統計処理を使って登場人物たちと一緒に解決していく教科書です。とても面白く, 統計データ分析の基本を理解できます。統計が苦手と思っている人には最適な教科書です。</p>
参考図書	<p>涌井良幸, 涌井貞美『Excelで学ぶ統計解析』(ナツメ社, 2003年) ISBN:978-4-81-633418-4 2,500円+税</p> <p>菅 民郎『Excelで学ぶ統計解析入門 第2版』(オーム社, 2003年) ISBN:978-4-81-633418-4 2,800円+税</p> <p>小島 寛之, 『完全独習 統計学入門』(ダイヤモンド社, 2006年), ISBN: 978-4-478-82009-4, 1,800円+税</p>
履修上のポイント	<p>本講義は, とにかく数学が苦手な, 統計学が苦手な人のための講義です。多くの教科書に見られるような数式で説明することを極力避け, 実際のデータを, 表計算ソフトを使うことで数式での説明を介さずに, 統計データ処理を解説しています。ですから, 理屈で統計処理を理解するのはなく, 体で統計データ処理を理解することを目的としています。 まずは, 手を動かして統計データ処理を行ってください。</p>
レポート課題 1	<p>t検定と分散分析とは, 何を説明するための統計処理なのかを, 自分の言葉で説明してください。特に, 標本の正規性や等分散性を意識してレポートを作成してください。</p>
レポート課題 2	<p>身の回りのデータを1組用意し, t検定を行い, 統計処理の結果を考察してください。また, 別な身の回りのデータを1組用意し, 分散分析を行い, その統計処理の結果を考察してください。</p>

科目名	統計基礎Ⅱ	担当者	アラセキ 荒 関	ヒトシ 仁 志	期間	後期	単位数	2
-----	-------	-----	-------------	------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	<p>最近のコンピュータの高性能化に伴い、高性能な統計ソフトを自由に利用できるようになってきました。その結果、今までは利用するのが難しかった、多変量解析などが簡単に誰でもが利用できるようになりました。しかし、統計処理が簡単に利用できる反面、その基本にある「数理的背景」をまったく理解しないまま、データ処理を行っているが学生が多く見られるようになってきました。本講座では、実際の修士論文や研究に利用されることが多い『多変量解析』における「回帰分析」、「相関係数」や「因子分析」などの数学的背景と前提条件、利用条件などを理解します。【A-1:4】&【A-2:4】</p> <p>また、身近な具体例を使い、なるべく数式を介さずに表計算ソフトを利用することで、その基本的考え方を理解することを目指します。【A-3:4】</p>	
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>本講座では、実際に様々な統計処理で使われることが多い「多変量」の統計処理について学習します。特に、「相関」、「重回帰分析」や「因子分析」についての考え方や処理方法の取得することを目指します。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>① 多くの学生が統計を嫌いになるきっかけとなっているのが、この「多変量統計解析」ですが、その理論的背景を習得することを目指します。</p> <p>② 多変量解析が単純な数学的仮定（線形関係）の上に成り立っていることを習得する。</p> <p>③ その上でこれら線形関係を解くための数学が「線形代数」に起因することを認め、その線形代数の手法が「最小2乗法」や「(座標)回転」や「固有値」と関係することを習得することで、多変量解析では何を計算するのかを理解することで、その適用範囲を各自が習得できることを目指します。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>指定教科書を熟読し、不明な点や疑問点は、担当教員に質問することで各自が解決を計る。</p>	
学修方法 (方法) 【LS】と学修時間	<p>【学修方略 (LS)】</p> <p>① 指定教科書および参考文献を自習にて熟読します。【SBO①】【25時間/1冊】</p> <p>② 与えられた課題についてレポート作成し提出します。【SBO②&③】。</p> <p>③ レポート課題1の作成には、約25時間、レポート課題2の作成には20時間を必要とします。 ※) なお、参考文献等を読む場合やレポートを作成するに当たり、疑問点や不明な点などがある場合には、長時間悩まず、必ず教員まで質問をしてください。質問内容に関しては、基本的なことや専門的なこと、直接関係がないと思われることでも、何でも構いませんので、遠慮なく質問してください。レポート提出システムや電子メールでの質問や議論を推奨します。特に、電子メールでのコミュニケーションは、本大学院での基本的で最も重要なコミュニケーション手段であることを認識し、常に活用することを心掛けてください。</p>	
スケジュール	<p>① レポートの受付は何時でも行っていますので、レポートの完成を待たずに、疑問点や質問などがある場合には、積極的に未完成レポートを提出することを推奨します。【9月～】</p> <p>② レポートのやり取りや電子メールでの質問や議論が、本科目の大きな学習目的であることを理解してください。なお、教員とのやり取り無しに、レポート提出期限間際のリポート提出は、基本的に認めないので注意をしてください。【締め切り1ヶ月前には草稿レポートをなからず1本は提出をしてあること】</p> <p>③ レポート締め切りは、1月14日ですのでご注意ください。 ※) レポートの提出に関しては、各自のスケジュールに合わせて行うことを前提としますが、予め遅れることが分かっている場合には、その旨を必ず知らせてください。</p>	
成績評価	種 別	評 価 基 準
	レポート	<ul style="list-style-type: none"> 「多変量解析」の数学的仮定を理解できたか。 「相関」や「重回帰分析」、「因子分析」とは何かを理解できたか。 エクセルを使って、「多変量解析」処理を行うことができたか。 「多変量解析」に関する疑問や不明な点が解決できたか。 「多変量解析」に関する統計処理技術を議論できたか。 疑問や不明な点などの解決に、メール等を利用し、解決できたか。
履修者への要望	<p>数学が苦手な人で、統計処理が嫌いな人が受講してください。ただし、そのような数学を毛嫌いしている人は、必ず「統計基礎Ⅰ」も併せて受講してください。</p>	

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	<p>向後千春, 富永敦子, 『First Book「統計学がわかる」—回帰分析・因子分析編—』(技術評論社, 2009年), 著者名: ISBN:978-4-77-413707-0, 1,680円+税 教材名: または, 石井 俊全, 『意味がわかる多変量解析』(ベレ出版, 2014), ISBN: 978-4-86064-398-0, 1,900円+税</p> <p>理数系以外の学生で, 統計を知っている人でも「回帰分析」や「因子分析」など, データ間の「関係を調べる」ための統計データ処理の仕組みを理解している人は多くありません。本書では, 極力数式を使わず, このデータの「関係を調べる」ための統計データ処理の基本的な仕組み解説します。アイスクリームショップを舞台にアルバイトのアイちゃんと一緒に悩みながら, 気温とアイスクリームの売り上げの関係など, あなたの研究・調査に応用の利用可能な話題を取り上げます。親しみやすい話題と物語の展開で, 比較的理解することが難しいといわれている「多変量データ解析」を理解することができます。</p>
参考図書	<p>上田太一郎, 小林真紀, 淵上美喜『Excel で学ぶ回帰分析入門』(オーム社, 2004年) ISBN:978-4-27-406556-9 2,800円+税 菅 民郎『Excel で学ぶ多変量解析入門 第2版』(オーム社, 2007年) ISBN:978-4-27-406708-2 2,800円+税 加藤剛『知識ゼロでもわかる統計学シリーズ 本当にも使えるようになる多変量解析超入門』(技術評論社, 2013年) ISBN 978-4-7741-5630-9 1,980円+税</p>
履修上のポイント	<p>本講義では, 多変量解析の基本的な仕組みや数理的背景を理解することを目的とします。ここでは数式による説明ではなく, 表計算ソフトを使って, 直接データを統計処理します。ですから, 数学が苦手な人でも「相関」や「回帰分析」, 「因子分析」の基本的な仕組みを理解することができますので安心して受講してください。</p>
レポート課題 1	<p>「相関」と「回帰分析」, 「因子分析」は何を知るための統計データ処理なのかを, 自分の言葉で説明してください。特に, 説明変数や因子間の線形性について注意しながらレポートを作成してください。</p>
レポート課題 2	<p>身の回りのデータを用意し, 「相関」と「回帰分析」, 「因子分析」を計算し, それぞれの結果を考察してください。</p>

科目名	ゲーム理論	担当者	アラセキ 荒関 ヒトシ 仁志	期間	前期	単位数	2
-----	-------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>ゲーム理論は、経済学から発展してきたが、現在では経営学、政治学、法学、経済学、社会学、心理学、生物学、工学、コンピュータ化学など様々な分野に応用されている。</p> <p>社会における個人の行動を決定する場合、他人との相互作用を考慮した意思決定をすることが重要になってくるが、この相互作用を考慮した意思決定を数学的なモデルとして研究されているのがゲーム理論である。</p> <p>本講座では、このゲーム理論における基礎的な考え方を習得することを目的とする。【A-1:4】 & 【A-2:4】</p> <p>具体的には、ゲーム理論の基礎である「囚人のジレンマ問題」を理解し、それを元により現実的な意思決定である「交渉ゲーム問題」を理解することを最終目標とする。【A-3:4】</p>	
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】</p> <p>「囚人のジレンマ問題」を理解し、ゲーム理論に特有な「利得」や「ナッシュ均衡」の考え方を数学的に理解する。さらに、より一般的な意思決定と考えられている「交渉ゲーム」を学習し、そこで使われている「混合戦略」や「期待利得」の計算方法を理解することを修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>① 身の回りの様々な意思決定過程をゲーム理論的志向で考察し、意思決定の知識を利用し問題解決や技術を理解することを修得する。</p> <p>② それによって合理的意思決定とは何かを習得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>指定教科書を熟読し、不明な点や疑問点は、担当教員に質問することで各自が解決を計る。</p>	
学修方法 (方法) 【LS】と学修時間	<p>【学修方略 (LS)】</p> <p>① 教科書の「非協力ゲーム (または囚人のジレンマ問題)」を自習にて熟読し修得する。【SBO①】 【約 25 時間】</p> <p>② 次に「交渉ゲーム」を自習にて修得すること【SBO①】【25 時間程度】。</p> <p>③ その上で、レポート作成では設問に回答してください。その際、教科書の数学的な取扱いで分からない部分などがあれば、担当者に質問し、個人指導を受けることを基本とします。【SBO②】【レポート課題 1 は約 20 時間、レポート課題 2 は約 25 時間】</p> <p>④ なお、交渉ゲームを理解するためには、繰り返しゲームなどの理解が必要になりますので、「囚人のジレンマ問題」や「交渉ゲーム」以外の章の知識が多少必要となりますので、他の章もご一読されることをお勧めします。【SBO②】【約 15 時間】</p>	
スケジュール	<p>① レポートの受付は何時でも行っていますので、レポートの完成を待たずに、疑問点や質問などがある場合には、積極的に未完成レポートを提出することを推奨します。【5 月～】</p> <p>※) レポートのやり取りや電子メールでの質問や議論が、本科目の大きな学習目的であることを理解してください。</p> <p>② 教員とのやり取り無しに、レポート提出期限間際でのレポート提出は、基本的に認めないので注意をしてください。【締め切り 1 ヶ月前には草稿レポートをなからず 1 本は提出をしてあること】</p> <p>なお、レポートの締め切りは 9 月 19 日となりますので、ご注意ください。</p> <p>※) レポートの提出に関しては、各自のスケジュールに合わせて行うことを前提としますが、予め遅れることが分かっている場合には、その旨を必ず知らせてください。</p>	
成績評価	種別	評価基準
	レポート	<ul style="list-style-type: none"> ゲーム理論の基礎を理解できているか。 身近な問題に対してゲーム理論を応用できるか。 ゲーム理論の数学的仕組みを理解できているか。 不明な項目に対して、メール等で適切に質問し理解できたか。
履修者への要望	<p>特にありませんが、様々な「関係」について興味をもっている学生の受講を歓迎します。</p> <p>ゲーム理論の理解には数学が必要となりますが、本講座では簡単な四則演算程度で十分です。また、数学に興味があるが、難しそうと思っている学生も大歓迎いたします。数学的取り扱いは、別途担当者作成のレジメで解説します。</p>	

【レポート課題】

基本教材	
教材の概要	<p>武藤/滋夫, 『ゲーム理論入門』(日経文庫—経済学入門シリーズ)(日本経済新聞社, 2001年), ISBN-10: 4532108292, 860円+税</p> <p>著者名: 教材名: または 岡田 章, 加茂 知幸, 三上 和彦, 宮川 敏治, 『ゲーム理論ワークブック』(有斐閣, 2015), ISBN 978-4-641-16463-5, 1,900円+税</p> <p>本テキストは, ゲーム理論の数学的説明が平易に正確に記述されており, 国内のゲーム理論の書籍の中では, 最も優れた書籍である。内容は「囚人のジレンマ」に始まり, 「繰り返し囚人のジレンマ問題」や「交渉ゲーム」など多義にわたっている。</p>
参考図書	<p>Avinash K. Dixit (著), Barry J. Nalebuff (著) 『The Art of Strategy: A Game Theorist's Guide to Success in Business and Life』(W W Norton & Co Inc, 2010年) ISBN 978-0-393-33717-4, 1,770円+税 (Amazon.co.jpにて2016年11月現在)</p> <p>川越 敏司 (著), 『行動ゲーム理論入門』(エヌティティ出版, 2010年), ISBN : 978-4-7571-2258-1, 2,700円+税</p> <p>岡田 章 (著), 『ゲーム理論 新版』(有斐閣; 新, 2011年), ISBN 978-4-641-16382-9, 3,800円+税</p>
履修上のポイント	<p>数学的取り扱いで疑問が生じた場合には, 悩まず担当教員に質問をしてください。初めは, 数学的取り扱いに慣れていない院生には難しそうに思える数学的表現も, その基本は非常に単純な構造であることが分かりますので, ご安心して受講してください。</p>
レポート課題1	<p>囚人のジレンマ問題を身近な事例によって説明し, その時の「ナッシュ均衡」について, 各自の説明してください。</p>
レポート課題2	<p>身の回りの「ジレンマ問題」を取り上げ, 「囚人のジレンマ問題」と「交渉ゲーム問題」で解析し, それぞれの特徴を説明してください。</p>